

大野市環境基本計画

アンケート調査結果報告書

令和2年8月

大野市

目 次

◆ 調査の概要	
（１）調査の目的	3
（２）調査方法	3
（３）調査期間	3
（４）回収率	3
（５）掲載数値について	4
◆ 市民アンケートの集計結果	
1. 回答者の概要	
問1 性別	6
問2 年齢	6
問3 居住地区	6
2. 環境問題全般に対する意識	
問4 環境問題（全般）に対する関心度・重要度	8
問5 地球規模の環境問題への関心度	11
問6 居住地区の環境に対する満足度・重要度	13
3. 市民行動指針に基づく取組状況	
問7 行動指針に基づく取組状況	16
【水・地下水・湧水・河川の保全】	16
【ごみ減量・循環型社会構築】	21
【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】	26
【自然とのふれあい・自然保護・その他】	31
4. これからの取組等	
問8 市に期待する施策	36
問9 将来に残したい大野の誇りや象徴としての環境	40
5. その他、市の取組	
問10 「結の故郷越前おおの」の認知度	42
問11 「SDGs」の認知度	42
その他、自由回答	43
◆ 事業所アンケートの集計結果	
1. 回答者の概要	
問1 業種	51
問2 従業員規模	51

2. 環境保全に対する関心度	
問3 経済活動と環境保全の関係	53
問4 環境対策に取り組む理由	54
問5 企業活動による環境負荷	55
3. 事業者行動指針に基づく取組状況	
問6 行動指針に基づく取組状況	56
【公害防止対策】	56
【水・地下水・湧水・河川の保全】	58
【ごみ減量・循環型社会構築】	60
【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】	62
【その他の対策】	64
問7 市に期待する施策	66
その他、自由回答	68
◆ 小学生・中学生アンケートの集計結果	
1. 回答者の概要	
問1 性別	71
問2 学年	71
2. 環境問題全般に対する意識	
問3 環境問題（全般）に対する学習意欲	72
問4 居住地区の環境に対する重要度	74
3. 環境問題に対する取組等	
問5 取り組んでいる環境にやさしい行動	76
問6 参加したい環境活動	79
問7 大野のお気に入りの場所や風景	81
◆ 市民アンケートと小学生・中学生アンケートの集計結果の比較	
1. 環境問題（全般）に対する関心度	84
2. 居住地区の環境に対する重要度	87
◆ 資料（調査票）	
・調査票__市民アンケート	91
・調査票__事業所アンケート	94
・調査票__小学生・中学生アンケート	97

調査の概要

(1) 調査の目的

大野市環境基本条例に基づく次期環境基本計画の策定に先立ち、環境への関心や満足度、あるいは環境保全と創造に向けた取り組みなどについて広く市民の意見を集めるとともに、調査の実施を通して、市民の環境に対する意識の啓発に努めることを目的として実施しました。

(2) 調査方法

調査対象地域：大野市全域

調査対象者：①大野市民（16歳以上（生年月日が2005年4月1日以前）の男女）

②大野市内事業所

③大野市内の小学6年生及び中学3年生

調査方法：①大野市民 無作為抽出調査、郵送配布・回収

②大野市内事業所 無作為抽出調査、郵送配布・回収

③大野市内の小学6年生及び中学3年生 全数調査、直接配布・回収

(3) 調査期間

アンケートの配布・回収 令和2年 6月15日（月）～ 6月26日（金）

(4) 回収率

①大野市民

年齢区分	配布数	回収数	回収率
16～19歳	150	51	34.0%
20～29歳	150	45	30.0%
30～39歳	150	60	40.0%
40～49歳	150	73	48.7%
50～59歳	150	80	53.3%
60～69歳	150	98	65.3%
70～79歳	150	100	66.7%
80歳以上	150	57	38.0%
年齢区分無回答	—	12	—
合計（全体）	1,200	576	48.0%

②市内事業所

	配布数	回収数	回収率
市内事業所	300	117	39.0%

③市内の小学6年生及び中学3年生

	配布数	回収数	回収率
小学6年生	256	251	98.0%
中学3年生	279	267	95.7%

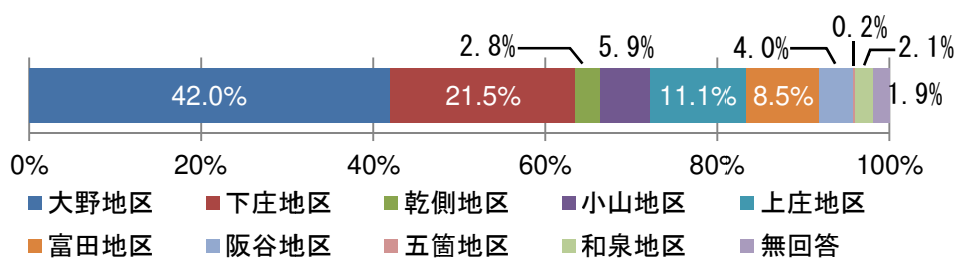
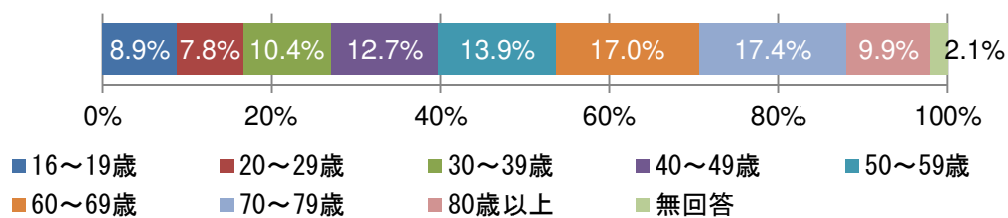
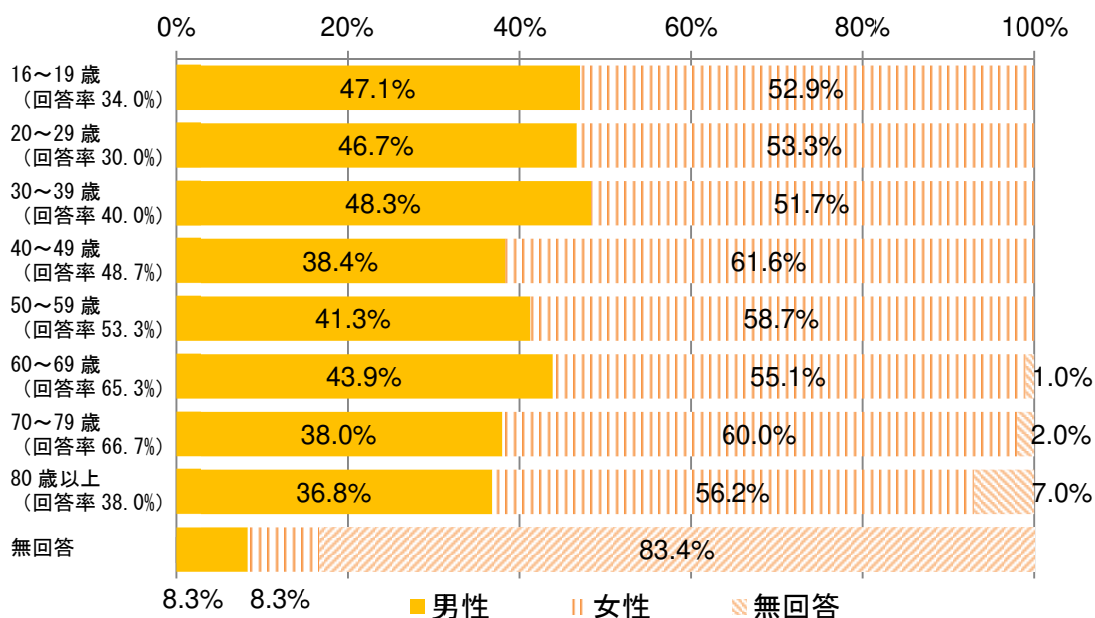
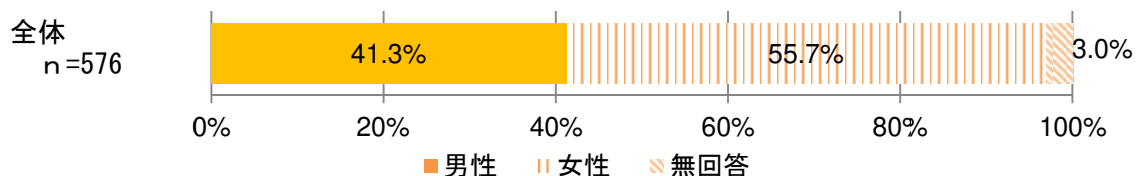
(5) 掲載数値について

- ・ 構成比 (%) の合計は、個々のデータに対して、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 「無回答」は、回答していないものを表しています。
- ・ その他の意見や自由回答についての掲載は、同じ意見や回答は一つにまとめて整理してあります。

市民アンケートの集計結果

問1 性別、問2 年齢、問3 居住地区

- ◆年齢は、「70～79歳」が17.4%と最も多く、次いで「60～69歳」となっている。若年層は、「16～19歳」と「20～29歳」を合わせて16.7%となっている。
- ◆「居住地区は、「大野地区」が42.0%と最も多く、次いで「下庄地区」となっている。



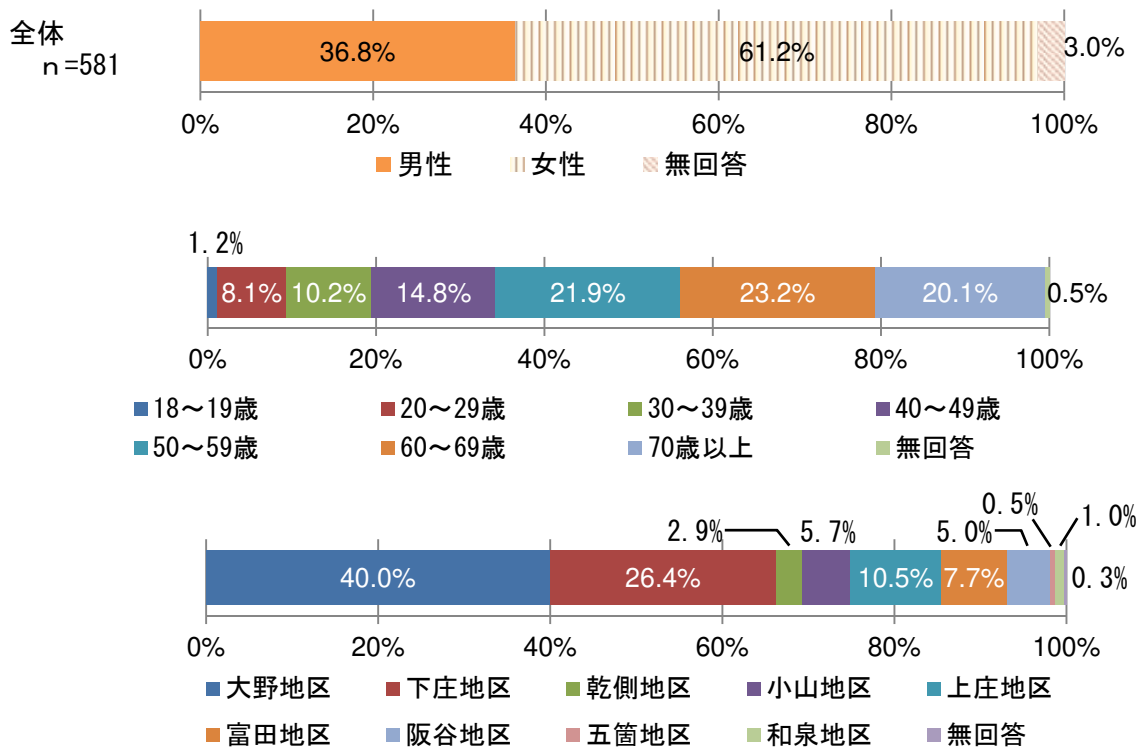
地区別、性別、年齢別 回答者数

(人)

地区	性別	年齢								合計	
		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		無回答
全体		51	45	60	73	80	98	100	57	12	576
	男性	24	21	29	28	33	43	38	21	1	238
	女性	27	24	31	45	47	54	60	32	1	321
	無回答	0	0	0	0	0	1	2	4	10	17
	回答率	34.0%	30.0%	40.0%	48.7%	53.3%	65.3%	66.7%	38.0%	—	48.0%
大野地区		28	15	18	36	42	34	43	25	1	242
下庄地区		9	12	21	10	16	16	27	13		124
乾側地区			3		1	2	5	3	2		16
小山地区		1	3	3	6	4	4	7	6		34
上庄地区		4	5	8	9	7	17	11	3		64
富田地区		4	6	5	7	8	8	6	5		49
阪谷地区		4	1	3	3		9	1	2		23
五箇地区								1			1
和泉地区		1		2	1		5	1	1	1	12
無回答						1				10	11

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



問4 環境問題（全般）に対する関心度・重要度

【関心度と重要度の関係】

- ◆ 「③地下水の水質汚濁、地下水位の低下」「⑨ごみ問題」「⑩地球環境問題」は、全ての年齢で「重要度が高く、関心度が高い」となった。
- ◆ 「④自動車や工場などからの騒音・振動」は、10代から40代では「重要度が低く、関心が低い」となった。

【関心度】

- ◆ 「16～19歳」「20～29歳」「30～39歳」で最も関心度が高かったのは、「⑩地球環境問題」となったが、全ての項目において全体（平均）以下の関心度となっている。
- ◆ 「50～59歳」「60～69歳」「70～79歳」では、「⑨ごみ問題」が最も関心度が高い結果となった。

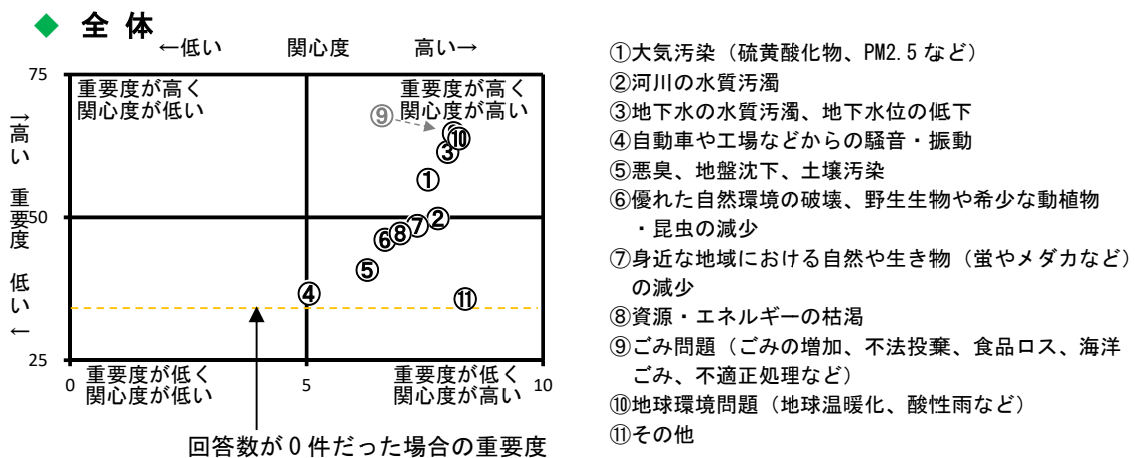
【重要度】

- ◆ 「⑨ごみ問題」「⑩地球環境問題」は、多くの年齢で重要度が高い結果となった。
- ◆ 「16～19歳」「20～29歳」では、「⑥優れた自然環境の破壊、野生生物や希少な動植物・昆虫の減少」「⑦身近な地域における自然や生き物の減少」「⑧資源・エネルギーの枯渇」が、他の年齢に比べて重要度が高い。
- ◆ すべての年齢において、「④自動車や工場などからの騒音・振動」が最も重要度が低く、10代を除く年齢で「⑤悪臭、地盤沈下、土壤汚染」が次に低い

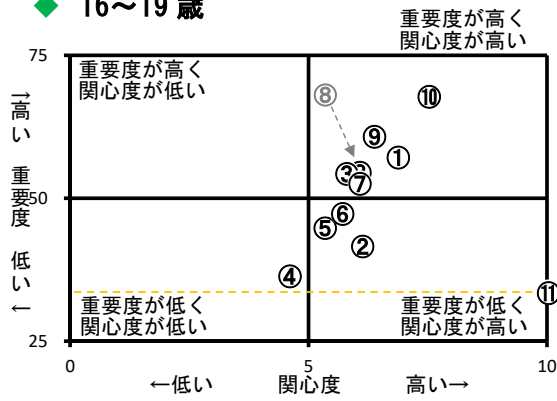
※関心度は、「関心ある（10点）」、「少しある（7点）」、「あまりない（3点）」、「ない（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

※重要度は、選択肢間で相対的に重要かどうかを示す値として、次の式で求めています。

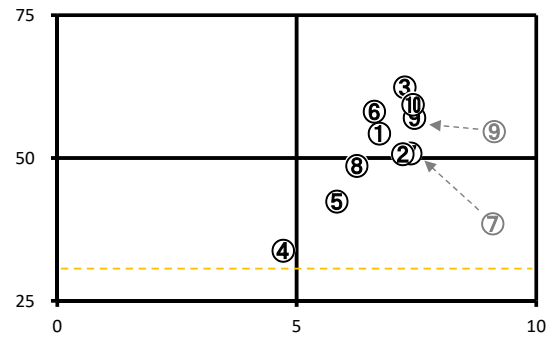
$$\text{重要度} = (\text{各選択肢の回答数} - \text{平均値}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 50 \quad (\text{平均} = 50)$$



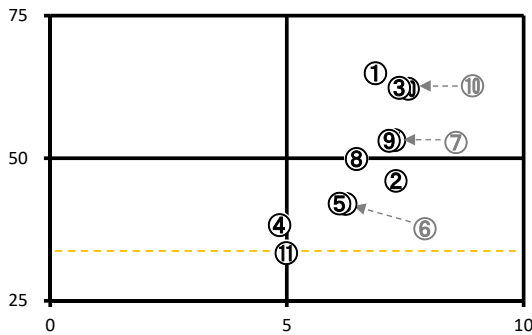
◆ 16~19 歳



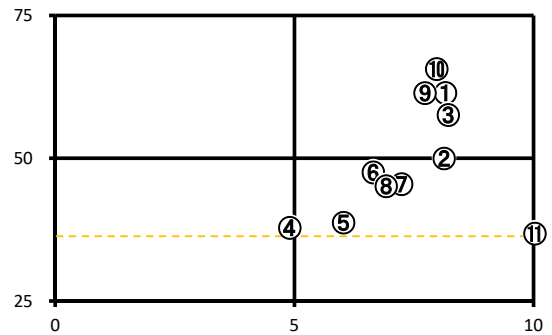
◆ 20~29 歳



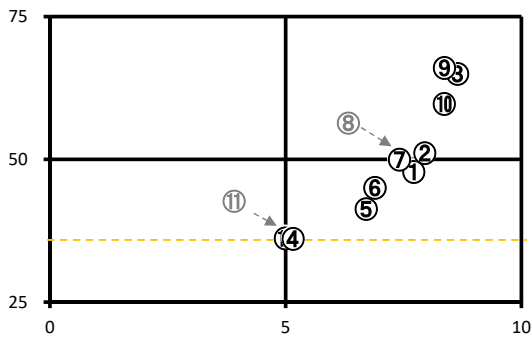
◆ 30~39 歳



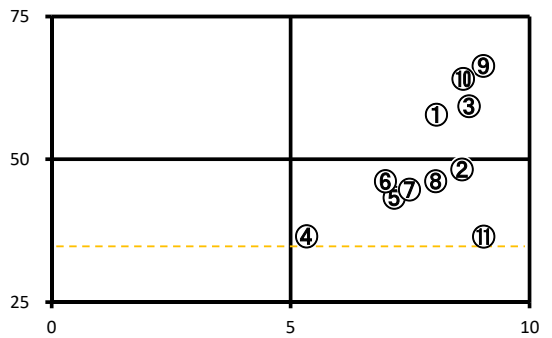
◆ 40~49 歳



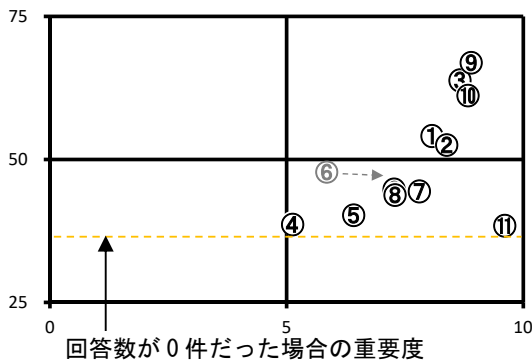
◆ 50~59 歳



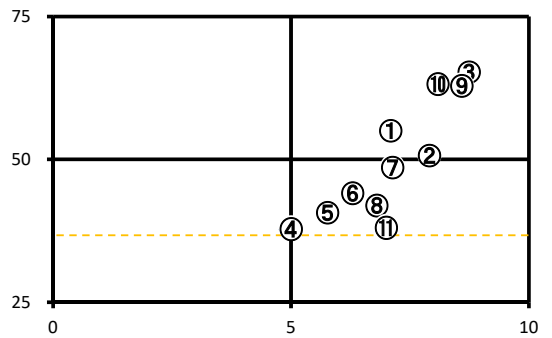
◆ 60~69 歳



◆ 70~79 歳



◆ 80 歳以上



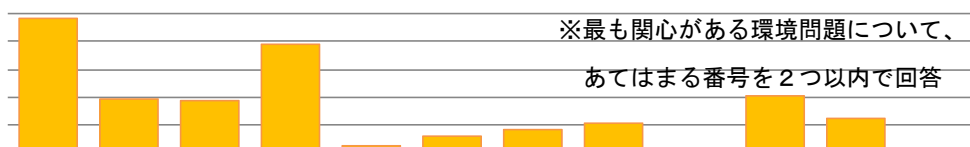
◆ 「⑪その他」の回答（自由記述を要約）

（16～19歳）森林の減少/（30～39歳）ホテル存続可能な場所作り/（40～49歳）鳥獣害/廃墟、空き家/（50～59歳）熊出没/人口減少/空き家/（60～69歳）獣害/交通の便/感染症/外国人労働者のマナー/自然エネルギーの活用/飲料水（地下水、上水道、村部の飲料水谷の水）の減少/（70～79歳）山林の荒廃/空地空き家の増加/家周辺の草刈り/地域、集落の美化活動/地元を大切にする心/（80歳以上）山林の放置、林道の荒廃/

年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
			大気汚染	濁河川の水質汚	位の低下地下水の水質	音など自動車の騒動	下悪臭、地盤沈下	物の破壊、野生動物の減少	優れた自然環境の減少	身近な自然の減少	資源・エネルギーの枯渇	ごみ問題	地球環境問題	
全体 (n=576)	関心度	点数	7.6点	7.8点	8.0点	5.0点	6.3点	6.7点	7.3点	7.0点	8.1点	8.1点	8.4点	
		回答数	539	538	541	527	527	535	538	525	544	546	22	
	重要度	割合	32.5%	21.9%	40.1%	3.0%	9.9%	17.4%	19.8%	18.6%	42.9%	42.5%	1.6%	
16～19歳 (n=51)	関心度	点数	6.8点	6.1点	5.8点	4.6点	5.3点	5.7点	6.1点	6.0点	6.3点	7.5点	10.0点	
		回答数	51	51	50	51	51	51	51	51	51	51	1	
	重要度	割合	35.3%	11.8%	29.4%	3.9%	15.7%	19.6%	27.5%	29.4%	39.2%	49.0%		
20～29歳 (n=45)	関心度	点数	6.7点	7.2点	7.2点	4.7点	5.8点	6.6点	7.3点	6.2点	7.4点	7.4点		
		回答数	45	45	45	43	45	45	45	45	45	45	0	
	重要度	割合	31.1%	26.7%	42.2%	4.4%	15.6%	35.6%	26.7%	24.4%	35.6%	37.8%		
30～39歳 (n=60)	関心度	点数	6.9点	7.3点	7.4点	4.8点	6.1点	6.2点	7.2点	6.4点	7.1点	7.5点	5.0点	
		回答数	59	59	58	58	58	59	58	59	59	59	2	
	重要度	割合	41.7%	16.7%	38.3%	6.7%	11.7%	11.7%	26.7%	21.7%	26.7%	38.3%		
40～49歳 (n=73)	関心度	点数	8.1点	8.1点	8.2点	4.9点	6.0点	6.7点	7.2点	6.9点	7.7点	7.9点	10.0点	
		回答数	70	70	69	69	69	69	68	67	69	71	2	
	重要度	割合	42.5%	23.3%	35.6%	2.7%	4.1%	17.8%	15.1%	15.1%	42.5%	47.9%	1.4%	
50～59歳 (n=80)	関心度	点数	7.7点	7.9点	8.6点	5.2点	6.7点	6.9点	7.4点	7.4点	8.3点	8.3点	5.0点	
		回答数	79	79	79	79	79	79	80	79	79	79	2	
	重要度	割合	20.0%	25.0%	47.5%	1.3%	10.0%	15.0%	23.8%	23.8%	50.0%	40.0%	1.3%	
60～69歳 (n=98)	関心度	点数	8.0点	8.6点	8.7点	5.3点	7.2点	7.0点	7.4点	8.0点	9.0点	8.6点	9.0点	
		回答数	94	93	92	91	90	94	94	93	95	95	6	
	重要度	割合	35.7%	20.4%	37.8%	2.0%	13.3%	17.3%	14.3%	17.3%	46.9%	43.9%	3.1%	
70～79歳 (n=100)	関心度	点数	8.1点	8.4点	8.6点	5.1点	6.4点	7.3点	7.8点	7.3点	8.8点	8.8点	9.6点	
		回答数	87	87	92	85	84	86	87	85	91	89	7	
	重要度	割合	30.0%	27.0%	47.0%	3.0%	7.0%	14.0%	14.0%	13.0%	52.0%	42.0%	3.0%	
80歳以上 (n=57)	関心度	点数	7.1点	7.9点	8.7点	4.9点	5.8点	6.3点	7.1点	6.8点	8.6点	8.1点	7.0点	
		回答数	49	49	51	46	46	46	49	41	50	51	2	
	重要度	割合	29.8%	22.8%	45.6%	1.8%	7.0%	12.3%	19.3%	8.8%	42.1%	42.1%	1.8%	
無回答 (n=12)	関心度	点数	8.0点	8.8点	6.0点	6.0点	6.8点	9.0点	9.5点	8.8点	8.8点	9.0点		
		回答数	5	5	5	5	5	6	6	5	5	6	0	
	重要度	割合	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	33.3%		
		回答数	1	1	0	0	0	4	3	3	2	4	0	18

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



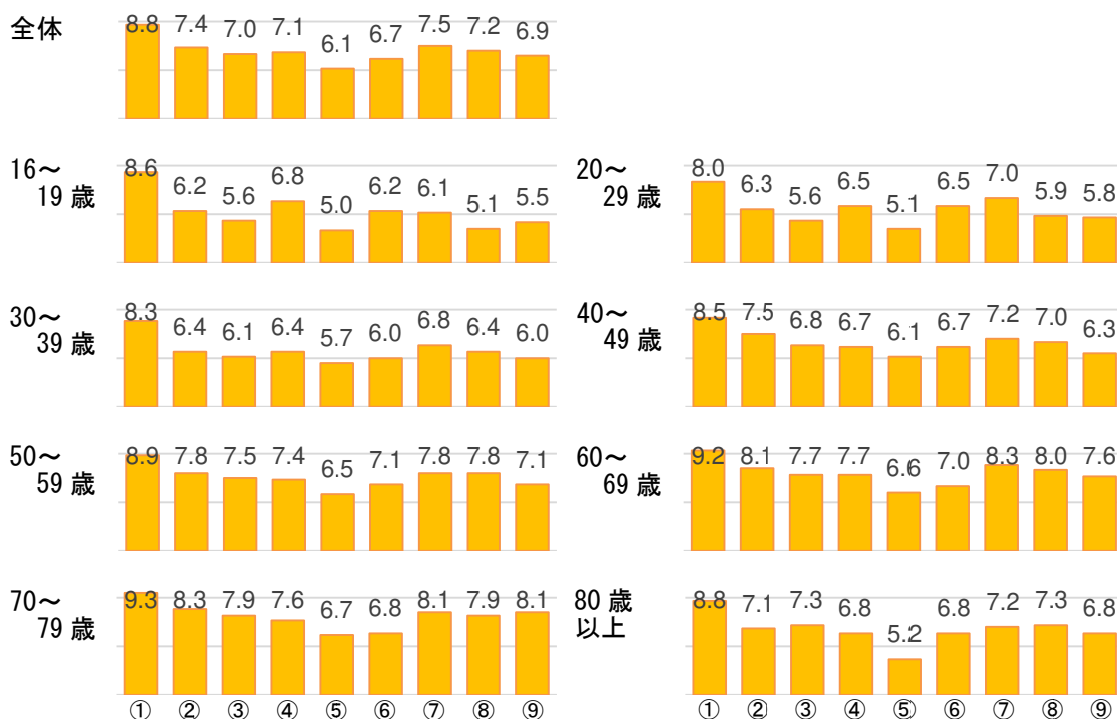
年齢	集計	地球環境問題	大気汚染	濁河川の水質汚	の汚濁、地下水の水質	音など自動車の騒動	下悪臭、地盤沈下	境優れた自然環境	減おける自然環境	動植物の減少	カホンカモシ	少な生きた物の減少	ホテルやメダ	ギ―の枯渇	資源・エネルギー	その他
全体 n=581	割合	48.0%	19.4%	18.9%	38.9%	2.9%	6.2%	8.3%	10.5%	1.7%	20.8%	12.4%	0.3%			
	回答数	279	279	110	226	17	36	48	61	10	121	72	2			

問5 地球規模の環境問題への関心度

- ◆全ての年齢において「①地球温暖化」が最も関心度が高く、次いで「⑦海洋汚染」が、各年齢において高い傾向にある。
- ◆39歳以下は、全ての項目において全体（平均）以下の関心度となっている。また、「①地球温暖化」を除くすべての項目において7点（関心が少しある）未満となっており、関心の低さが伺える。
- ◆「16～19歳」「20～29歳」では、「②酸性雨」「⑤砂漠化」「⑧有害廃棄物の国境を越えた移動」「⑨開発途上国の環境問題」が5点台となっており、関心度が低い。
- ◆全体（平均）の全ての項目において、前回調査の点数を上回っており、意識の高まりを感じる。

※関心度は「関心ある（10点）」、「少しある（7点）」、「あまりない（3点）」、「ない（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

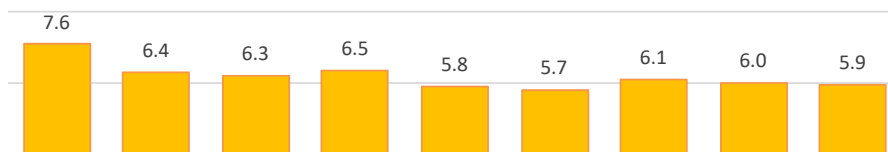
- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ①地球温暖化が進んでいること | ②フロンなどによってオゾン層が破壊されていること |
| ③大気汚染などによって酸性雨の問題が起きていること | ④伐採などによって森林（特に熱帯林）が減少していること |
| ⑤砂漠化が急激に進んでいること | ⑥野生生物が絶滅または減少していること |
| ⑦有害物質などによって海洋が汚染されていること | ⑧有害な廃棄物が国境を越えて移動していること |
| ⑨開発途上国の環境問題が深刻になっていること | |



年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		地球温暖化	オゾン層の破壊	大気汚染などによる酸性雨	森林の減少(特に熱帯林)	急激な砂漠化	野生生物が絶滅または減少	海洋汚染	有害物質などによる汚染	有害な廃棄物の国境移動
全体 (n=576)	点数	8.8点	7.4点	7.0点	7.1点	6.1点	6.7点	7.5点	7.2点	6.9点
	回答数	572	564	561	563	561	564	562	565	563
16～19歳 (n=51)	点数	8.6点	6.2点	5.6点	6.8点	5.0点	6.2点	6.1点	5.1点	5.5点
	回答数	51	51	51	51	51	51	51	51	51
20～29歳 (n=45)	点数	8.0点	6.3点	5.6点	6.5点	5.1点	6.5点	7.0点	5.9点	5.8点
	回答数	45	45	44	45	45	45	45	45	45
30～39歳 (n=60)	点数	8.3点	6.4点	6.1点	6.4点	5.7点	6.0点	6.8点	6.4点	6.0点
	回答数	60	60	59	60	60	60	60	60	60
40～49歳 (n=73)	点数	8.5点	7.5点	6.8点	6.7点	6.1点	6.7点	7.2点	7.0点	6.3点
	回答数	73	72	71	71	70	72	71	70	71
50～59歳 (n=80)	点数	8.9点	7.8点	7.5点	7.4点	6.5点	7.1点	7.8点	7.8点	7.1点
	回答数	80	80	80	80	79	80	79	80	80
60～69歳 (n=98)	点数	9.2点	8.1点	7.7点	7.7点	6.6点	7.0点	8.3点	8.0点	7.6点
	回答数	96	97	96	97	96	95	95	95	96
70～79歳 (n=100)	点数	9.3点	8.3点	7.9点	7.6点	6.7点	6.8点	8.1点	7.9点	8.1点
	回答数	99	95	94	95	95	96	96	98	95
80歳以上 (n=57)	点数	8.8点	7.1点	7.3点	6.8点	5.2点	6.8点	7.2点	7.3点	6.8点
	回答数	56	52	54	52	53	53	53	54	53
無回答 (n=12)	点数	8.7点	7.3点	8.4点	7.8点	7.3点	8.3点	7.5点	7.8点	7.3点
	回答数	12	12	12	12	12	12	12	12	12

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
全体 (n=581)	点数	7.6点	6.5点	6.3点	6.5点	5.8点	5.7点	6.1点	6.0点	5.9点
	回答数	540	513	519	528	510	506	506	497	505

問6 居住地区の環境に対する満足度・重要度

【満足度と重要度の関係】

- ◆全ての年齢において「③空気のきれいさ」「⑦地下水のきれいさ」が「重要度が高く、満足度が高い」となった。
- ◆「⑥川のきれいさ」「⑫市民のマナーの良さ」は、他の項目に比べ満足度が低い一方で、重要度が高い。

【満足度】

- ◆多くの年齢で「①緑の豊かさ」「③空気のきれいさ」「④星空の美しさ」の満足度が高い一方で、「⑥川のきれいさ」「⑫市民のマナーの良さ」が低い結果となった。
- ◆10代を除く年齢において、「⑥川のきれいさ」「⑪歴史・文化との接しやすさ」「⑫市民のマナーの良さ」が7点（ほぼ満足）未満となっており、満足度が低い。
- ◆39歳以下の年齢では、ほとんどの項目において全体（平均）を超える満足度であるのに対し、40歳以上では、1～3項目を超えるのみである。
- ◆全体（平均）の全ての項目において、前回調査より満足度が高くなっており、特に「⑤においが気にならないこと」は2.2点、「⑫市民のマナー」は1.2点と大きく上昇している。

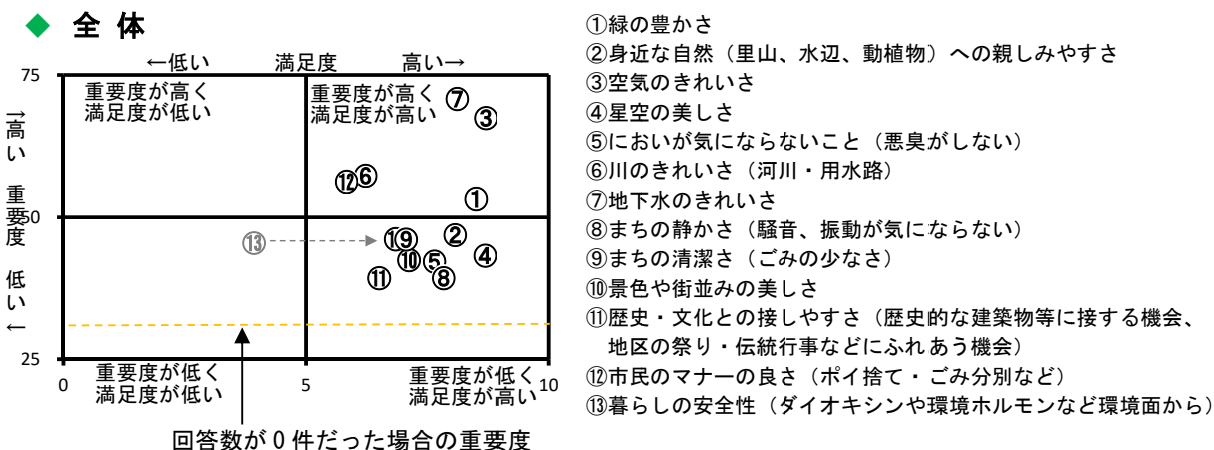
【重要度】

- ◆多くの年齢において「③空気のきれいさ」「⑦地下水のきれいさ」の重要度が高い一方で、「⑧まちの静かさ」「⑪歴史・文化との接しやすさ」は重要度が低い。
- ◆前回調査に比べ、「⑬暮らしの安全性」の重要度が大きく低下している。

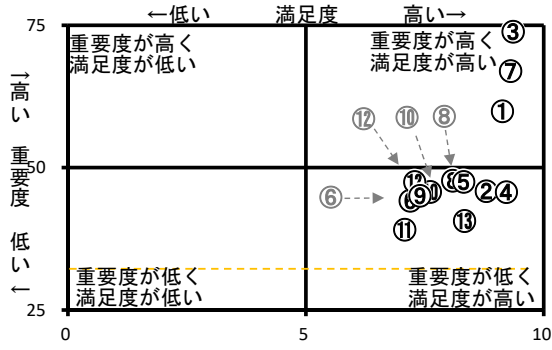
※満足度は「満足（10点）」、「ほぼ満足（7点）」、「やや不満（3点）」、「不満（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

※重要度は、選択肢間で相対的に重要かどうかを示す値として、次の式で求めています。

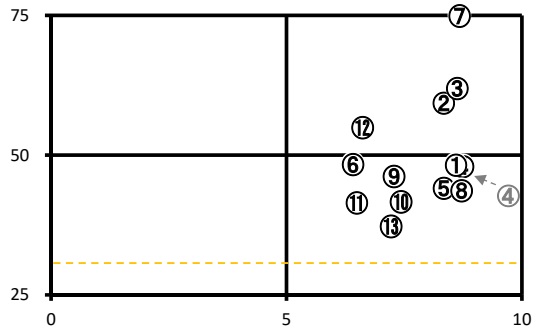
$$\text{重要度} = (\text{各選択肢の回答数} - \text{平均値}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 50 \quad (\text{平均} = 50)$$



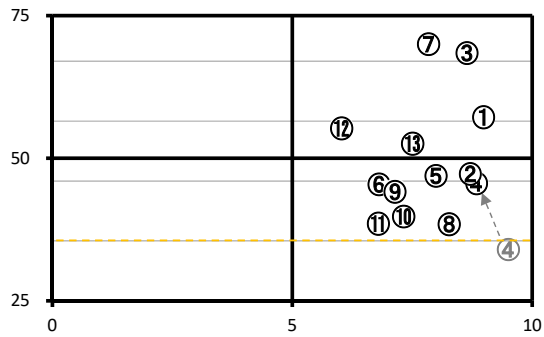
◆ 16～19 歳



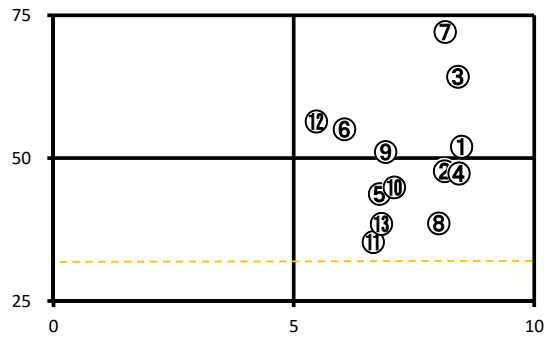
◆ 20～29 歳



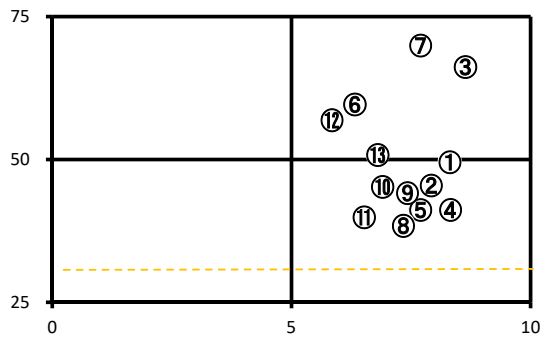
◆ 30～39 歳



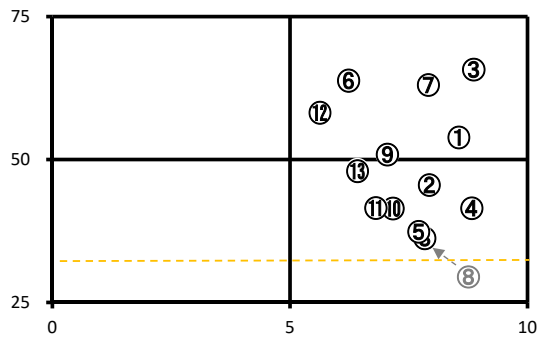
◆ 40～49 歳



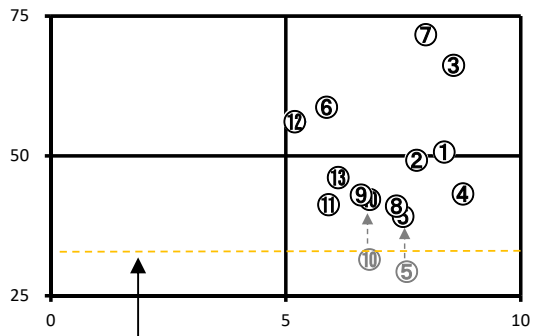
◆ 50 歳～59 歳



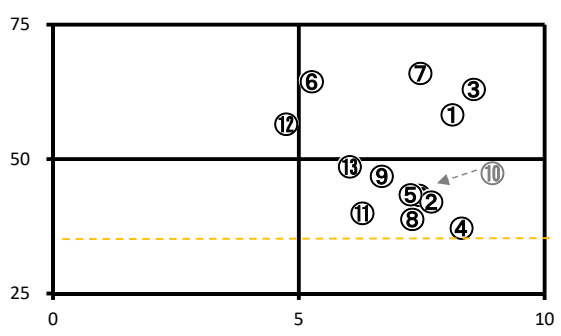
◆ 60 歳～69 歳



◆ 70～79 歳



◆ 80 歳以上

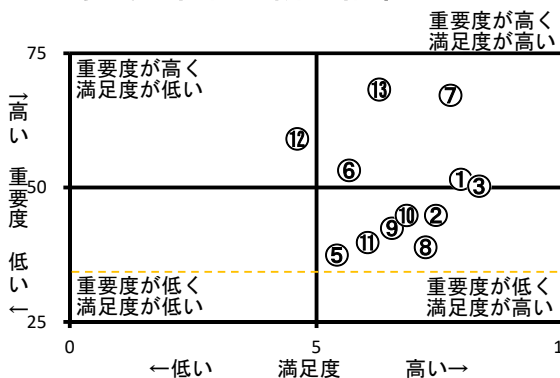


回答数が 0 件だった場合の重要度

年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
全体 (n=576)	満足度	点数	8.5点	8.1点	8.7点	8.7点	7.7点	6.2点	8.1点	7.8点	7.0点	7.1点	6.5点	5.8点	6.8点	
		回答数	558	554	565	554	551	559	554	555	552	553	555	559	546	
	重要度	割合	21.7%	15.5%	35.1%	11.6%	10.2%	25.0%	38.4%	7.8%	14.6%	10.9%	7.8%	24.1%	14.6%	
		回答数	125	89	202	67	59	144	221	45	84	63	45	139	84	361
16～ 19歳 (n=51)	満足度	点数	9.1点	8.8点	9.4点	9.2点	8.3点	7.2点	9.3点	8.1点	7.4点	7.6点	7.1点	7.3点	8.3点	
		回答数	51	51	51	51	51	50	50	51	50	51	51	51	51	
	重要度	割合	31.4%	15.7%	47.1%	15.7%	17.6%	13.7%	39.2%	17.6%	15.7%	15.7%	7.8%	17.6%	9.8%	
		回答数	16	8	24	8	9	7	20	9	8	8	4	9	5	18
20～ 29歳 (n=45)	満足度	点数	8.6点	8.3点	8.6点	8.7点	8.3点	6.4点	8.5点	8.7点	7.3点	7.4点	6.5点	6.6点	7.2点	
		回答数	44	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	
	重要度	割合	17.8%	28.9%	31.1%	17.8%	13.3%	17.8%	44.4%	13.3%	15.6%	11.1%	11.1%	24.4%	6.7%	
		回答数	8	13	14	8	6	8	20	6	7	5	5	11	3	21
30～ 39歳 (n=60)	満足度	点数	9.0点	8.7点	8.7点	8.8点	8.0点	6.8点	7.8点	8.3点	7.1点	7.3点	6.8点	6.0点	7.5点	
		回答数	59	59	58	59	59	59	59	59	59	58	58	59	58	
	重要度	割合	25.0%	13.3%	38.3%	11.7%	13.3%	11.7%	40.0%	3.3%	10.0%	5.0%	3.3%	23.3%	20.0%	
		回答数	15	8	23	7	8	7	24	2	6	3	2	14	12	49
40～ 49歳 (n=73)	満足度	点数	8.5点	8.1点	8.4点	8.4点	6.8点	6.0点	8.1点	8.0点	6.9点	7.1点	6.7点	5.5点	6.8点	
		回答数	73	73	73	72	73	73	73	73	73	72	73	73	73	
	重要度	割合	20.5%	16.4%	32.9%	16.4%	12.3%	23.3%	41.1%	6.8%	19.2%	13.7%	4.1%	24.7%	6.8%	
		回答数	15	12	24	12	9	17	30	5	14	10	3	18	5	45
50～ 59歳 (n=80)	満足度	点数	8.3点	7.9点	8.6点	8.3点	7.6点	6.3点	7.7点	7.3点	7.4点	6.9点	6.5点	5.8点	6.8点	
		回答数	80	79	80	79	79	79	77	79	79	78	80	79	78	
	重要度	割合	17.5%	13.8%	33.8%	10.0%	10.0%	27.5%	37.5%	7.5%	12.5%	13.8%	8.8%	25.0%	18.8%	
		回答数	14	11	27	8	8	22	30	6	10	11	7	20	15	51
60～ 69歳 (n=98)	満足度	点数	8.5点	7.9点	8.8点	8.8点	7.7点	6.2点	7.9点	7.8点	7.0点	7.1点	6.8点	5.6点	6.4点	
		回答数	95	95	98	95	94	96	94	95	94	96	95	96	94	
	重要度	割合	23.5%	14.3%	36.7%	10.2%	5.1%	34.7%	33.7%	4.1%	20.4%	10.2%	10.2%	28.6%	17.3%	
		回答数	23	14	36	10	5	34	33	4	20	10	10	28	17	50
70～ 79歳 (n=100)	満足度	点数	8.4点	7.8点	8.6点	8.8点	7.5点	5.9点	8.0点	7.4点	6.6点	6.8点	6.0点	5.3点	6.1点	
		回答数	93	92	94	94	90	91	94	93	90	90	90	92	87	
	重要度	割合	19.0%	18.0%	36.0%	11.0%	7.0%	28.0%	42.0%	9.0%	11.0%	10.0%	9.0%	25.0%	14.0%	
		回答数	19	18	36	11	7	28	42	9	11	10	9	25	14	61
80歳 以上 (n=57)	満足度	点数	8.1点	7.7点	8.5点	8.3点	7.3点	5.2点	7.5点	7.3点	6.6点	7.4点	6.3点	4.8点	6.1点	
		回答数	52	49	54	48	49	54	51	49	51	52	52	53	49	
	重要度	割合	24.6%	7.0%	29.8%	1.8%	8.8%	31.6%	33.3%	3.5%	12.3%	8.8%	5.3%	22.8%	14.0%	
		回答数	14	4	17	1	5	18	19	2	7	5	3	13	8	55
無回答 (n=12)	満足度	点数	9.2点	8.9点	9.3点	8.9点	8.5点	8.1点	9.2点	8.3点	8.6点	7.0点	6.1点	7.4点	8.1点	
		回答数	11	11	12	11	11	12	11	11	11	11	11	11	11	
	重要度	割合	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	41.7%	
		回答数	1	1	1	2	2	3	3	2	1	1	2	1	5	11

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



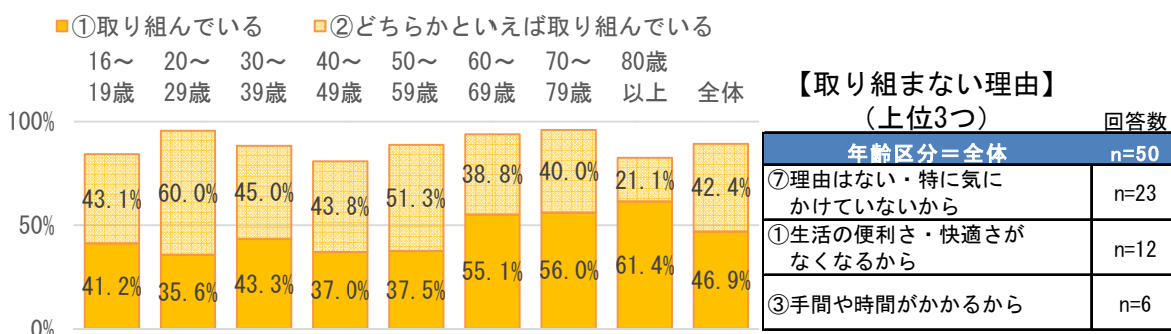
- ①緑の豊かさ
- ②身近な自然（里山、水辺、動植物）への親しみやすさ
- ③空気のきれいさ
- ④星空の美しさ
- ⑤においが気にならないこと（悪臭がしない）
- ⑥川のきれいさ（河川・用水路）
- ⑦地下水のきれいさ
- ⑧まちの静かさ（騒音、振動が気にならない）
- ⑨まちの清潔さ（ごみの少なさ）
- ⑩景色や街並みの美しさ
- ⑪歴史・文化との接しやすさ（歴史的な建築物等に接する機会、地区の祭り・伝統行事などにふれあう機会）
- ⑫市民のマナーの良さ（ポイ捨て・ごみ分別など）
- ⑬暮らしの安全性（ダイオキシンや環境ホルモンなど環境面から）

年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答 その他
全体 (n=581)	満足度	点数	7.9点	7.4点	8.3点		5.4点	5.7点	7.7点	7.2点	6.5点	6.8点	6.0点	4.6点	6.3点	
		回答数	560	554	562		770	554	550	554	554	552	553	555	556	
	重要度	割合	27.0%	16.9%	25.1%		5.3%	30.1%	50.9%	7.4%	13.1%	16.5%	9.3%	38.6%	52.5%	
		回答数	157	98	146		31	175	296	43	76	96	54	224	305	42

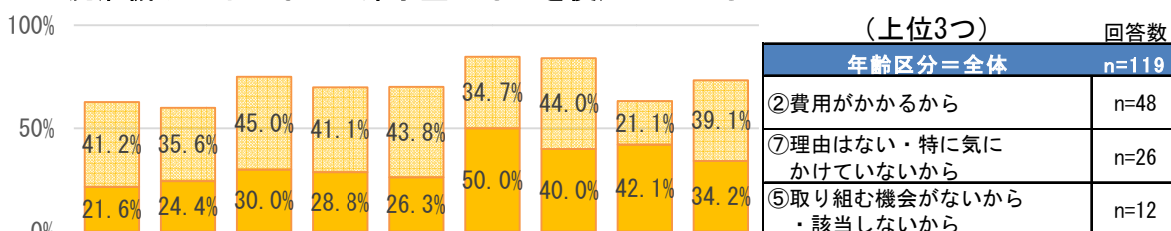
問7 行動指針に基づく取組状況 【水・地下水・湧水・河川の保全】

- ◆各年齢の8割以上が、「節水の心がけ」や「油等を排水口に直接流さない」取組みを行っている一方で、「融雪に地下水を使用しない」は約7割に留まっている。
- ◆下水道未接続等の回答者のうち約1割が「ごみや調味料、油等を直接排水口に流している」としており、「どちらかといえば取り組んでいる」を含めると約5割になる。また、下水道未接続等の回答者約6割が、家庭からの排水が流れ込む水路の点検を行っておらず、その約1/4が、取り組まない理由に「必要だと思わない・効果に疑問があるから」「理由はない、特に気にかけていないから」としている。
- ◆用水や水路の清掃活動への参加が、全体で63.7%であるのに対し、29歳以下は約3割と低い。
- ◆「湧水池や河川環境に触れ合うイベントや保全活動」に参加していない理由として、約35%が「取り組む機会がないから・該当しないから」、約16%が「取り組み方がわからないから」となっている。

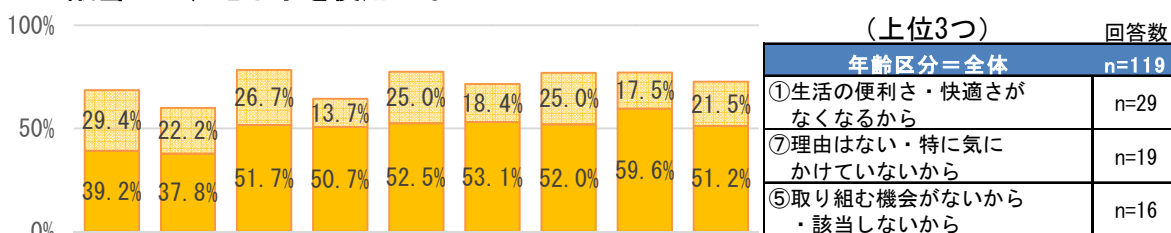
◆ 蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、節水を心がけている



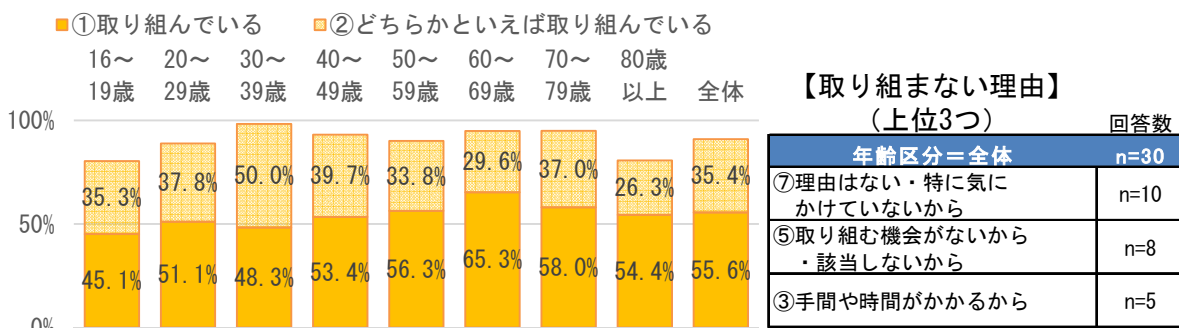
◆ 洗濯機やトイレなどは節水型のものを使用している



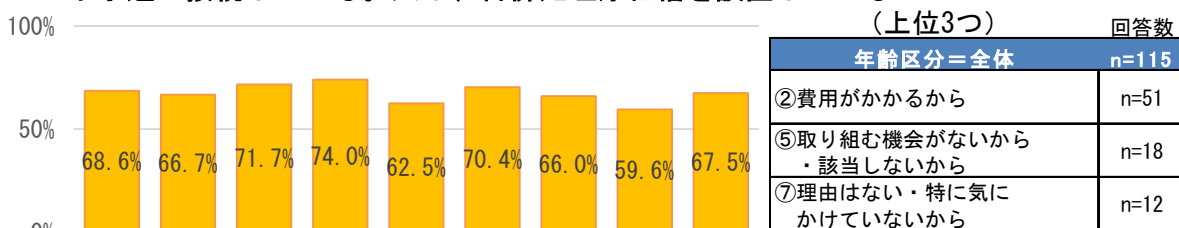
◆ 融雪には、地下水を使用しない



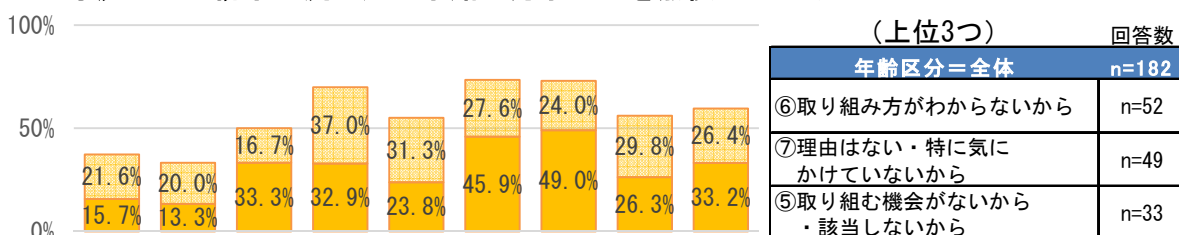
◆ 水切りネットを使用したり拭き取るなどし、ごみや調味料、油などを排水口に直接流さない



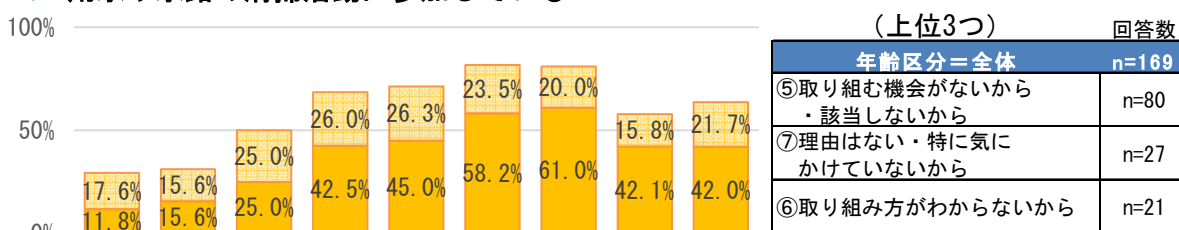
◆ 下水道に接続している。又は、合併処理浄化槽を設置している



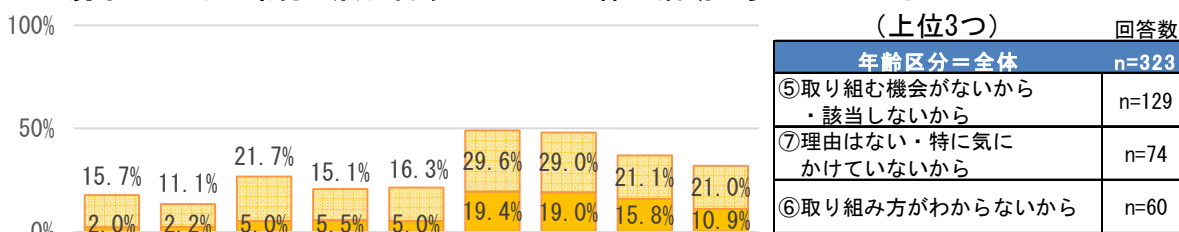
◆ 家庭からの排水が流れ込む水路や汚水マス点を点検している



◆ 用水や水路の清掃活動に参加している



◆ 湧水地や河川環境に触れ合うイベントや保全活動に参加している



蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、節水を心がけている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① る 取り 組ん でい	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い 取 り 組 ん で い	⑤ 無 回 答	① 生 活 の 便 利 さ な か ら	② 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 腰 間 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 理 由 は な い か ら	⑧ 理 由 は な い ・ 特 に な い か ら
16～19歳 n=51	割合 41.2% 回答数 21	43.1% 22	15.7% 8	0.0% 0	0.0% 0								6	
20～29歳 n=45	割合 35.6% 回答数 16	60.0% 27	4.4% 2	0.0% 0	0.0% 0	1		1						
30～39歳 n=60	割合 43.3% 回答数 26	45.0% 27	10.0% 6	1.7% 1	0.0% 0	3		2	1					1
40～49歳 n=73	割合 37.0% 回答数 27	43.8% 32	16.4% 12	2.7% 2	0.0% 0	1		1	1			9	2	
50～59歳 n=80	割合 37.5% 回答数 30	51.3% 41	8.8% 7	2.5% 2	0.0% 0	5		1				2	1	
60～69歳 n=98	割合 55.1% 回答数 54	38.8% 38	6.1% 6	0.0% 0	0.0% 0	1		1	1			2		
70～79歳 n=100	割合 56.0% 回答数 56	40.0% 40	4.0% 4	0.0% 0	0.0% 0					1		2		
80歳以上 n=57	割合 61.4% 回答数 35	21.1% 12	7.0% 4	0.0% 0	10.5% 6	1						2		
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	41.7% 5	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1									
全体 n=576	割合 46.9% 回答数 270	42.4% 244	8.3% 48	0.9% 5	1.6% 9	12	1	6	3	1		23	4	

洗濯機やトイレなどは節水型のもを使用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 21.6% 回答数 11	41.2% 21	21.6% 11	11.8% 6	3.9% 2	1	4			3	3	5	1	
20～29歳 n=45	割合 24.4% 回答数 11	35.6% 16	17.8% 8	22.2% 10	0.0% 0		7		1	6	1	2		
30～39歳 n=60	割合 30.0% 回答数 18	45.0% 27	5.0% 3	18.3% 11	1.7% 1		5		1		4	4		
40～49歳 n=73	割合 28.8% 回答数 21	41.1% 30	19.2% 14	11.0% 8	0.0% 0		7	2	1			9	1	
50～59歳 n=80	割合 26.3% 回答数 21	43.8% 35	20.0% 16	8.8% 7	1.3% 1		12	1	2	1	2		2	
60～69歳 n=98	割合 50.0% 回答数 49	34.7% 34	9.2% 9	4.1% 4	2.0% 2	2	5		1		1	2		
70～79歳 n=100	割合 40.0% 回答数 40	44.0% 44	8.0% 8	8.0% 8	0.0% 0		5	2	2	1		1		
80歳以上 n=57	割合 42.1% 回答数 24	21.1% 12	14.0% 8	5.3% 3	17.5% 10		2	2				2		
無回答 n=12	割合 16.7% 回答数 2	50.0% 6	16.7% 2	8.3% 1	8.3% 1		1			1		1		
全体 n=576	割合 34.2% 回答数 197	39.1% 225	13.7% 79	10.1% 58	3.0% 17	3	48	7	8	12	11	26	4	

融雪には、地下水を使用しない

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 39.2% 回答数 20	29.4% 15	11.8% 6	17.6% 9	2.0% 1	1	1			2	2	7	2	
20～29歳 n=45	割合 37.8% 回答数 17	22.2% 10	15.6% 7	24.4% 11	0.0% 0	2	1			6	6	3		
30～39歳 n=60	割合 51.7% 回答数 31	26.7% 16	3.3% 2	16.7% 10	1.7% 1	1		1		1	2	2	3	
40～49歳 n=73	割合 50.7% 回答数 37	13.7% 10	16.4% 12	17.8% 13	1.4% 1	8	3	1	1	2	1	5	3	
50～59歳 n=80	割合 52.5% 回答数 42	25.0% 20	10.0% 8	12.5% 10	0.0% 0	4	3	2		2			3	
60～69歳 n=98	割合 53.1% 回答数 52	18.4% 14	14.3% 9	9.2% 5	5.1% 3	7	2	4	1	2	1		3	
70～79歳 n=100	割合 52.0% 回答数 52	25.0% 25	11.0% 11	9.0% 9	3.0% 3	5	1	1		1		1	4	
80歳以上 n=57	割合 59.6% 回答数 34	17.5% 10	5.3% 3	5.3% 3	12.3% 7	1		1					2	
無回答 n=12	割合 83.3% 回答数 10	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1	8.3% 1							1		
全体 n=576	割合 51.2% 回答数 295	21.5% 124	10.9% 63	13.0% 75	3.3% 19	29	11	10	2	16	12	19	20	

水切りネットを使用したり拭き取るなどし、ごみや調味料、油などを排水口に直接流さない

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		① る 取り 組ん で い	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い ど ち ら か と い	⑤ 無 回 答	① 生 活 の 便 利 さ な か ら	② 使 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 腰 間 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16~19歳 n=51	割合 回答数	45.1% 23	35.3% 18	9.8% 5	9.8% 5	0.0%	1	1	1		6		1	
20~29歳 n=45	割合 回答数	51.1% 23	37.8% 17	4.4% 2	6.7% 3	0.0%		1	1			1	1	
30~39歳 n=60	割合 回答数	48.3% 29	50.0% 30	0.0% 0	1.7% 1	0.0%		1						
40~49歳 n=73	割合 回答数	53.4% 39	39.7% 29	5.5% 4	1.4% 1	0.0%						1	1	1
50~59歳 n=80	割合 回答数	56.3% 45	33.8% 27	7.5% 6	1.3% 1	1.3% 1		1		2	1	1	1	
60~69歳 n=98	割合 回答数	65.3% 64	29.6% 29	2.0% 2	1.0% 1	2.0% 2						2		
70~79歳 n=100	割合 回答数	58.0% 58	37.0% 37	3.0% 3	1.0% 1	1.0% 1		1					3	
80歳以上 n=57	割合 回答数	54.4% 31	26.3% 15	1.8% 1	1.8% 1	15.8% 9								
無回答 n=12	割合 回答数	66.7% 8	16.7% 2	0.0% 0	8.3% 1	8.3% 1							1	
全体 n=576	割合 回答数	55.6% 320	35.4% 204	4.0% 23	2.6% 15	2.4% 14	1	1	5	1	8	3	10	1

下水道に接続している。又は、合併処理浄化槽を設置している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	68.6% 35		0.0% 0	25.5% 13	5.9% 3		4	1		2	1	3	2
20~29歳 n=45	割合 回答数	66.7% 30		0.0% 0	24.4% 11	8.9% 4	2			5	1	3		
30~39歳 n=60	割合 回答数	71.7% 43		0.0% 0	20.0% 12	8.3% 5		2	2	1	2	3	2	
40~49歳 n=73	割合 回答数	74.0% 54		0.0% 0	24.7% 18	2.7% 2	6	1	1	3	1	1	4	
50~59歳 n=80	割合 回答数	62.5% 50		0.0% 0	28.8% 23	8.8% 7	14		1	1			4	
60~69歳 n=98	割合 回答数	70.4% 69		0.0% 0	23.5% 23	6.1% 6	9	1		5	1	2	3	
70~79歳 n=100	割合 回答数	66.0% 66		0.0% 0	19.0% 19	16.0% 16	10			1			2	
80歳以上 n=57	割合 回答数	59.6% 34		0.0% 0	19.3% 11	21.1% 12	5						1	
無回答 n=12	割合 回答数	66.7% 8		0.0% 0	16.7% 2	16.7% 2	1				1			
全体 n=576	割合 回答数	67.5% 389		0.0% 0	22.9% 132	9.9% 57	51	5	4	18	7	12	18	

家庭からの排水が流れ込む水路や汚水マスを点検している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	15.7% 8	21.6% 11	11.8% 6	47.1% 24	3.9% 2		1	3		7	7	10	2
20~29歳 n=45	割合 回答数	13.3% 6	20.0% 9	20.0% 9	42.2% 19	4.4% 2			3	1	6	11	6	1
30~39歳 n=60	割合 回答数	33.3% 20	16.7% 10	11.7% 7	38.3% 23	0.0% 0			1	2	5	9	8	4
40~49歳 n=73	割合 回答数	32.9% 24	37.0% 27	11.0% 8	19.2% 14	0.0% 0			3	1	3	7	5	3
50~59歳 n=80	割合 回答数	23.8% 19	31.3% 25	27.5% 22	16.3% 13	1.3% 1		2	6		3	9	8	3
60~69歳 n=98	割合 回答数	45.9% 45	27.6% 27	9.2% 9	13.3% 13	4.1% 4		1	1		3	6	5	2
70~79歳 n=100	割合 回答数	49.0% 49	24.0% 24	15.0% 15	7.0% 7	5.0% 5		3	1		5	1	4	2
80歳以上 n=57	割合 回答数	26.3% 15	29.8% 17	15.8% 9	7.0% 4	21.1% 12			1	1	1	1	1	
無回答 n=12	割合 回答数	41.7% 5	16.7% 2	0.0% 0	25.0% 3	16.7% 2						1	2	
全体 n=576	割合 回答数	33.2% 191	26.4% 152	14.8% 85	20.8% 120	4.9% 28	7	19	5	33	52	49	17	

用水や水路の清掃活動に参加している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		① る 取り 組んで いる	② ど ち ら か と い で る	③ ど ち ら か と い で ない	④ ど ち ら か と い で ない	⑤ 無 回 答	① 快 速 さ が な く な ら な い	② 生 活 の 便 利 さ が な く な ら な い	③ 費 用 が か か る か ら	④ 手 間 や 時 間 が か か る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16～19歳 n=51	割合 回答数	11.8% 6	17.6% 9	9.8% 5	60.8% 31			1	3		16	2	10	3
20～29歳 n=45	割合 回答数	15.6% 7	15.6% 7	17.8% 8	48.9% 22				3		13	4	7	2
30～39歳 n=60	割合 回答数	25.0% 15	25.0% 15	8.3% 5	41.7% 25			2	1	13	5	2	5	
40～49歳 n=73	割合 回答数	42.5% 31	26.0% 19	11.0% 8	20.5% 15			1		14	1	3	4	
50～59歳 n=80	割合 回答数	45.0% 36	26.3% 21	11.3% 9	16.3% 13			1		8	5	2	4	
60～69歳 n=98	割合 回答数	58.2% 57	23.5% 23	7.1% 7	8.2% 8					7	3	1	1	
70～79歳 n=100	割合 回答数	61.0% 61	20.0% 20	9.0% 9	6.0% 6					5	1	1	3	
80歳以上 n=57	割合 回答数	42.1% 24	15.8% 9	10.5% 6	15.8% 9			1					6	
無回答 n=12	割合 回答数	41.7% 5	16.7% 2	0.0% 0	16.7% 2						1		1	
全体 n=576	割合 回答数	42.0% 242	21.7% 125	9.9% 57	22.7% 131			1	11	1	80	21	27	28

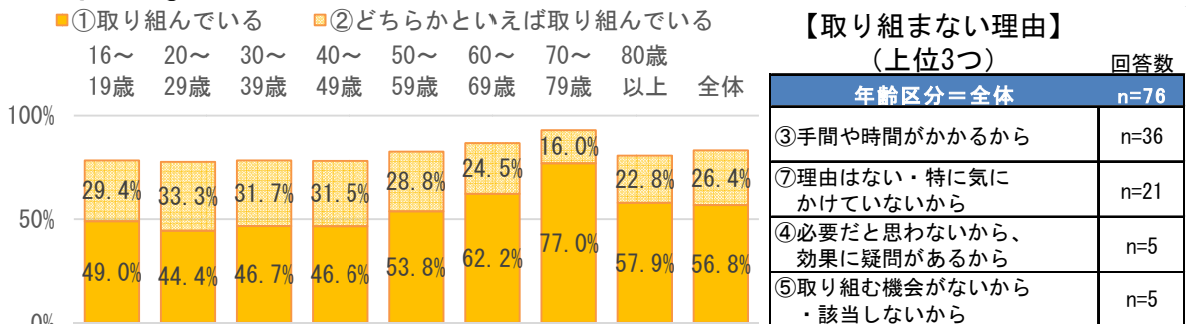
湧水地や河川環境に触れ合うイベントや保全活動に参加している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由								
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
16～19歳 n=51	割合 回答数	2.0% 1	15.7% 8	19.6% 10	62.7% 32	0.0% 0		1	4	1	17	4	7	5	
20～29歳 n=45	割合 回答数	2.2% 1	11.1% 5	20.0% 9	66.7% 30	0.0% 0			3		11	5	16	3	
30～39歳 n=60	割合 回答数	5.0% 3	21.7% 13	28.3% 17	45.0% 27	0.0% 0			4	1	15	10	5	3	
40～49歳 n=73	割合 回答数	5.5% 4	15.1% 11	30.1% 22	49.3% 36	0.0% 0			4		20	15	12	3	
50～59歳 n=80	割合 回答数	5.0% 4	16.3% 13	35.0% 28	42.5% 34	1.3% 1			1	2	25	12	11	6	
60～69歳 n=98	割合 回答数	19.4% 19	29.6% 29	21.4% 21	24.5% 24	5.1% 5					19	5	13	3	
70～79歳 n=100	割合 回答数	19.0% 19	29.0% 29	28.0% 28	20.0% 20	4.0% 4			2		16	8	7	5	
80歳以上 n=57	割合 回答数	15.8% 9	21.1% 12	22.8% 13	26.3% 15	14.0% 8			1		3	1	2	8	
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	8.3% 1	33.3% 4	25.0% 3					3		1		
全体 n=576	割合 回答数	10.9% 63	21.0% 121	25.9% 149	38.5% 222	3.6% 21			1	19	4	129	60	74	36

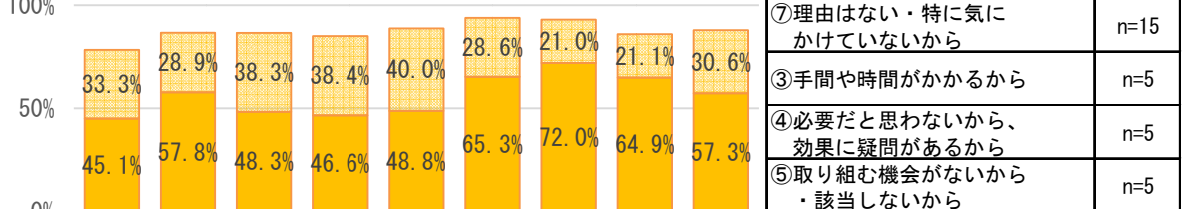
問7 行動指針に基づく取組状況 【ごみ減量・循環型社会構築】

- ◆「牛乳パックやトレイのリサイクル」「マイバッグの使用」「詰め替え商品等の購入」「食品ロスの発生抑制」「雑がみ等の分別」は、回答者の80～90%が取り組んでおり、十分普及している一方で、「エコマーク製品等の購入」「不用品の知人等への譲渡」「資源回収活動への参加」は50～60%の取組状況となっている。
- ◆これらに取り組まない理由として、一般的に「理由はない・特に気にかけていないから」が挙げられており、「エコマーク製品等の購入」に取り組まない理由の約70%を占めている。環境教育も含めた普及啓発が必要と思われる。

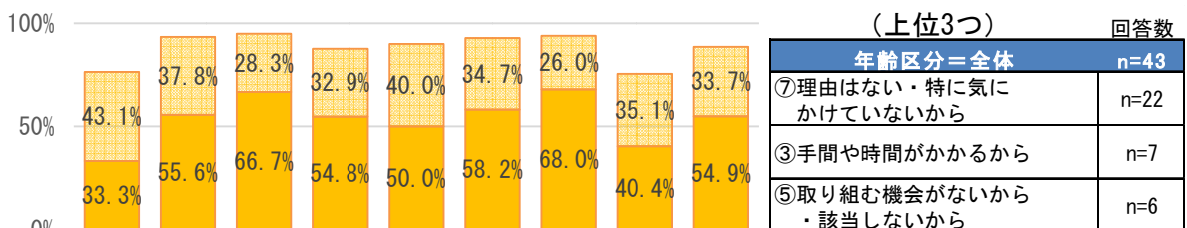
◆ ごみは正しく分別し、牛乳パックやトレイなどはスーパーなどのリサイクルに回している



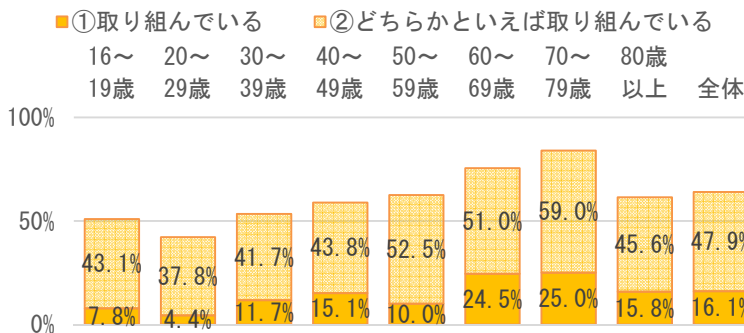
◆ マイバッグ等を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている



◆ 詰め替え商品やリサイクル製品、繰り返し使用できる製品を選んで購入している



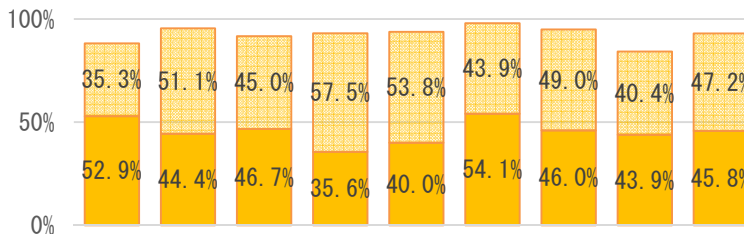
◆ エコマークなど環境に配慮した製品を選んでいる



【組み立てない理由】
(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=113
③手間や時間がかかるから	n=12
④必要だと思わないから、効果に疑問があるから	n=8
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=8

◆ 家庭では食品の買いすぎや作りすぎをしない、外食では食べ残さないことで、食品ロス(※)の発生を抑制している

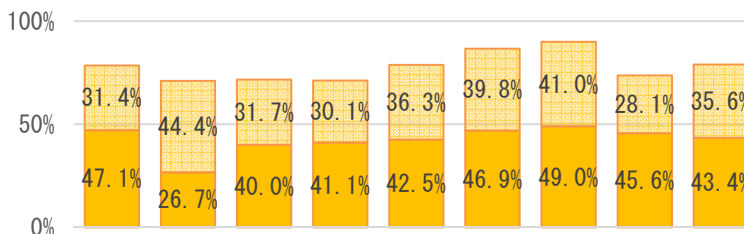


(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=16
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=4
③手間や時間がかかるから	n=3

※食品ロス：本来食べられるのに捨てられてしまう食品

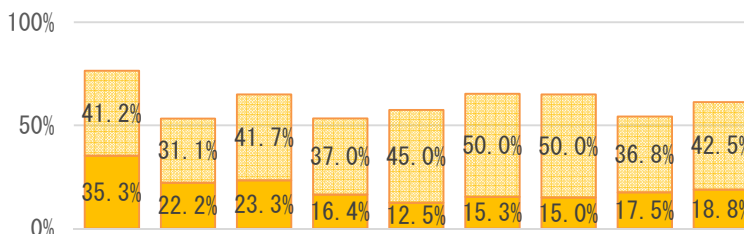
◆ お菓子の空箱やチラシ、メモ用紙などの雑がみは分別して、燃やせるごみには出さないようにしている



(上位3つ)

理由	回答数
③手間や時間がかかるから	n=36
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=31
④必要だと思わないから、効果に疑問があるから	n=7

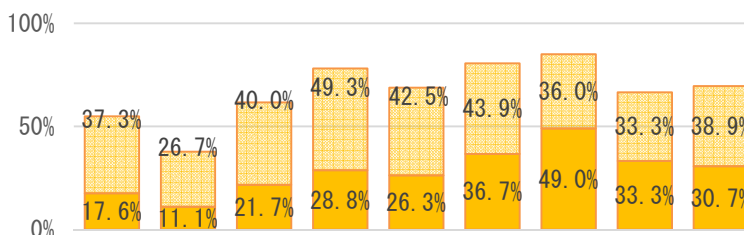
◆ 不用になったものは安易に廃棄せず、知人、友人などに譲るようにしている



(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=52
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=40
③手間や時間がかかるから	n=34

◆ 資源回収活動などに積極的に参加している



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=49
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=35
⑥取り組み方がわからないから	n=22

ごみは正しく分別し、牛乳パックやトレイなどはスーパーなどのリサイクルに回している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由								
		① る 取り 組ん で い	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い 取 り 組 ん で い	⑤ 無 回 答	① 生 活 の 便 利 さ な か ら	② 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 腰 間 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い ・ 特 に な い か ら	⑨ そ の 他
16～19歳 n=51	割合 49.0% 回答数 25	29.4% 15	11.8% 6	9.8% 5	0.0%										
20～29歳 n=45	割合 44.4% 回答数 20	33.3% 15	2.2% 1	20.0% 9	0.0%			4			3	1	2	1	
30～39歳 n=60	割合 46.7% 回答数 28	31.7% 19	6.7% 4	15.0% 9	0.0%			5	1	1			3		
40～49歳 n=73	割合 46.6% 回答数 34	31.5% 23	11.0% 8	11.0% 8	0.0%			8	1				4		
50～59歳 n=80	割合 53.8% 回答数 43	28.8% 23	12.5% 10	5.0% 4	0.0%			6		1			5	4	
60～69歳 n=98	割合 62.2% 回答数 61	24.5% 24	7.1% 7	5.1% 5	1.0% 1			6	2				3	1	
70～79歳 n=100	割合 77.0% 回答数 77	16.0% 16	1.0% 1	2.0% 2	4.0% 4			1					1		
80歳以上 n=57	割合 57.9% 回答数 33	22.8% 13	8.8% 5	0.0% 0	10.5% 6			1							
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	33.3% 4	0.0% 0	0.0% 0	16.7% 2										
全体 n=576	割合 56.8% 回答数 327	26.4% 152	7.3% 42	7.3% 42	2.3% 13			1	36	5	5	2	21	6	

マイバッグ等を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 45.1% 回答数 23	33.3% 17	13.7% 7	7.8% 4	0.0%									
20～29歳 n=45	割合 57.8% 回答数 26	28.9% 13	4.4% 2	8.9% 4	0.0%			3	1	2			2	
30～39歳 n=60	割合 48.3% 回答数 29	38.3% 23	10.0% 6	3.3% 2	0.0%			2		1			3	
40～49歳 n=73	割合 46.6% 回答数 34	38.4% 28	9.6% 7	5.5% 4	0.0%			5		1			1	1
50～59歳 n=80	割合 48.8% 回答数 39	40.0% 32	8.8% 7	2.5% 2	0.0%			4		1	1		2	2
60～69歳 n=98	割合 65.3% 回答数 64	28.6% 28	3.1% 3	3.1% 3	0.0%			1		1			5	
70～79歳 n=100	割合 72.0% 回答数 72	21.0% 21	4.0% 4	1.0% 1	2.0% 2			2		1			1	
80歳以上 n=57	割合 64.9% 回答数 37	21.1% 12	0.0% 0	3.5% 2	10.5% 6			1						
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	16.7% 2	8.3% 1	16.7% 2	8.3% 1									
全体 n=576	割合 57.3% 回答数 330	30.6% 176	6.4% 37	4.2% 24	1.6% 9			17		5	5	5	15	5

詰め替え商品やリサイクル製品、繰り返し使用できる製品を選んで購入している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 33.3% 回答数 17	43.1% 22	9.8% 5	13.7% 7	0.0%									
20～29歳 n=45	割合 55.6% 回答数 25	37.8% 17	4.4% 2	2.2% 1	0.0%			1		4			6	
30～39歳 n=60	割合 66.7% 回答数 40	28.3% 17	1.7% 1	1.7% 1	1.7% 1			1					2	
40～49歳 n=73	割合 54.8% 回答数 40	32.9% 24	8.2% 6	4.1% 3	0.0%			1	1	1			3	1
50～59歳 n=80	割合 50.0% 回答数 40	40.0% 32	6.3% 5	3.8% 3	0.0%			2					4	1
60～69歳 n=98	割合 58.2% 回答数 57	34.7% 34	6.1% 6	1.0% 1	0.0%			1	1			1	1	
70～79歳 n=100	割合 68.0% 回答数 68	26.0% 26	4.0% 4	0.0% 0	2.0% 2							1	1	1
80歳以上 n=57	割合 40.4% 回答数 23	35.1% 20	5.3% 3	3.5% 2	15.8% 9					1			2	
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	16.7% 2	25.0% 3	0.0% 0	8.3% 1			1					1	
全体 n=576	割合 54.9% 回答数 316	33.7% 194	6.1% 35	3.1% 18	2.3% 13			1	1	7	1	6	2	22

エコマークなど環境に配慮した製品を選んでいる

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① 取る 組んで いる	② ど ち ら か と い う 組 み 方 を 選 ん で い る	③ ど ち ら か と い う 組 み 方 を 選 ん で い る	④ ど ち ら か と い う 組 み 方 を 選 ん で い る	⑤ ど ち ら か と い う 組 み 方 を 選 ん で い る	① 快 速 さ が な く な る か ら	② 使 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 履 き が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16~19歳 n=51	割合 7.8% 回答数 4	43.1%	23.5%	23.5%	2.0%			2			4	1	16	
20~29歳 n=45	割合 4.4% 回答数 2	37.8%	33.3%	24.4%	0.0%		1	2	3				18	
30~39歳 n=60	割合 11.7% 回答数 7	41.7%	30.0%	16.7%	0.0%		1	3	2				17	
40~49歳 n=73	割合 15.1% 回答数 11	43.8%	26.0%	15.1%	0.0%		1	1		1		22	2	
50~59歳 n=80	割合 10.0% 回答数 8	52.5%	26.3%	11.3%	0.0%	1	1	4	2			1	17	1
60~69歳 n=98	割合 24.5% 回答数 24	51.0%	20.4%	3.1%	1.0%	2	1					1	11	1
70~79歳 n=100	割合 25.0% 回答数 25	59.0%	9.0%	3.0%	4.0%						1	2	6	
80歳以上 n=57	割合 15.8% 回答数 9	45.6%	17.5%	3.5%	17.5%				1	1	1	3		
無回答 n=12	割合 25.0% 回答数 3	25.0%	16.7%	25.0%	8.3%						1	3		
全体 n=576	割合 16.1% 回答数 93	47.9%	21.9%	11.1%	3.0%	4	5	12	8	8	7	113	4	

家庭では食品の買いすぎや作りすぎをしない、外食では食べ残さないことで、食品ロス発生を抑制している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 52.9% 回答数 27	35.3%	7.8%	3.9%	0.0%			1		2			3	
20~29歳 n=45	割合 44.4% 回答数 20	51.1%	4.4%	0.0%	0.0%								1	
30~39歳 n=60	割合 46.7% 回答数 28	45.0%	5.0%	3.3%	0.0%								4	
40~49歳 n=73	割合 35.6% 回答数 26	57.5%	4.1%	2.7%	0.0%					1		2	1	
50~59歳 n=80	割合 40.0% 回答数 32	53.8%	3.8%	2.5%	0.0%			2				3		
60~69歳 n=98	割合 54.1% 回答数 53	43.9%	2.0%	0.0%	0.0%					1		1		
70~79歳 n=100	割合 46.0% 回答数 46	49.0%	2.0%	1.0%	2.0%				1			2		
80歳以上 n=57	割合 43.9% 回答数 25	40.4%	1.8%	0.0%	14.0%								8	
無回答 n=12	割合 58.3% 回答数 7	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%								1	
全体 n=576	割合 45.8% 回答数 264	47.2%	3.5%	1.6%	1.9%			1	3	4		16	1	

お菓子の空箱やチラシ、メモ用紙などの雑がみは分別して、燃やせるごみには出さないようにしている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 47.1% 回答数 24	31.4%	5.9%	15.7%	0.0%									
20~29歳 n=45	割合 26.7% 回答数 12	44.4%	6.7%	20.0%	2.2%			2		1	1	7		
30~39歳 n=60	割合 40.0% 回答数 24	31.7%	16.7%	11.7%	0.0%			5	1			5		
40~49歳 n=73	割合 40.0% 回答数 30	31.7%	16.7%	11.7%	0.0%			2				3	3	
50~59歳 n=80	割合 42.5% 回答数 34	36.3%	10.0%	10.0%	1.3%			1	9	1	3	4	2	
60~69歳 n=98	割合 46.9% 回答数 46	39.8%	6.1%	6.1%	1.0%			6	2			5	2	
70~79歳 n=100	割合 46.9% 回答数 49	39.8%	6.1%	6.1%	1.0%			1	4	2	1	1	1	
80歳以上 n=57	割合 49.0% 回答数 49	41.0%	5.0%	2.0%	3.0%			2				4		
無回答 n=12	割合 45.6% 回答数 26	28.1%	8.8%	0.0%	17.5%				1			1		
全体 n=576	割合 43.4% 回答数 250	35.6%	9.4%	8.7%	3.0%			4	36	7	3	6	31	4

不用になったものは安易に廃棄せず、知人、友人などに譲るようにしている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで ない	⑤ 無回 答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用が かか るか ら	③ 手 間や 時間 がか るか ら	④ 必 要だ と思 わな いか ら・ 効果 があ るか ら	⑤ 取 り組 む機 会が な い	⑥ 取 り組 み方 がわ か らな い	⑦ 理 由は ない か ら	⑧ そ の 他
16～19歳 n=51	割合 回答数	35.3% 18	41.2% 21	9.8% 5	13.7% 7	0.0%								
20～29歳 n=45	割合 回答数	22.2% 10	31.1% 14	24.4% 11	22.2% 10	0.0%	1	1	4	1	1	1	10	1
30～39歳 n=60	割合 回答数	23.3% 14	41.7% 25	18.3% 11	16.7% 10	0.0%			6		3	3	6	1
40～49歳 n=73	割合 回答数	16.4% 12	37.0% 27	31.5% 23	15.1% 11	0.0%			9	3	7	1	6	4
50～59歳 n=80	割合 回答数	12.5% 10	45.0% 36	27.5% 22	15.0% 12	0.0%			5	1	10		11	3
60～69歳 n=98	割合 回答数	15.3% 15	50.0% 49	23.5% 23	11.2% 11	0.0%			7	2	6	2	5	3
70～79歳 n=100	割合 回答数	15.0% 15	50.0% 50	22.0% 22	9.0% 9	4.0% 4			1	1	7		4	5
80歳以上 n=57	割合 回答数	17.5% 10	36.8% 21	21.1% 12	5.3% 3	19.3% 11					3		2	2
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	16.7% 2	25.0% 3	16.7% 2	8.3% 1				1	1	1	1	
全体 n=576	割合 回答数	18.8% 108	42.5% 245	22.9% 132	13.0% 75	2.8% 16	1	2	34	9	40	8	52	19

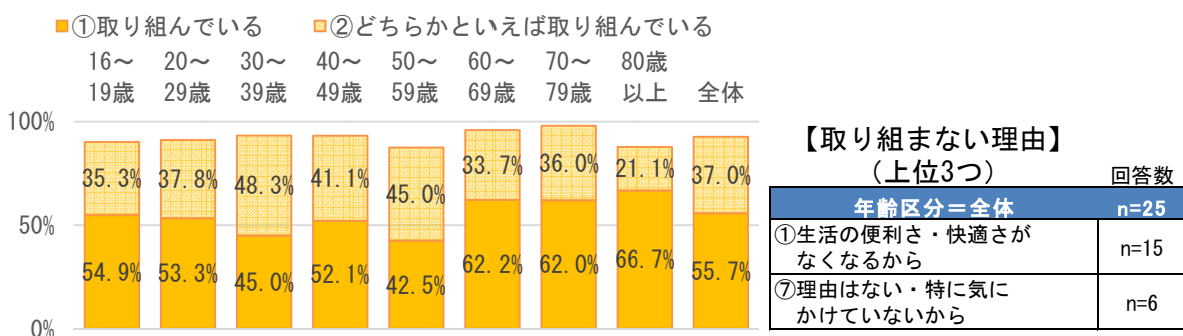
資源回収活動などに積極的に参加している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 回答数	17.6% 9	37.3% 19	27.5% 14	17.6% 9	0.0%			2		8	1	7	2
20～29歳 n=45	割合 回答数	11.1% 5	26.7% 12	15.6% 7	46.7% 21	0.0%			3	1	9	2	9	2
30～39歳 n=60	割合 回答数	21.7% 13	40.0% 24	11.7% 7	26.7% 16	0.0%			1	1	10	4	2	
40～49歳 n=73	割合 回答数	28.8% 21	49.3% 36	11.0% 8	11.0% 8	0.0%			2		6	5	1	1
50～59歳 n=80	割合 回答数	26.3% 21	42.5% 34	17.5% 14	13.8% 11	0.0%			3		8	3	5	3
60～69歳 n=98	割合 回答数	36.7% 36	43.9% 43	14.3% 14	5.1% 5	0.0%					6	3	4	
70～79歳 n=100	割合 回答数	49.0% 49	36.0% 36	4.0% 4	7.0% 7	4.0% 4						2	4	
80歳以上 n=57	割合 回答数	33.3% 19	33.3% 19	8.8% 5	8.8% 5	15.8% 9					1	1	1	1
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	8.3% 1	16.7% 2	16.7% 2	25.0% 3					1	1	2	
全体 n=576	割合 回答数	30.7% 177	38.9% 224	13.0% 75	14.6% 84	2.8% 16			11	2	49	22	35	9

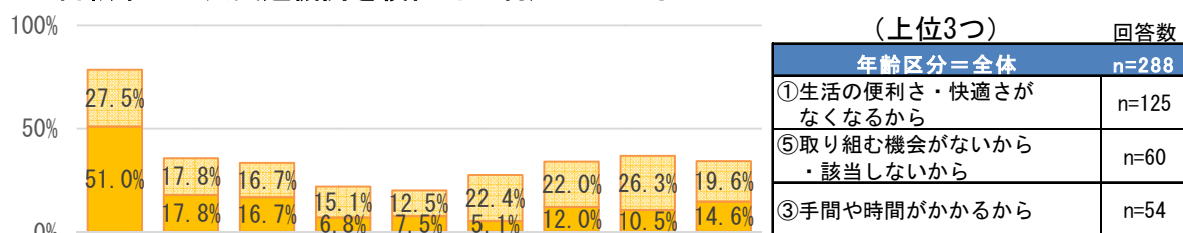
問7 行動指針に基づく取組状況 【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】

- ◆ 「節電の心がけ」は90%以上、「エコドライブの実践」「環境性の良い商品選択」は約80%が取り組んでおり、十分に普及しているといえる。
- ◆ 「自転車や公共交通機関の積極的利用」は、全体で約35%にとどまっており、取り組まない理由の約40%が「生活の便利さ・快適さがなくなるから」となっており車に依存した生活が反映された結果となっている。一方で、「ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している」回答者は34.2%と低水準にとどまっている。
- ◆ 「太陽光発電等の導入・活用」している回答者は8%、「高断熱化設備や省エネ設備の設置」については44.9%となっており、「費用がかかる」ことから取組状況は低水準となっている。

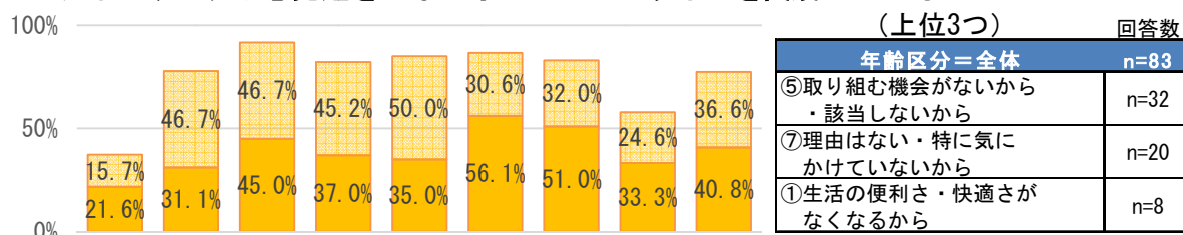
◆ 冷暖房の適温設定や不必要な照明の消灯などにより、節電を心がけている



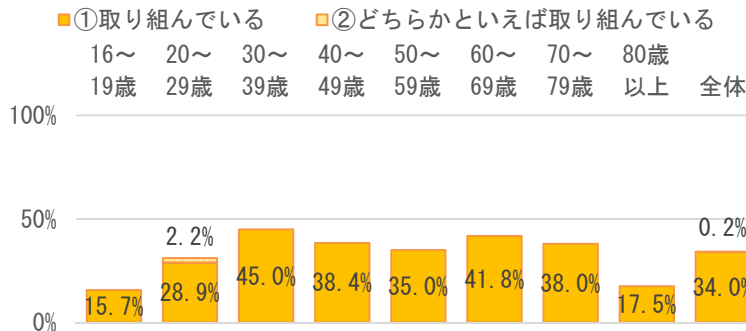
◆ 自転車や公共交通機関を積極的に利用している



◆ アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している



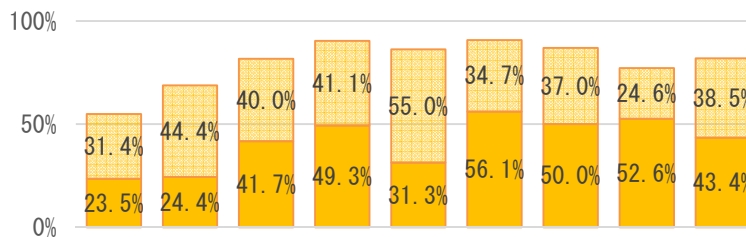
◆ ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している



【取り組まない理由】
(上位3つ)

理由	回答数
②費用がかかるから	n=159
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから	n=51
⑦理由はない・特に気に かけていないから	n=23

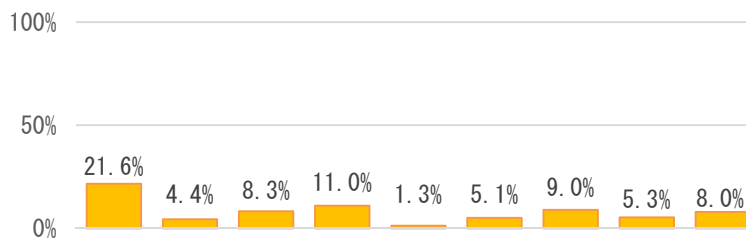
◆ 家電等を購入する際には、省エネ型などの環境性能の良い商品を選ぶ



(上位3つ)

理由	回答数
②費用がかかるから	n=20
⑦理由はない・特に気に かけていないから	n=20
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから	n=18

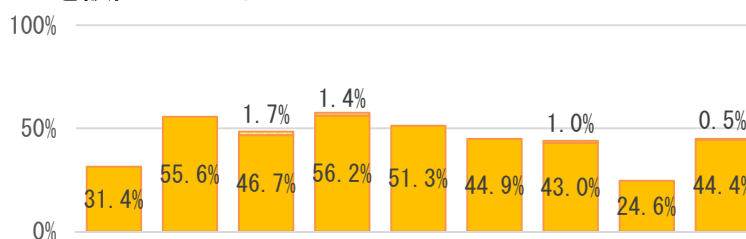
◆ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している



(上位3つ)

理由	回答数
②費用がかかるから	n=243
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから	n=69
④必要だと思わないから、 効果に疑問があるから	n=39

◆ 住宅設備に、高断熱化設備（二重サッシなど）や省エネ設備（エコキュートなど）を設置している



(上位3つ)

理由	回答数
②費用がかかるから	n=145
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから	n=45
⑦理由はない・特に気に かけていないから	n=17

冷暖房の適温設定や unnecessaryな照明の消灯などにより、節電を心がけている

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで いない	⑤ 無 回答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用が かか るか ら	③ 手 間 や 時 間 が か か る か ら	④ 要 求 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16~19歳 n=51	割合 回答数	54.9% 28	35.3% 18	3.9% 2	3.9% 2	2.0% 1							3	
20~29歳 n=45	割合 回答数	53.3% 24	37.8% 17	2.2% 1	4.4% 2	2.2% 1	3							
30~39歳 n=60	割合 回答数	45.0% 27	48.3% 29	3.3% 2	3.3% 2	0.0% 0	3		1					
40~49歳 n=73	割合 回答数	52.1% 38	41.1% 30	2.7% 2	4.1% 3	0.0% 0	1	1				1	1	1
50~59歳 n=80	割合 回答数	42.5% 34	45.0% 36	8.8% 7	3.8% 3	0.0% 0	6						2	
60~69歳 n=98	割合 回答数	62.2% 61	33.7% 33	2.0% 2	0.0% 2	2.0% 2	1							
70~79歳 n=100	割合 回答数	62.0% 62	36.0% 36	0.0% 0	0.0% 0	2.0% 2								
80歳以上 n=57	割合 回答数	66.7% 38	21.1% 12	1.8% 1	0.0% 1	10.5% 6								
無回答 n=12	割合 回答数	75.0% 9	16.7% 2	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1								
全体 n=576	割合 回答数	55.7% 321	37.0% 213	3.0% 17	2.1% 12	2.3% 13	15	1	1		1	6	1	

自転車や公共交通機関を積極的に利用している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	51.0% 26	27.5% 14	11.8% 6	7.8% 4	2.0% 1	2	2	3		1		1	
20~29歳 n=45	割合 回答数	17.8% 8	17.8% 8	15.6% 7	46.7% 21	2.2% 1	15		4	1	5		2	
30~39歳 n=60	割合 回答数	16.7% 10	16.7% 10	25.0% 15	41.7% 25	0.0% 0	19		7	1	5		1	3
40~49歳 n=73	割合 回答数	6.8% 5	15.1% 11	31.5% 23	43.8% 32	2.7% 2	22	1	11		8	2	3	3
50~59歳 n=80	割合 回答数	7.5% 6	12.5% 10	41.3% 33	37.5% 30	1.3% 1	21	3	10	1	12		6	1
60~69歳 n=98	割合 回答数	5.1% 5	22.4% 22	38.8% 38	29.6% 29	4.1% 4	25	1	8	1	15		4	2
70~79歳 n=100	割合 回答数	12.0% 12	22.0% 22	33.0% 33	27.0% 27	6.0% 6	17		7	1	10		4	3
80歳以上 n=57	割合 回答数	10.5% 6	26.3% 15	26.3% 15	17.5% 10	19.3% 11	3		4		3		1	
無回答 n=12	割合 回答数	50.0% 6	8.3% 1	8.3% 1	25.0% 3	8.3% 1	1				1			1
全体 n=576	割合 回答数	14.6% 84	19.6% 113	29.7% 171	31.4% 181	4.7% 27	125	7	54	5	60	2	22	13

アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	21.6% 11	15.7% 8	7.8% 4	51.0% 26	3.9% 2	1				19	1	6	3
20~29歳 n=45	割合 回答数	31.1% 14	46.7% 21	8.9% 4	11.1% 5	2.2% 1			3	4			1	1
30~39歳 n=60	割合 回答数	45.0% 27	46.7% 28	5.0% 3	3.3% 2	0.0% 0	2				2			
40~49歳 n=73	割合 回答数	37.0% 27	45.2% 33	9.6% 7	8.2% 6	0.0% 0	2			1	1		7	
50~59歳 n=80	割合 回答数	35.0% 28	50.0% 40	2.5% 2	12.5% 10	0.0% 0	1	1		2		1	3	3
60~69歳 n=98	割合 回答数	56.1% 55	30.6% 30	4.1% 4	4.1% 4	5.1% 5	2					1	1	1
70~79歳 n=100	割合 回答数	51.0% 51	32.0% 32	4.0% 4	4.0% 4	9.0% 9					4		1	
80歳以上 n=57	割合 回答数	33.3% 19	24.6% 14	7.0% 4	12.3% 7	22.8% 13					3	1	1	2
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	41.7% 5	0.0% 0	8.3% 1	25.0% 3								1
全体 n=576	割合 回答数	40.8% 235	36.6% 211	5.6% 32	11.3% 65	5.7% 33	8	1	1	6	32	4	20	11

ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由								
		① 取り組んでい る	② どちらかとい う	③ どちらかとい ない	④ 取り組んでい ない	⑤ 無回答	① 快適さがなく から	② 生活の便利さ・ 費用がかかるか	③ 費用がかかるか	④ 手間や時間が かかる	⑤ 必要だと思わ ないから・効果 がないから	⑥ 取り組む機会 が少ないから	⑦ 取組み方がわ からないから	⑧ 理由はない・特 にない	⑨ その他
16～19歳 n=51	割合 15.7% 回答数 8	0.0%	0.0%	78.4%	5.9%										
20～29歳 n=45	割合 28.9% 回答数 13	2.2%	0.0%	62.2%	6.7%		6		1		20		7	4	
30～39歳 n=60	割合 45.0% 回答数 27	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%		16			1	5		2	4	
40～49歳 n=73	割合 38.4% 回答数 28	0.0%	0.0%	61.6%	0.0%		1	21			5		2	3	
50～59歳 n=80	割合 35.0% 回答数 28	0.0%	0.0%	62.5%	2.5%			31		5	1		1	6	
60～69歳 n=98	割合 41.8% 回答数 41	0.0%	0.0%	48.0%	10.2%			30		1	2	1	5	9	
70～79歳 n=100	割合 38.0% 回答数 38	0.0%	0.0%	46.0%	16.0%		27			2	4		3	5	
80歳以上 n=57	割合 17.5% 回答数 10	0.0%	0.0%	47.4%	35.1%		1	19		2	7		3	6	
無回答 n=12	割合 25.0% 回答数 3	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%										
全体 n=576	割合 34.0% 回答数 196	0.2%	0.0%	55.9%	9.9%		3				2			1	
							2	159	1	14	51	2	23	42	

家電等を購入する際には、省エネ型などの環境性能の良い商品を選ぶ

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 23.5% 回答数 12	31.4%	5.9%	37.3%	2.0%									
20～29歳 n=45	割合 24.4% 回答数 11	44.4%	11.1%	17.8%	2.2%		3		1	10		5	3	
30～39歳 n=60	割合 41.7% 回答数 25	40.0%	10.0%	8.3%	0.0%		5			4		4		
40～49歳 n=73	割合 49.3% 回答数 36	41.1%	4.1%	4.1%	1.4%		2	3					1	
50～59歳 n=80	割合 31.3% 回答数 25	55.0%	8.8%	3.8%	1.3%		3		1	1		2	1	
60～69歳 n=98	割合 56.1% 回答数 55	34.7%	5.1%	0.0%	4.1%		1			1		5	1	
70～79歳 n=100	割合 50.0% 回答数 50	37.0%	5.0%	1.0%	7.0%		2					2		
80歳以上 n=57	割合 52.6% 回答数 30	24.6%	1.8%	3.5%	17.5%		1			1		1		
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%									
全体 n=576	割合 43.4% 回答数 250	38.5%	6.3%	7.3%	4.5%		1			1				
							2	20		4	18		20	5

太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 21.6% 回答数 11	0.0%	0.0%	76.5%	2.0%									
20～29歳 n=45	割合 4.4% 回答数 2	0.0%	0.0%	93.3%	2.2%		9		1	15	1	8	4	
30～39歳 n=60	割合 8.3% 回答数 5	0.0%	0.0%	91.7%	0.0%		19		3	11		5	2	
40～49歳 n=73	割合 11.0% 回答数 8	0.0%	0.0%	87.7%	1.4%		33	1	1	7	2	3	5	
50～59歳 n=80	割合 1.3% 回答数 1	0.0%	0.0%	96.3%	2.5%		40		4	4	2	5	7	
60～69歳 n=98	割合 5.1% 回答数 5	0.0%	0.0%	89.8%	5.1%		44	2	6	12	2	4	2	
70～79歳 n=100	割合 9.0% 回答数 9	0.0%	0.0%	80.0%	11.0%		46		12	8	1	8	4	
80歳以上 n=57	割合 5.3% 回答数 3	0.0%	0.0%	64.9%	29.8%		33	1	10	8	1	4	5	
無回答 n=12	割合 16.7% 回答数 2	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%									
全体 n=576	割合 8.0% 回答数 46	0.0%	0.0%	85.1%	6.9%		6			1				
							243	4	39	69	10	38	31	

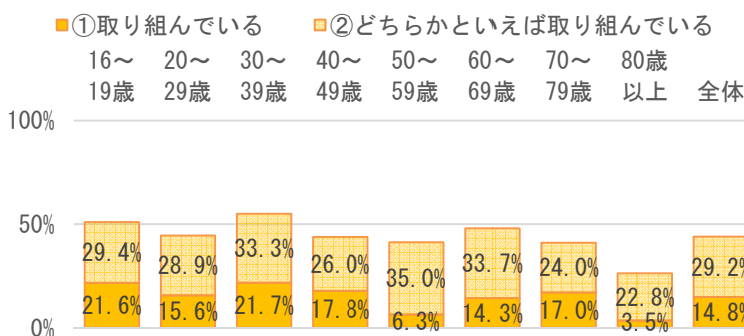
住宅設備に、高断熱化設備(二重サッシなど)や省エネ設備(エコキュートなど)を設置している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由								
		① 取り組んでいる	② どちらかといえる	③ どちらかといえない	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 生活の利便さから	② 費用がかかるか	③ 手間や時間がかかるから	④ 必要だと思わないから、効果があるから	⑤ 知らないから・該当がないから	⑥ 取り組む方がわからないから	⑦ 理由はないから	⑧ その他	
16～19歳	割合 n=51	31.4%	0.0%	0.0%	64.7%	3.9%									
	回答数	16			33	2		7		1		14	1	5	4
20～29歳	割合 n=45	55.6%	0.0%	0.0%	42.2%	2.2%									
	回答数	25			19	1		6	1	2	8		1	1	
30～39歳	割合 n=60	46.7%	1.7%	0.0%	51.7%	0.0%									
	回答数	28	1		31			16		1	6	2	2	4	
40～49歳	割合 n=73	56.2%	1.4%	0.0%	42.5%	0.0%									
	回答数	41	1		31			22			2		2	5	
50～59歳	割合 n=80	51.3%	0.0%	0.0%	47.5%	1.3%									
	回答数	41			38	1		22	2	2	5		1	3	
60～69歳	割合 n=98	44.9%	0.0%	0.0%	51.0%	4.1%									
	回答数	44			50	4		31		2	4	2	4	1	
70～79歳	割合 n=100	43.0%	1.0%	0.0%	48.0%	8.0%									
	回答数	43	1		48	8		24	1	2	6		2	3	
80歳以上	割合 n=57	24.6%	0.0%	0.0%	49.1%	26.3%									
	回答数	14			28	15		11		1				3	
無回答	割合 n=12	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%									
	回答数	4			6	2		6							
全体	割合 n=576	44.4%	0.5%	0.0%	49.3%	5.7%									
	回答数	256	3		284	33		145	4	11	45	5	17	24	

問7 行動指針に基づく取組状況 【自然とのふれあい・自然保護・その他】

- ◆「大野の自然とふれあい、楽しんでいる」と回答した割合は、全体で約45%となっており、取り組まない理由の約55%が「取り組む機会がないから・該当しないから」となっている。大野の豊かな自然が市民の間で積極的に利用されていない状況にあると推察される。
- ◆「晴れた夜に、よく星空を見上げる」と回答した割合は、全体で70%を超えており、市民の間に大野＝星空が定着していることが伺える。
- ◆「農地や所有林の保全」と「ペットの適正管理」は取組状況が低水準だが、分母から「無回答」と「該当しないから」を除くとそれぞれ69.8%、76.3%が取り組んでいることになる。
- ◆環境問題等への関心は高い（問4～6参照）が、「環境関係情報の収集」は積極的には行われていない。

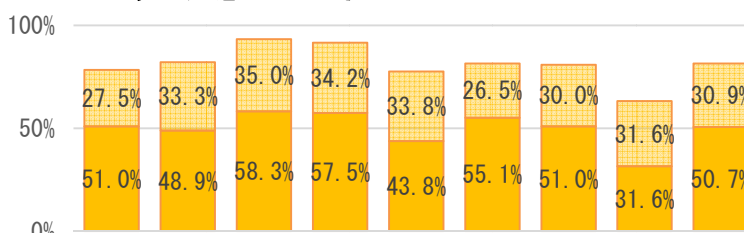
◆ 川釣りや自然の中でのレクリエーションなど、大野の自然とふれあい、楽しんでいる



【取り組まない理由】 (上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=124
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=52
③手間や時間がかかるから	n=15

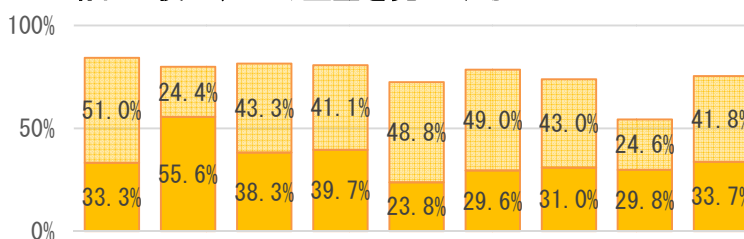
◆ 川や山を訪れた際は、不要な採取や餌付け、生き物のすみかを荒らす行為はしないように注意している



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=42
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=12
③手間や時間がかかるから	n=1
⑥取り組み方がわからないから	n=1

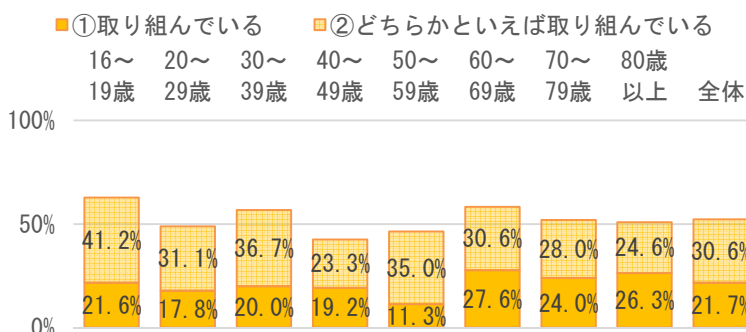
◆ 晴れた夜は、よく星空を見上げる



(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=59
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=18
③手間や時間がかかるから	n=3

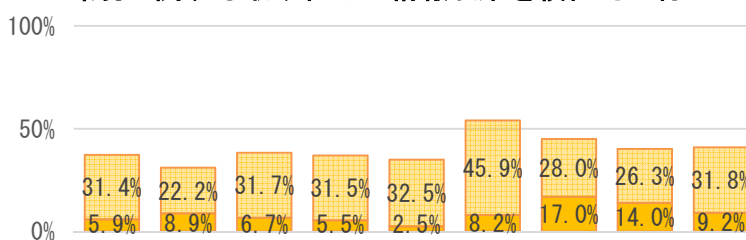
◆ 農地や所有林の保全に心がけている



【取り組まない理由】
(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=115
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=49
⑥取り組み方がわからないから	n=25

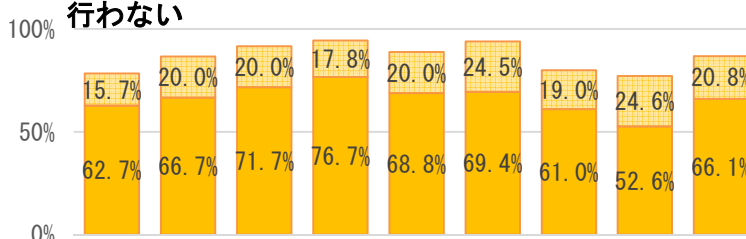
◆ 環境に関する取り組みの情報収集を積極的に行っている



(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=96
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=82
⑥取り組み方がわからないから	n=45

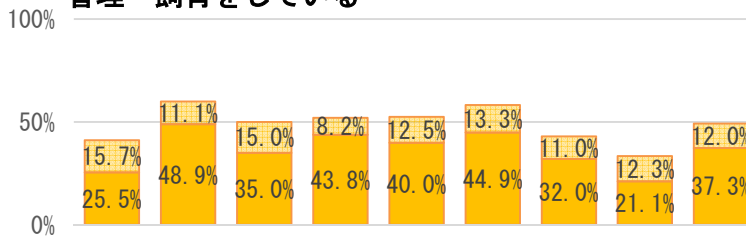
◆ 家庭での野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=15
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=11
②費用がかかるから	n=3
③手間や時間がかかるから	n=3

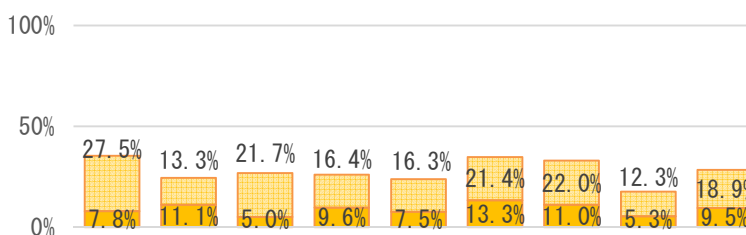
◆ ペットが野生化し、生態系に影響を与えることのないよう管理・飼育をしている



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=155
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=14
(参考) ⑧その他	n=50

◆ 文化財や伝統芸能を守る活動に参加している



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=157
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=85
⑥取り組み方がわからないから	n=42

◆ その他（自由記述を要約）

30～39歳 姉妹都市や都会の子供たちとともに自然と触れ合うイベント等/

70～79歳 家庭菜園少しの場所で全面楽しんでいる/

80歳以上 県外へ車を使い行動するのを控え、市内の自然に親しむように心がけている/

川釣りや自然の中でのレクリエーションなど、大野の自然とふれあい、楽しんでいる

年齢	集計	取組状況					取組まない理由								
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで いない	⑤ 無 回答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 履 き が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら ず	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら	⑨ そ の 他
16～19歳 n=51	割合 21.6% 回答数 11	29.4%	13.7%	31.4%	3.9%										
20～29歳 n=45	割合 15.6% 回答数 7	28.9%	20.0%	33.3%	2.2%			5			10	2	5	1	
30～39歳 n=60	割合 21.7% 回答数 13	33.3%	21.7%	23.3%	0.0%			2			10	2	5	3	
40～49歳 n=73	割合 17.8% 回答数 13	26.0%	26.0%	30.1%	0.0%				4	11			8	2	
50～59歳 n=80	割合 6.3% 回答数 5	35.0%	23.8%	35.0%	0.0%			1	2	21			5	4	
60～69歳 n=98	割合 14.3% 回答数 14	33.7%	27.6%	19.4%	5.1%			3	1	21	3	13	2		
70～79歳 n=100	割合 17.0% 回答数 17	24.0%	23.0%	28.0%	8.0%			2	2	21		8	1		
80歳以上 n=57	割合 3.5% 回答数 2	22.8%	17.5%	33.3%	22.8%								8	1	
無回答 n=12	割合 25.0% 回答数 3	25.0%	8.3%	33.3%	8.3%					10			3		
全体 n=576	割合 14.8% 回答数 85	29.2%	22.2%	28.6%	5.2%			15	12	124	9	52	17		

川や山を訪れた際は、不要な採取や餌付け、生き物のすみかを荒らす行為はしないように注意している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 51.0% 回答数 26	27.5%	3.9%	15.7%	2.0%									
20～29歳 n=45	割合 48.9% 回答数 22	33.3%	2.2%	13.3%	2.2%					6		2	2	
30～39歳 n=60	割合 58.3% 回答数 35	35.0%	3.3%	3.3%	0.0%					4		2	1	
40～49歳 n=73	割合 57.5% 回答数 42	34.2%	1.4%	6.8%	0.0%						1	1	1	
50～59歳 n=80	割合 43.8% 回答数 35	33.8%	10.0%	12.5%	0.0%									
60～69歳 n=98	割合 55.1% 回答数 54	26.5%	4.1%	9.2%	5.1%					3		1	1	
70～79歳 n=100	割合 43.8% 回答数 35	33.8%	10.0%	12.5%	0.0%									
80歳以上 n=57	割合 55.1% 回答数 54	26.5%	4.1%	9.2%	5.1%			1		8		2		
無回答 n=12	割合 75.0% 回答数 9	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%									
全体 n=576	割合 50.7% 回答数 292	30.9%	4.3%	9.5%	4.5%			1		42	1	12	8	

晴れた夜は、よく星空を見上げる

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		① る 取り 組ん で い	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い 取 り 組 ん で い	⑤ 無 回 答	① 快 楽 さ が な く な ら な い	② 生 活 の 便 利 さ が な い	③ 費 用 が か か る か	④ 手 間 や 時 間 が か か る か	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い	⑥ 離 れ が あ る か ら	⑦ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い	⑧ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い	⑨ 理 由 は な い	⑩ そ の 他
16~19歳 n=51	割合 回答数	33.3% 17	51.0% 26	5.9% 3	7.8% 4	2.0% 1										
20~29歳 n=45	割合 回答数	55.6% 25	24.4% 11	4.4% 2	11.1% 5	4.4% 2										
30~39歳 n=60	割合 回答数	38.3% 23	43.3% 26	15.0% 9	3.3% 2	0.0% 0										
40~49歳 n=73	割合 回答数	39.7% 29	41.1% 30	13.7% 10	5.5% 4	0.0% 0										
50~59歳 n=80	割合 回答数	23.8% 19	48.8% 39	18.8% 15	8.8% 7	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	29.6% 29	49.0% 48	13.3% 13	6.1% 6	2.0% 2										
70~79歳 n=100	割合 回答数	31.0% 31	43.0% 43	9.0% 9	10.0% 10	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	29.8% 17	24.6% 14	21.1% 12	8.8% 5	15.8% 9										
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	33.3% 4	0.0% 0	25.0% 3	8.3% 1										
全体 n=576	割合 回答数	33.7% 194	41.8% 241	12.7% 73	8.0% 46	3.8% 22										

農地や所有林の保全に心がけている

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
16~19歳 n=51	割合 回答数	21.6% 11	41.2% 21	11.8% 6	23.5% 12	2.0% 1										
20~29歳 n=45	割合 回答数	17.8% 8	31.1% 14	15.6% 7	33.3% 15	2.2% 1										
30~39歳 n=60	割合 回答数	20.0% 12	36.7% 22	13.3% 8	28.3% 17	1.7% 1										
40~49歳 n=73	割合 回答数	19.2% 14	23.3% 17	19.2% 14	37.0% 27	1.4% 1										
50~59歳 n=80	割合 回答数	11.3% 9	35.0% 28	18.8% 15	35.0% 28	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	27.6% 27	30.6% 30	11.2% 11	24.5% 24	6.1% 6										
70~79歳 n=100	割合 回答数	24.0% 24	28.0% 28	13.0% 13	28.0% 28	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	26.3% 15	24.6% 14	7.0% 4	24.6% 14	17.5% 10										
無回答 n=12	割合 回答数	41.7% 5	16.7% 2	0.0% 0	16.7% 2	25.0% 3										
全体 n=576	割合 回答数	21.7% 125	30.6% 176	13.5% 78	29.0% 167	5.2% 30										

環境に関する取り組みの情報収集を積極的に行っている

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
16~19歳 n=51	割合 回答数	5.9% 3	31.4% 16	29.4% 15	29.4% 15	3.9% 2										
20~29歳 n=45	割合 回答数	8.9% 4	22.2% 10	28.9% 13	37.8% 17	2.2% 1										
30~39歳 n=60	割合 回答数	6.7% 4	31.7% 19	33.3% 20	28.3% 17	0.0% 0										
40~49歳 n=73	割合 回答数	5.5% 4	31.5% 23	41.1% 30	20.5% 15	1.4% 1										
50~59歳 n=80	割合 回答数	2.5% 2	32.5% 26	35.0% 28	30.0% 24	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	8.2% 8	45.9% 45	26.5% 26	15.3% 15	4.1% 4										
70~79歳 n=100	割合 回答数	17.0% 17	28.0% 28	31.0% 31	17.0% 17	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	14.0% 8	26.3% 15	22.8% 13	19.3% 11	17.5% 10										
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	16.7% 2	25.0% 3	25.0% 3										
全体 n=576	割合 回答数	9.2% 53	31.8% 183	30.9% 178	23.3% 134	4.9% 28										

家庭での野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① 取り組んで いる	② どちらか とい	③ どちらか とい	④ 取り組 んで い	⑤ 無 回 答	① 生活の 便利さ から	② 費用が かかる か	③ 手間や 時間が か	④ 必要だ と思わ ないか ら・効果 に	⑤ 取り組 む機会 が	⑥ から ないか ら	⑦ 理由は ないか ら	⑧ その他
16~19歳 n=51	割合 回答数	62.7% 32	15.7% 8	2.0% 1	15.7% 8	3.9% 2		1			7		1	
20~29歳 n=45	割合 回答数	66.7% 30	20.0% 9	2.2% 1	8.9% 4	2.2% 1				2		2	1	
30~39歳 n=60	割合 回答数	71.7% 43	20.0% 12	3.3% 2	5.0% 3	0.0% 0	1			2		1		
40~49歳 n=73	割合 回答数	76.7% 56	17.8% 13	2.7% 2	2.7% 2	0.0% 0				1		1	1	
50~59歳 n=80	割合 回答数	68.8% 55	20.0% 16	6.3% 5	3.8% 3	1.3% 1		1	1	1		3	1	
60~69歳 n=98	割合 回答数	69.4% 68	24.5% 24	3.1% 3	2.0% 2	1.0% 1				2			2	
70~79歳 n=100	割合 回答数	61.0% 61	19.0% 19	11.0% 11	4.0% 4	5.0% 5		1	2		1	3	2	
80歳以上 n=57	割合 回答数	52.6% 30	24.6% 14	7.0% 4	3.5% 2	12.3% 7				1				
無回答 n=12	割合 回答数	50.0% 6	41.7% 5	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1								
全体 n=576	割合 回答数	66.1% 381	20.8% 120	5.0% 29	4.9% 28	3.1% 18	1	3	3	2	15	11	7	

ペットが野生化し、生態系に影響を与えることのないよう管理・飼育をしている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	25.5% 13	15.7% 8	2.0% 1	54.9% 28	2.0% 1		1			17		2	9
20~29歳 n=45	割合 回答数	48.9% 22	11.1% 5	4.4% 2	33.3% 15	2.2% 1				13				3
30~39歳 n=60	割合 回答数	35.0% 21	15.0% 9	1.7% 1	45.0% 27	3.3% 2					18	1	5	
40~49歳 n=73	割合 回答数	43.8% 32	8.2% 6	0.0% 0	42.5% 31	5.5% 4				21			9	
50~59歳 n=80	割合 回答数	40.0% 32	12.5% 10	5.0% 4	41.3% 33	1.3% 1				24		5	5	
60~69歳 n=98	割合 回答数	44.9% 44	13.3% 13	3.1% 3	30.6% 30	8.2% 8				20		4	5	
70~79歳 n=100	割合 回答数	32.0% 32	11.0% 11	3.0% 3	40.0% 40	14.0% 14			1	29		1	9	
80歳以上 n=57	割合 回答数	21.1% 12	12.3% 7	1.8% 1	38.6% 22	26.3% 15				11		1	5	
無回答 n=12	割合 回答数	58.3% 7	0.0% 0	0.0% 0	16.7% 2	25.0% 3				2				
全体 n=576	割合 回答数	37.3% 215	12.0% 69	2.6% 15	39.6% 228	8.5% 49	1		1	155		14	50	

文化財や伝統芸能を守る活動に参加している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	7.8% 4	27.5% 14	15.7% 8	47.1% 24	2.0% 1			3		9	6	9	5
20~29歳 n=45	割合 回答数	11.1% 5	13.3% 6	26.7% 12	46.7% 21	2.2% 1			3		16	1	9	2
30~39歳 n=60	割合 回答数	5.0% 3	21.7% 13	6.7% 4	65.0% 39	1.7% 1			2	2	19	5	9	2
40~49歳 n=73	割合 回答数	9.6% 7	16.4% 12	27.4% 20	46.6% 34	0.0% 0				2	26	7	15	1
50~59歳 n=80	割合 回答数	7.5% 6	16.3% 13	23.8% 19	52.5% 42	0.0% 0				1	33	5	13	5
60~69歳 n=98	割合 回答数	13.3% 13	21.4% 21	20.4% 20	40.8% 40	4.1% 4		1	1		27	7	14	2
70~79歳 n=100	割合 回答数	11.0% 11	22.0% 22	17.0% 17	42.0% 42	8.0% 8					18	7	9	6
80歳以上 n=57	割合 回答数	5.3% 3	12.3% 7	14.0% 8	47.4% 27	21.1% 12				1	7	4	5	3
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	16.7% 2	33.3% 4	16.7% 2				1	2		2	
全体 n=576	割合 回答数	9.5% 55	18.9% 109	19.1% 110	47.4% 273	5.0% 29		1	11	5	157	42	85	26

問8 市に期待する施策

- ◆全ての年齢において、「①設備導入に対する助成」が「1番目に進める施策」として挙げられている。次に「④企業や市民の活動に対する支援」が各年齢で上位に挙げられている。
- ◆総合（平均点）は、40歳以上は「①設備導入に対する助成」が最も点数が高いが、「16～19歳」は「環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供」、「20～29歳」「30～39歳」は「③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り」が最も高得点となっている。
- ◆「⑤イベントや集会、研修会の開催」「⑧自然資源を活用した都市間交流や働きかけ」は、全年齢で評価が低くなっている。

※総合（平均点）は、「1番目に進める施策（5点）」、「2番目に進める施策（3点）」、「3番目に進める施策（1点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ①設備導入に対する助成 | ②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 |
| ③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り | ④企業や市民の活動に対する支援 |
| ⑤イベントや集会、研修会の開催 | ⑥監視体制や規制の強化 |
| ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り | ⑧自然資源を活用した都市間交流や働きかけ |
| ⑨地下水や地球環境などの調査研究 | ⑩その他 |

◆ 全体

総合（平均点）		1番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.78	①設備導入に対する助成	27.8%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.27	④企業や市民の活動に対する支援	12.7%
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.07	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	11.1%

◆ 16～19歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	4.33	①設備導入に対する助成	29.4%
⑨地下水や地球環境などの調査研究	3.71	⑨地下水や地球環境などの調査研究	15.7%
①設備導入に対する助成	3.67	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	11.8%
		④企業や市民の活動に対する支援	

◆ 20～29歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.75	①設備導入に対する助成	22.2%
①設備導入に対する助成	3.50	⑨地下水や地球環境などの調査研究	15.6%
⑥監視体制や規制の強化		⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	13.3%
④企業や市民の活動に対する支援	3.20		

◆ 30～39歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.80	①設備導入に対する助成	35.0%
①設備導入に対する助成	3.74	④企業や市民の活動に対する支援	18.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.44	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	13.3%

◆ 40～49 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.71	①設備導入に対する助成	26.0%
⑥監視体制や規制の強化	3.67	④企業や市民の活動に対する支援	12.3%
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.62	③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	11.0%

◆ 50～59 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.74	①設備導入に対する助成	33.8%
⑤イベントや集会、研修会の開催	3.33	④企業や市民の活動に対する支援	16.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.22	⑨地下水や地球環境などの調査研究	11.3%

◆ 60～69 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.75	①設備導入に対する助成	28.6%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	3.23	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	18.4%
④企業や市民の活動に対する支援	3.10	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ④企業や市民の活動に対する支援	13.3%

◆ 70～79 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.98	①設備導入に対する助成	26.0%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.58	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	15.0%
④企業や市民の活動に対する支援 ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	3.00	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	9.0%

◆ 80 歳以上

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	4.71	①設備導入に対する助成	21.1%
⑨地下水や地球環境などの調査研究	3.43	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ⑨地下水や地球環境などの調査研究	12.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.11	④企業や市民の活動に対する支援	10.5%

◆ ⑩「その他」の回答（自由記述を要約）

- 16～19 歳 信号をなくし、自転車の走りやすい道にしてほしい/
- 20～29 歳 大規模な再生エネルギー施設の誘致/海外人による山など土地購入/高齢者のポイ捨て禁止教育/
- 30～39 歳 環境を守るのは市民が中心となるべき/排水の取り締り（たまに川が臭い）/
- 40～49 歳 公共トイレの様式化（キレイだとキレイに町も保ちたいと思う）/
- 50～59 歳 街の中心部に人を集めて郊外には里山、田んぼ等自然を配置する都市計画実施/大野の地下水をブランド化する、アピールする、限定販売する/
- 60～69 歳 空地の除草（野生小動物が隠れるから）/
- 70～79 歳 公園や街路の木に名札を立てる（山林に囲まれていながら子供も大人もほとんど樹木の名前を知りません）/排雪のための流雪溝水量の確保/
- 80 歳以上 下水道の見直し（前の川がきたなくて衛生面が大変心配）/
- 年齢無回答 月に2回程度の図書館の開館時間延長（～21時くらいまで）/

年齢	集計	総合(平均点)										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	点数	3.67	4.33	3.13	2.90	1.86	2.78	2.47	2.41	3.71	1.00	
	回答数	27	9	16	20	14	9	19	17	17	1	4
20～29歳 (n=45)	点数	3.50	2.67	3.75	3.20	2.27	3.50	2.62	2.63	3.12	3.67	
	回答数	20	12	8	20	11	4	21	16	17	3	3
30～39歳 (n=60)	点数	3.74	3.44	3.80	3.38	2.54	2.11	2.53	2.27	2.40	3.00	
	回答数	38	9	10	32	13	9	34	11	20	3	1
40～49歳 (n=73)	点数	3.71	2.90	3.62	2.72	2.57	3.67	2.66	2.87	2.84	3.00	
	回答数	34	20	13	36	14	9	35	15	25	1	17
50～59歳 (n=80)	点数	3.74	3.22	2.41	3.05	3.33	2.73	2.57	2.70	3.00	4.00	
	回答数	46	18	17	40	6	15	37	20	25	2	14
60～69歳 (n=98)	点数	3.75	3.23	3.00	3.10	2.33	2.38	3.23	2.22	2.87	1.00	
	回答数	48	35	13	39	18	16	52	23	30	1	19
70～79歳 (n=100)	点数	3.98	3.58	2.92	3.00	2.33	2.13	3.00	2.73	2.52	3.00	
	回答数	41	31	24	28	12	16	32	22	42	2	50
80歳以上 (n=57)	点数	4.71	3.11	2.45	2.83	2.00	3.00	2.55	2.73	3.43	5.00	
	回答数	14	19	11	23	6	9	22	15	14	1	37
無回答 (n=12)	点数	3.00	0.00	3.29	3.67	1.00	3.00	2.33	3.00	5.00	3.00	
	回答数	5	0	7	3	1	3	6	2	3	1	5
全体 (n=576)	点数	3.78	3.27	3.07	3.03	2.35	2.67	2.75	2.57	2.93	3.13	
	回答数	273	153	119	241	95	90	258	141	193	15	150

年齢	集計	一番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	29.4%	11.8%	7.8%	11.8%	2.0%	5.9%	7.8%	5.9%	15.7%	0.0%	2.0%
	回答数	15	6	4	6	1	3	4	3	8		1
20～29歳 (n=45)	割合	22.2%	4.4%	8.9%	11.1%	4.4%	4.4%	13.3%	8.9%	15.6%	4.4%	2.2%
	回答数	10	2	4	5	2	2	6	4	7	2	1
30～39歳 (n=60)	割合	35.0%	5.0%	10.0%	18.3%	3.3%	1.7%	13.3%	5.0%	6.7%	1.7%	0.0%
	回答数	21	3	6	11	2	1	8	3	4	1	
40～49歳 (n=73)	割合	26.0%	9.6%	11.0%	12.3%	1.4%	4.1%	11.0%	8.2%	9.6%	0.0%	6.8%
	回答数	19	7	8	9	1	3	8	6	7		5
50～59歳 (n=80)	割合	33.8%	7.5%	3.8%	16.3%	2.5%	5.0%	10.0%	5.0%	11.3%	1.3%	3.8%
	回答数	27	6	3	13	2	4	8	4	9	1	3
60～69歳 (n=98)	割合	28.6%	13.3%	4.1%	13.3%	2.0%	2.0%	18.4%	4.1%	11.2%	0.0%	3.1%
	回答数	28	13	4	13	2	2	18	4	11		3
70～79歳 (n=100)	割合	26.0%	15.0%	8.0%	8.0%	1.0%	3.0%	9.0%	7.0%	7.0%	1.0%	15.0%
	回答数	26	15	8	8	1	3	9	7	7	1	15
80歳以上 (n=57)	割合	21.1%	12.3%	3.5%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	8.8%	12.3%	1.8%	19.3%
	回答数	12	7	2	6		3	3	5	7	1	11
無回答 (n=12)	割合	16.7%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%
	回答数	2		3	2		1			3		1
全体 (n=576)	割合	27.8%	10.2%	7.3%	12.7%	1.9%	3.8%	11.1%	6.3%	10.9%	1.0%	6.9%
	回答数	160	59	42	73	11	22	64	36	63	6	40

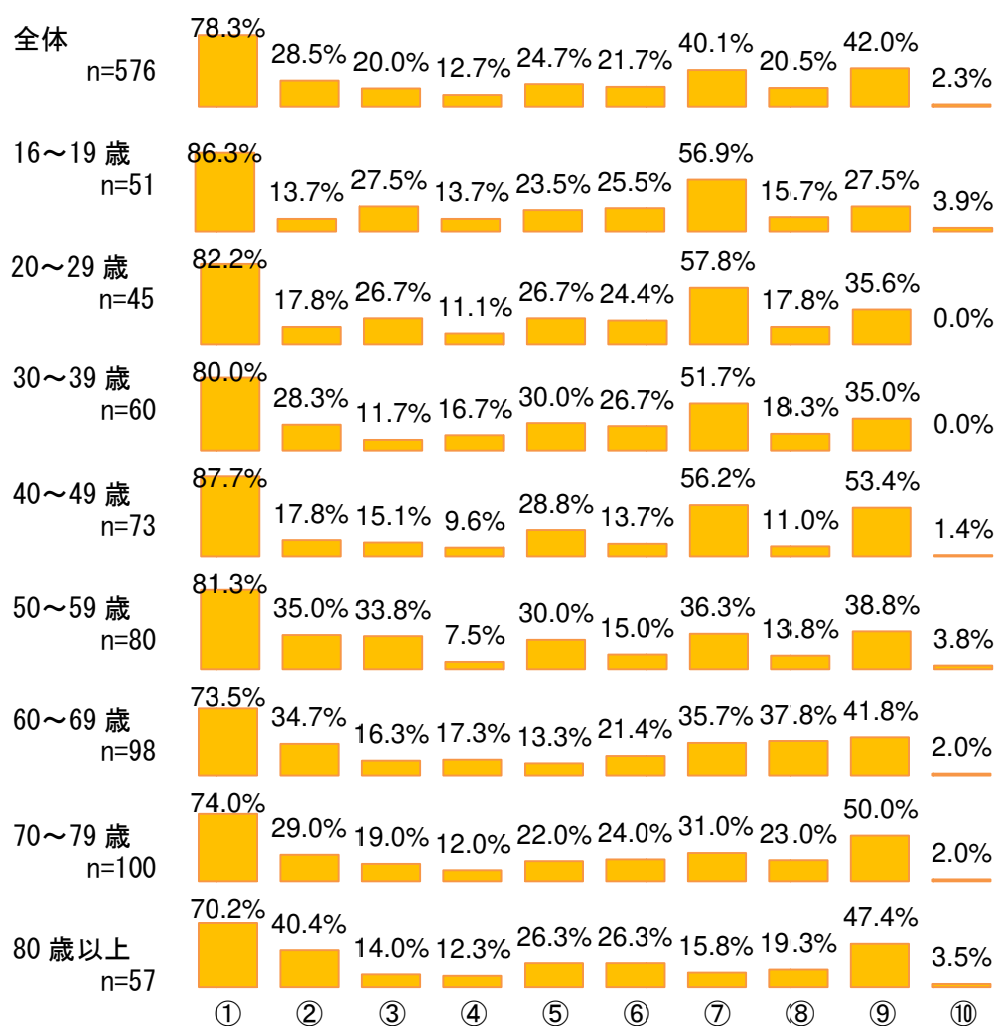
年齢	集計	二番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	11.8%	5.9%	17.6%	13.7%	7.8%	3.9%	11.8%	11.8%	13.7%	0.0%	2.0%
	回答数	6	3	9	7	4	2	6	6	7		1
20～29歳 (n=45)	割合	11.1%	13.3%	6.7%	26.7%	6.7%	2.2%	11.1%	11.1%	8.9%	0.0%	2.2%
	回答数	5	6	3	12	3	1	5	5	4		1
30～39歳 (n=60)	割合	16.7%	8.3%	3.3%	26.7%	10.0%	5.0%	16.7%	1.7%	10.0%	1.7%	0.0%
	回答数	10	5	2	16	6	3	10	1	6	1	
40～49歳 (n=73)	割合	11.0%	6.8%	1.4%	17.8%	12.3%	8.2%	17.8%	2.7%	12.3%	1.4%	8.2%
	回答数	8	5	1	13	9	6	13	2	9	1	6
50～59歳 (n=80)	割合	11.3%	10.0%	7.5%	18.8%	3.8%	6.3%	16.3%	11.3%	8.8%	1.3%	5.0%
	回答数	9	8	6	15	3	5	13	9	7	1	4
60～69歳 (n=98)	割合	10.2%	13.3%	5.1%	15.3%	8.2%	7.1%	22.4%	6.1%	6.1%	0.0%	6.1%
	回答数	10	13	5	15	8	7	22	6	6		6
70～79歳 (n=100)	割合	9.0%	10.0%	7.0%	12.0%	6.0%	3.0%	14.0%	5.0%	18.0%	0.0%	16.0%
	回答数	9	10	7	12	6	3	14	5	18		16
80歳以上 (n=57)	割合	3.5%	10.5%	7.0%	15.8%	5.3%	5.3%	19.3%	5.3%	5.3%	0.0%	22.8%
	回答数	2	6	4	9	3	3	11	3	3		13
無回答 (n=12)	割合	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%
	回答数	1		2			1	4	2		1	1
全体 (n=576)	割合	10.4%	9.7%	6.8%	17.2%	7.3%	5.4%	17.0%	6.8%	10.4%	0.7%	8.3%
	回答数	60	56	39	99	42	31	98	39	60	4	48

年齢	集計	三番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	11.8%	0.0%	5.9%	13.7%	17.6%	7.8%	17.6%	15.7%	3.9%	2.0%	3.9%
	回答数	6		3	7	9	4	9	8	2	1	2
20～29歳 (n=45)	割合	11.1%	8.9%	2.2%	6.7%	13.3%	2.2%	22.2%	15.6%	13.3%	2.2%	2.2%
	回答数	5	4	1	3	6	1	10	7	6	1	1
30～39歳 (n=60)	割合	11.7%	1.7%	3.3%	8.3%	8.3%	8.3%	26.7%	11.7%	16.7%	1.7%	1.7%
	回答数	7	1	2	5	5	5	16	7	10	1	1
40～49歳 (n=73)	割合	9.6%	11.0%	5.5%	19.2%	5.5%	0.0%	19.2%	9.6%	12.3%	0.0%	8.2%
	回答数	7	8	4	14	4		14	7	9		6
50～59歳 (n=80)	割合	12.5%	5.0%	10.0%	15.0%	1.3%	7.5%	20.0%	8.8%	11.3%	0.0%	8.8%
	回答数	10	4	8	12	1	6	16	7	9		7
60～69歳 (n=98)	割合	10.2%	9.2%	4.1%	11.2%	8.2%	7.1%	12.2%	13.3%	13.3%	1.0%	10.2%
	回答数	10	9	4	11	8	7	12	13	13	1	10
70～79歳 (n=100)	割合	6.0%	6.0%	9.0%	8.0%	5.0%	10.0%	9.0%	10.0%	17.0%	1.0%	19.0%
	回答数	6	6	9	8	5	10	9	10	17	1	19
80歳以上 (n=57)	割合	0.0%	10.5%	8.8%	14.0%	5.3%	5.3%	14.0%	12.3%	7.0%	0.0%	22.8%
	回答数		6	5	8	3	3	8	7	4		13
無回答 (n=12)	割合	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	回答数	2		2	1	1	1	2				3
全体 (n=576)	割合	9.2%	6.6%	6.6%	12.0%	7.3%	6.4%	16.7%	11.5%	12.2%	0.9%	10.8%
	回答数	53	38	38	69	42	37	96	66	70	5	62

問9 将来に残したい大野の誇りや象徴としての環境

- ◆ 「①湧水地・名水（地下水）」は、全ての年齢において一番多く選ばれている。「16～19歳」では、86.3%、「30～39歳」では87.7%が、残したい大野の誇りや象徴として選んでいる。
- ◆ 続いて、「16～19歳」「60歳以上」では「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が、「20～49歳」では「⑦日本一の夜空」が選ばれた。
- ◆ 三番目には、「16～19歳」では「②日本百名山荒島岳や山々の連なり」「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が、「20～29歳」では「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が選ばれている。

- ①湧水地・名水（地下水）
- ②日本百名山荒島岳や山々の連なり
- ③刈込池
- ④九頭竜湖の風景
- ⑤イトヨ
- ⑥六呂師高原
- ⑦日本一の夜空
- ⑧田園風景
- ⑨歴史的風情の残る町割や町並み
- ⑩その他



◆ 「⑩その他」の回答（自由記述を要約）

16～19歳 大野高校/

30～39歳 水やイトヨ/

40～49歳 今のままの風景や光景/佐開や阪谷の美しい風景

50～59歳 亀山城/亀山

60～69歳 昔から残るものを大切に受け継いでほしい/幕末の大野藩の様々な施策と海へ出るロマン

70～79歳 こぶし通りの「こぶしの花」/蛍のすめる環境/

80歳以上 真名川/

年齢無回答 小学校（跡地も含めて）/

年齢	集計	将来に残していきたいと思う環境や場所、風景など										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	86.3%	13.7%	27.5%	13.7%	23.5%	25.5%	56.9%	15.7%	27.5%	3.9%	5.9%
	回答数	44	7	14	7	12	13	29	8	14	2	3
20～29歳 (n=45)	割合	82.2%	17.8%	26.7%	11.1%	26.7%	24.4%	57.8%	17.8%	35.6%	0.0%	0.0%
	回答数	37	8	12	5	12	11	26	8	16	0	0
30～39歳 (n=60)	割合	80.0%	28.3%	11.7%	16.7%	30.0%	26.7%	51.7%	18.3%	35.0%	0.0%	1.7%
	回答数	48	17	7	10	18	16	31	11	21	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	87.7%	17.8%	15.1%	9.6%	28.8%	13.7%	56.2%	11.0%	53.4%	1.4%	5.5%
	回答数	64	13	11	7	21	10	41	8	39	1	4
50～59歳 (n=80)	割合	81.3%	35.0%	33.8%	7.5%	30.0%	15.0%	36.3%	13.8%	38.8%	3.8%	5.0%
	回答数	65	28	27	6	24	12	29	11	31	3	4
60～69歳 (n=98)	割合	73.5%	34.7%	16.3%	17.3%	13.3%	21.4%	35.7%	37.8%	41.8%	2.0%	6.1%
	回答数	72	34	16	17	13	21	35	37	41	2	6
70～79歳 (n=100)	割合	74.0%	29.0%	19.0%	12.0%	22.0%	24.0%	31.0%	23.0%	50.0%	2.0%	14.0%
	回答数	74	29	19	12	22	24	31	23	50	2	14
80歳以上 (n=57)	割合	70.2%	40.4%	14.0%	12.3%	26.3%	26.3%	15.8%	19.3%	47.4%	3.5%	24.6%
	回答数	40	23	8	7	15	15	9	11	27	2	14
無回答 (n=12)	割合	58.3%	41.7%	8.3%	16.7%	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%	25.0%	8.3%	66.7%
	回答数	7	5	1	2	5	3	0	1	3	1	8
全体 (n=576)	割合	78.3%	28.5%	20.0%	12.7%	24.7%	21.7%	40.1%	20.5%	42.0%	2.3%	9.4%
	回答数	451	164	115	73	142	125	231	118	242	13	54

①湧水地・名水（地下水）

③刈込池

⑤イトヨ

⑦日本一の夜空

⑨歴史的風情の残る町割や町並み

②日本百名山荒島岳や山々の連なり

④九頭竜湖の風景

⑥六呂師高原

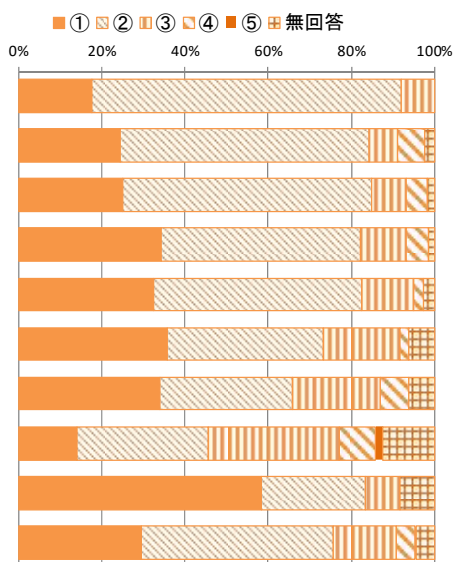
⑧田園風景

⑩その他

問 10 「結の故郷越前おおの」の認知度

- ①「結の故郷」に込められた意味も含めて知っている
 ②キャッチコピーは知っているが、意味は知らない
 ③なんとなく聞いたことがある ④聞いたこともなく、知らない ⑤その他

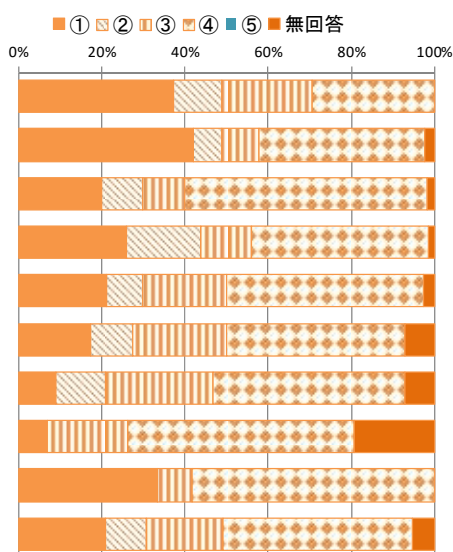
年齢	集計	①	②	③	④	⑤	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	17.6%	74.5%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答数	9	38	4	0	0	0
20～29歳 (n=45)	割合	24.4%	60.0%	6.7%	6.7%	0.0%	2.2%
	回答数	11	27	3	3	0	1
30～39歳 (n=60)	割合	25.0%	60.0%	8.3%	5.0%	0.0%	1.7%
	回答数	15	36	5	3	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	34.2%	47.9%	11.0%	5.5%	0.0%	1.4%
	回答数	25	35	8	4	0	1
50～59歳 (n=80)	割合	32.5%	50.0%	12.5%	2.5%	0.0%	2.5%
	回答数	26	40	10	2	0	2
60～69歳 (n=98)	割合	35.7%	37.8%	18.4%	2.0%	0.0%	6.1%
	回答数	35	37	18	2	0	6
70～79歳 (n=100)	割合	34.0%	32.0%	21.0%	7.0%	0.0%	6.0%
	回答数	34	32	21	7	0	6
80歳以上 (n=57)	割合	14.0%	31.6%	31.6%	8.8%	1.8%	12.3%
	回答数	8	18	18	5	1	7
無回答 (n=12)	割合	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	回答数	7	3	1	0	0	1
全体 (n=576)	割合	29.5%	46.2%	15.3%	4.5%	0.2%	4.3%
	回答数	170	266	88	26	1	25



問 11 「SDGs」の認知度

- ①「SDGs」の内容も含めて知っている
 ②「SDGs」は知っているが、意味は知らない
 ③なんとなく聞いたことがある ④聞いたこともなく、知らない ⑤その他

年齢	集計	①	②	③	④	⑤	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	37.3%	11.8%	21.6%	29.4%	0.0%	0.0%
	回答数	19	6	11	15	0	0
20～29歳 (n=45)	割合	42.2%	6.7%	8.9%	40.0%	0.0%	2.2%
	回答数	19	3	4	18	0	1
30～39歳 (n=60)	割合	20.0%	10.0%	10.0%	58.3%	0.0%	1.7%
	回答数	12	6	6	35	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	26.0%	17.8%	12.3%	42.5%	0.0%	1.4%
	回答数	19	13	9	31	0	1
50～59歳 (n=80)	割合	21.3%	8.8%	20.0%	47.5%	0.0%	2.5%
	回答数	17	7	16	38	0	2
60～69歳 (n=98)	割合	17.3%	10.2%	22.4%	42.9%	0.0%	7.1%
	回答数	17	10	22	42	0	7
70～79歳 (n=100)	割合	9.0%	12.0%	26.0%	46.0%	0.0%	7.0%
	回答数	9	12	26	46	0	7
80歳以上 (n=57)	割合	7.0%	0.0%	19.3%	54.4%	0.0%	19.3%
	回答数	4	0	11	31	0	11
無回答 (n=12)	割合	33.3%	0.0%	8.3%	58.3%	0.0%	0.0%
	回答数	4	0	1	7	0	0
全体 (n=576)	割合	20.8%	9.9%	18.4%	45.7%	0.0%	5.2%
	回答数	120	57	106	263	0	30



その他、自由回答

大野市の環境をより良いものとするため、日頃感じていることや、地球温暖化防止のためのアイデアなどを自由に記入。

◆16～19歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・血を洗うとき洗剤を使いすぎないようにする。
- ・公園のトイレが汚い。電柱の下に鳥のフンがたくさん落ちていてそれが掃除されない。道に生えている雑草が切られたままになっていたり枯れたままになったりしているのが汚い。大野市が抱えている環境問題が市民に知られていない。
- ・ごみのポイ捨てが多いと思う。
- ・大野は他の町と比べて比較的きれいだと思う。ただ道路にたばこの吸い殻や、公園に弁当の残骸などが落ちていることが多くあるので、とても残念に思う。
- ・川へのごみのポイ捨てが多くみられるような気がする。
- ・ごみのポイ捨てやめる。
- ・昔はあんまり感じなかったが、最近、空気がすこし濁っているように思う時がある。町から外れたところに行くとおそらくごみを燃やし煙が上がっているときがあるので注意喚起をした方がよいと思う。
- ・平気でごみを捨てている人が多く感じられるので、まず環境を汚染するとどんな事がおこるか、情報をどんどん提供して、市民への理解を深めてもらい、地方公共団体が円滑に環境政策を進めるようにしてほしいと思う。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・大野市は自然が豊かでとても暮らしやすい町だと思う。

良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・町並みがきれいである。水がおいしい。自然の観光地がたくさんある。住みやすく落ち着く。などいいところがたくさんある。大野市は田舎のイメージがつよく若い人は遊びにくるイメージが少ない。私の友達がデートで大野を訪れた時には、大野城、朝市、各商店などで、観光を楽しみ、楽しかったといっていました。なかなか生きにくい大野市かもしれませんが、きてみたら、良さはわかると思うのでもっとPRしてほしいと思います。
- ・緑化などのために街路樹を植えるのはよいことだが、市が手入れをしないと街路樹が歩道をふさいだり雑草が増え外見も悪くなる。

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・エアコンの使い過ぎやめる。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・ボランティアでゴミ拾いをする機会を増やす。マイバッグを持って買い物に行く。ゴミを見つけたらしっかり拾って捨てるようにする。
- ・買い物のときはビニール袋を使うのではなく、エコバッグを使うこと。市役所に携わるみなさんへ。大野はとても良い場所で生涯ずっとここに暮らそうと思っています。お仕事大変だと思いますが、これからも頑張ってください。
- ・大野市に来た他県の方がゴミを捨てていってしまうことを無くしてほしいと思う。
- ・給食で出た残飯を肥料にして環境に返すのはどうでしょう（家庭でも）。いらぬ物を譲り合うシステムがあると無駄に買ったり捨てたりしないかも。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・小学校でやっていたゴーヤなどで緑のカーテンを作るのが良いと思う。種や苗を配る取組もよいかも。
- ・二酸化炭素を減らすために、植樹をすといと思う。
- ・自動車を使わないと行動がとりにくいで、もう少し、公共交通機関を整えてほしいです。（地球温暖化防止のため）
- ・電氣を利用する乗り物を増やすなどしてCO2の排出を減少させるべきだと思う。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・例えば「大野の水を守ろう」という目標をかかげたとします。そのためにやるべきことはまず施設を作るのではなく市民への説明などだと思います。私は水のがっこうを父に教えられて知りました。その時、私は大野にいないのに知らないところがあるのだと気づきました。知らない人がいる限りもし説明があったとしてもその説明が行き届いていないのではないかと思います。もう一つあります。問8の選択肢にイベントや集会、研修会の開催とありますがそれはとても良いと思います。理解を深めることやイベントに参加することにより良い点がさらに見つけられることは良いことだと思うからです。でも一つおかしいなと思う点があります。それはどうして会社から何人か行けといわれ参加するのかわかりません。私は母が参加した講演についていきました。その時、だいたいは大人の方でしたがきていた人の半分は寝ているように見えました。内容はそれほど難しくなくこれからの時代の変化に大切な話だと思いました。それを会社から行けと言われたから行ったでは良くないと思います。講師の方も何のために講演をしているのかわからないだろうし、私も何のためにこの人たちがここにいるのかわかりませんでした。だから、研修会や講演会などのイベントは参加したい人が自主的に参加すべきだと思います。それに会社向けかもしれないが、内容によれば市民が参加しても良いと思います。市民の中には興味を持つ人もいると思います。「SDGs」は発表されてから5年もたっているのもっと市民が知っていても良いと思います。
- ・6PIにあった「広報誌やパンフレット～」に関してですが、どんなことにどれだけ気をつけたらどの程度の効果があるのかを教えてください。ユニセフの「〇〇円でいくつ〇〇が～」のようにわかりやすい指標、目標を提示していただけると目安がわかり取り組みやすくなりと思いました。

その他

- ・大野の良さをもっとアピールすればいいのに、と思っています。大野の発展に貢献したい10代より。
- ・特に何もなくても良い環境であると思っています。
- ・信号をなくし、自転車安全に走ることができ、将来、この町が自転車の町として有名になってほしい。
- ・今、LGBT+又はSOGIの問題がよく取り上げられていますが、それについてもっと真剣に取り組むべきです。とくに学校です。私も中学まではそれほど耳にさわるような言葉は聞いてこなかったのですが、高校に入りよく耳にします。男と女で分けたがる人や女なら男が好き、男なら女が好きという概念を言う人、つまり同性同士で付き合っていることを気持ち悪いなどという人などおかしな言葉が飛び交う教室は当事者でなくても「は？」となります。正直私はそういう人たちとも仲良くしななければいけないのかと思うほどに辛く感じます。きっと当事者にとってはもっと辛く、学校は地獄だと思います。子どもだからこそ学校という場をつかっていることはたくさんあるはずで、例えば学校の先生に正しい知識を教え、それを先生から生徒に教える。これも大切だと思います。そして、LGBT+の当事者はかわいそうではないのです。トランスジェンダーについてはそうはいえませんが、でも私から見るとそんな環境でも過ごさなければならないことがかわいそうなのです。だから今の現状を少しでも変えてほしいと思います。長くなってごめんなさい。LGBT+を取り上げたのは問1が必要かと思ったからです。どんなアンケートも性別は必須になっています。それが疑問です。アンケートは頭とここで考えるので体は関係ないのでもと思います。だから性別は必要ないと思います。せめて「自分と性性に○を付けてください」や「答えたくない」という欄をもうけるべきだと思います。私の意見ですので間違っていた点があればごめんなさい。長文失礼いたしました。
- ・借金があることから考えてはどうでしょうか

◆20～29 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

・便利になるにつれ星空がうすれつつある

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

・地下水はこのまま減少し続けたらどうなるのでしょうか？年々、雨や積雪も少ないですが、節水以外で方法などあるのでしょうか。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

・大野市はごみの分別が適当であるため、もう少しきちんと分別するように市民に呼びかけた方がよいと思います。

・環境バザーを市で開催するのはどうでしょうか。衣類や雑貨、おもちゃなどリユース（再使用）できると、捨てずに新たな人の役に立つと思います。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

・第一に地球温暖化が本当に進んでいるのか疑問に思う。ここ1、2年については暖冬であったり最高気温の更新といったニュースがあったものの、4、5月に春らしくない寒気に見舞われたりするなど、一貫していない気候だと思う。「本当に地球は温暖化しているのか」という点を明確にしたうえで、本当に温暖化しているのであればその原因を改めて精査し対応する必要があると思う。温暖化については「良くない事」という面しか言われていないがメリットデメリットを示したうえで対応する必要があると思う。本アンケートでも思ったが、環境のための行動ではなく節約のためにした行動が結果的に環境を思った行動にもなっているの、一面的な部分だけを言われると少し違和感がある。

・自転車やウォーキングをして自動車を使用しないことのできるエコポイント。そのエコポイントをスーパーの食料品やドラッグストアの日常品を購入できるものに使える等。ポイント換算はスマホ歩数計アプリや歩数計を掲示して換金できる等。健康づくりも含めて行えるのではないかな。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・年齢が上の方が水の保全やごみの分別に全く意義を見出していないことが多い。年齢間でギャップがあるように感じる。

・私は愛知の大学に通学しているため、普段は愛知で生活をしているのですが、非常に夜間の騒音や犯罪事件（少し関係はないですが）が無く、大野は心地よく寝られると感じます。一人ひとりが環境意識を持てるよう、回覧板などに10年前の大野などの緑豊かだったところと現在の大野を比較し、見られなくなった生き物が汚くなった水路などまとめたものを公表すべきであると思う。防災マップならぬ環境ギャップマップなど見やすいものは尚嬉しい。

・設問8にあったように、環境保全に取り組んでいる事業所や組合などに予算を充てる。家庭での環境保全を目的とする家電等の購入費の助成制度。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・現在、大野市に籍を置いているが、現住所は遠方なので、大野市の環境施策に対する回答としては十分なものではないと思います。

◆30～39 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

・川が臭い時があるので下水をもっとしてほしい。

・空地の草刈など地主方に実施するよう働きかけてほしい。町並み等が損なわれるし、虫などの発生も多いため。

・手軽に捨てられる分別したごみ箱を多く設置したらポイ捨ても減るはず。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

・大野市は自然に囲まれているので景色や星、水などもきれいで環境に対して、日ごろ不快に感じたことはありません。ただ、子どものころに遊んでいた川が今は水草が生え、雑草も伸び川に入れないのが残念です。自然環境はとても恵まれていると思うので自然を生かした子供たちが楽しめる場所があるとよいなと思っています。

・人間が山に入り込んで必要もない工事などで自然破壊をするから野生生物が集落において来て人間に危害を加えるので今すぐにも山の自然破壊をやめるべきだ。昔は野生生物が人間に危害を加えるようなことはなかったはずだ。野生生物に罪はない。悪いのは全部人間だ。山や川の工事は地元住民の意見を聞いて必要がなければ工事をすべきではない。自然を守るために。

・すてきな大野市の自然と一緒に守っていきましょう！応援しています！

生物の多様性の確保（生物の保存・生息環境の保全ほか）

・野生動物が大変多いが有害鳥獣に関してほとんどそのまましているのと知った。ジビエ実用化取り組みが全国的に普及している中、大野市も環境資源として検討してほしい。

・中野清水には、以前イトヨがいたのに、今は外来種の魚しか見ません。これでいいのでしょうか。今テレビで「緊急SOS！池の水全部抜く大作戦」という在来種の生態を守るという内容で、中野清水もこれからの未来を守るためにTVの力を借りて積極的に動いてほしいなと思いました。それによっていろいろな市民の方々も身近に感じ、参加しようと思う方も出てくると思います。今はコロナで難しいかもしれませんが、検討してくださいとありがたいです。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

・大野市の場合、水といえば湧水である。従って水の使い方についてもっと厳しく市民に伝える必要はないか。特に冬の融雪には注意。また細かい使い方、水の出っぱなしと防ぐ等。水がなければ人間は生きることにはできない。

・大野へ移住してきて、地下水について市民の意見がばらばらで何が本当なのか真実を知りたくなった。今住んでいる借家も地下水だが、詳しく検査してみるとこれといって問題はなさそうで、隣の家の方は毎日そのまま飲んでるという。地域差があるのだろうか。「汚染を気にして飲まない」と言い切る市民もいて驚いた。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

・ごみ分離の徹底を図る必要がある。さらに空き缶等のポイ捨ても目立つのではないかな。河川には空き缶がたまっているのをよく見る。

・ごみの分別について、冊子を確認するのが面倒なときもあります。ほかの自治体ではラインから質問を入力するとAIが回答してくれるシステムを導入しているところもあるので、大野市でも導入してもらえると大変便利かと思います。

・こういう紙の資源を送りつけずに、メールなどインターネットを使ったらどうですか？ラインもやっているのですから。若い方はだいたいできるでしょう。年輩の方などは仕方ないですが・・・。切手代ももったいないです。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

・温暖化、空気汚染の防止のために公共交通機関を使用すべきだと思うが、大野市は市内のごく一部の人にしか使えない公共交通機関となっているのが大きな問題と考える。学生の通学、社会人の通勤で電車が使えず（本数が極端に少ない）。村はバスも通らず孤立しているため、一人一台マイカーの市にまわっているのはあきらかである。市民が使いやすい公共交通機関の整備による環境保全を進めていただきたい。

・車が多い地域だからこそ、電気自動車、HV車等のエコカーを推奨してほしい。

・電気自動車や水素を使う自動車をもっと多くしてほしい。その為にも、電気ステーションや水素ステーションを増やしてほしい。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・子育てするには自然に触れたり、とても良い環境だと思うが、公園の劣化が目立ったりする。自然を生かしたアスレチック作りが整備してもらえると嬉しいと思う。かつて天国のような水を使ったイベントも夏の間は毎週行うなどしてもよいのでは？亀山を使ったウォーターライダーとか三国の運動公園みたいな取組を真似するのはどうですか。

・子供たちの心に残る様なイベント、教育支援。

◆40～49 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・生活排水が直接川へ入っていること。下水の整備を整える
- ・私が働いている店頭には、以前ごみ箱が設置してありましたが、分別を無視して家庭ごみ（生ごみや期限切れの総菜）食べ残しの弁当パック、飲み残しの缶やペットボトル・紙コップなどをごみ箱に大量に入っていました。そのニオイをかきつけてカラスがあさったりして駐車場にゴミが散乱したり、自転車のカゴに入っている買い物袋をあさったりするようになりました。現在コロナの影響もあってごみ箱は撤去されましたが、それでもトイレのごみ箱などに捨てられています。明らかに家庭ごみなのです。若者だけでなく、年配の方も車から持ってきて捨てているのを目撃しています。自販機の裏に隠してあつたりもします。片づける人の気持ちも考えてほしいです。特に中身が入っているものは分別しないと捨てるものが多く、他人のごみを分別するつらさはわかってほしいです。最近年齢関係なくモラルのない方が多いので、改めて考えてほしいです。きっとほかの店の方も同じ思いをしている方が多いと思います。
- ・ごみのポイ捨てや野焼きなど、意識が低い人が多いように思う。（自分勝手な人が多い）。市民全体で意識をしないと意味がないと思うので、現況を把握できるイベントや環境が良くなる生活がより良いものになるよということを具体例を出すと取り組みやすいかなと思う。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・近くに川がありますがいつもごみや葉っぱ等が流れている様に思います。水のきれいな町として有名ですが、川を見ると残念に思います。
- ・川が汚い時が多い。平成大野やあたりの清水～内山家の流れにコケが多く清掃を強化してほしい。毎日通るものとしては見た目に気持ちが悪い。
- ・家の前の排水路の水の流れが悪い。町内の側溝清掃時水が全くと言っていいほど流れていない。上流で止められているとも聞いたこともあり、流れを良くしてもらいたい。下流の者にも水は必要かと思う。
- ・道の駅や中部縦貫道など、人間の利便性を求めて新しいものが増えてきているが、大野の美しさはそれでいいの不安です。手の入らない素朴な自然も残してほしいです。
- ・地下水の保存。空気汚染等・・・大野の自然をなるべく残し欲しい。箱モノはいらぬ。税金を自然保護に使って欲しい。

良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・道路沿いの木の花が風に散ったり枯れたりとかして、道路に花びらがいっぱい落ちていての見て誰か掃除をすればいいのに。。。といつも思っています。花が咲いているときはきれいです。（こぶしの花とか。。。）
- ・ふくい団体のときの花のようにプランターの花を道路に並べるといいと思います。プランターにその時のテーマに沿ったメッセージを入れることで通るたびにメッセージが目に入りますし、花による効果（環境はもちろん・人の気持ちが穏やかになったり）も期待できると思います。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・水の再利用をしていくと良いと思う。

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・市が一体となって一斉に電気（家電）を切る時間を放送し一時間程度節電をするように促す・・・とか。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・大野市はほかの市町よりごみの分別に対する意識が低いと思う。よい焼却施設があり、燃えるゴミで出してよければ市民は当然出すだろう。でもごみを減らしたければ、最終的に燃やさずとしてもしっかり分別させるきまりを作っていく必要がある。
- ・市民一人一人がもっとリサイクル意識をもってごみの排出量を削減していかなければならないと思う。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・地球温暖化防止のため、大野市を訪れた環境客や市民の方に市内移動を車ではなく自転車をレンタルしてみてもどうでしょうか？もちろん自転車は回れる範囲のみですが。。。歩いてOKですが。。。。
- ・このアンケートは自然環境についてが多く、ゴールに直結している内容が多いと私は思いました。環境といえば、労働・社会経済・生活等様々なことがあります。個人的に言えば仕事は福井市に通勤しています。ある人によれば、朝の通勤で大野市から福井市に向かう車は200台以上とのことです。私が20代のころには越美北線は朝と夕方には30分ぐらいで着く快速がありました。それがあれば排ガスも減ると思うし、交通事故も減り、大きくとらえれば環境に良いのではないのでしょうか？様々な方々の意見や視点が大野市にとって良くなればと思いますし、このようなアンケートは今後も実施していけば良いと思います。中部縦貫道が開通すれば更なる問題も出てくると思います。市政に携わる方々も頑張ってください。
- ・大野の人は車に慣れ親しんでいるからか、どんなに近い場所でも車に乗っていく人がとても多い。せめて1～2km県内を車ではなく自分で歩く、走る、自転車に乗るなど（もちろんできる人だけで、体の悪い人はいいです）すれば、環境が守られるだけでなく、交通事故も減るのではないと思う。将来的には自分の体の衰えも防ぐことができます。車に乗ることが当たり前で、小さい私たちは歩いたり走ったりする人を見ると「なぜ走る歩くの？車がないの？」とよく質問するのを将来のことを考えて心配になってきます。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・まだ大野市に住み始めて間もないのですが、子どもたちが遊ぶ公園は広いなあと思います。自然もたくさんあり、虫等苦手な子供たちが少しずつ好きになってくれるとよいと思いました。小学校でも畑等あり、野菜等どうい風に育つか、どのようにするのか、自然に学べるのが良い所だと思います。ただ、日本海側なのでじつとりとした夏は大変で、コロナの影響で、小中学校の夏休みが短縮になって暑い日の登下校が心配です。大野に住んで大野の良い所をたくさん発見していきたいなあと思っています。ありがとうございます。
- ・いろいろな体験施設、自然と観光推進をもっと効果的に結びつけるべき。大野に来る客が求めているもの（いやしや都会にはない自然や街並み）をもっとデータでしっかり把握し、満足いく環境を整えるべき。（例）六呂師のグラススキーは、施設が中途半端。和泉のホロッサの体験時間は、公共交通機関の到着時間とずれているなど。
- ・環境を大切にしていくことを大野市民に伝わる活動がさらに必要と思う。また、市民に活動が浸透するものでなければならぬ。子どもから大人までがかつどうにさんかできるイベントがあり、2～3か月に1回、半日程度の時間で活動を続けてみたらいいのではないのでしょうか。環境をつなげた観光振興も市民が理解して、なじみのあるものになっていくといいと思う。ほかの街とは違った環境の取り組み、水を守っていく取り組みを考えて、都市圏にアピールしていくと良いと思う。その取り組みが、1つの商業化となり、働くところが増え、大野市へ移住してくる人が出てくるような大きなスケールを持ってほしい。
- ・便利な世の中に慣れてしまっている昨今、環境を守るための取組は、時に不便と思われる行動を強いられることがあります。恵まれた環境を後世に残すためには息の長い取り組みが必要で、ポイントは人々の意識改革かと思っています。
- ・本当に申し訳ないくらい何もしておりません。それが原因で温暖化が進んでいるのであれば積極的に温暖化防止のためにできることがあればしたいと思っています。あまり温暖化のために大野市が〇〇をしているのを自分は聞いたことがありません。それが宣伝不足なのか本当にしていないのかはわかりませんが・・・。個人の意見ですみません。
- ・悪い環境（道、ごみを含め）や改善が必要な場所を気軽に市に知らせることができ、スマホの写メを誰もが送信できるような受付可能なアドレスがあればどうかなと思います。身近な環境こそ、取り組む意欲も出やすいです。
- ・今回のアンケートの中で大野市の環境を守っていかないといけないなと思いました。日々の日常のなかでそれを意識する機会はほとんどないので、広報誌やパンフレット等による環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供をお願いします。

その他

- ・ただ植えてばっかり枝を切る、街路樹とかは不要では。その世話にかかるお金を必要な環境対策に使って欲しい。
- ・環境に重きを置いてくださるのは感謝しているが、特化しすぎないようにしてほしい、これから人口減少化が進むが、格差がひどくならないように考えてほしい。
- ・大野には空き家が多く、景観が悪い、治安も悪いので、早急になんとかしてほしい。大野には高齢者が多く、そのうち自分も高齢になるが、車の運転が不安で早めの免許返納が必要だと思うし、返納してもらえよう対策がもっと必要になると思う。返納しても大丈夫がと考えるような環境にしてほしい。雪が降った時、狭い場所の除雪に来てくれない事、車は通っても歩道の除雪が遅く、結果的に車道を歩くことになり、とても危険です。車を運転するものも困ります。車道はもちろんですが、歩道の除雪も早めに行って欲しい。

◆50～59 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・下水道整備を100%にする
- ・市の下水道事業がはたして将来の人口減少を十二分に考えて行われているのか少し疑問に思うところがあるので、この点を市のホームページなどで説明してもらえるとありがたいと思います。
- ・大野市は環境による問題は特になく、しいて言えばごみを河川に捨てる者がいるくらいだ。
- ・だんだん増えていく空き家と利用してリフォームして若い人に住んでもらうといいと思う。
- ・カラスの駆除を徹底的にお願いしたい。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・地球温暖化が問題になっているのはわかります。これは全国規模のことです。大野として何を守っていくとよいのか、あれもこれもでなく、絞っていくと取り組みやすいのかなと思います。生ごみを肥料にしたりすることや、河川のごみ拾いなどでできそうです。
- ・きれいな星空を守り、市外の人にも大野へ来て見てもらえるような取り組みに期待しています。
- ・大野市の環境が良いことが継続されるよう願っています。星がきれいなことが自慢でしたが、近くに明るい建物が建ってしまうと星が以前よりみえなくなってしまうかもしれません。大野市として自然を大切に、自然と共有する、生活が保てるように考えていただきたいと感じています。都会とは違うところが一番の魅力の大野だと思っています。
- ・農地を放置しないことが言われていますが、地区によっては高齢化で自分の農地を維持していくのも難しい状況があります。ほおっておくと草があつという間に覆われ管理することが大変なところもあると思います。
- ・環境を整えるために生活基盤を確かなものにする必要あり。田畑を大切に農作、林業をお金になる仕事として生計を立てられるものにする。そのためには農業、林業従事者を市職員（公務員）として採用して繁栄させる必要ありと考えます。農業が栄えて人が暮らせば当然環境は整うはずです。
- ・里山の荒廃、害獣の増加も環境破壊と思う。

良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・環境を良いものにするためには、自分の住んでいる自宅のまわりをきれいに草を刈ったり、ごみを出さないようにすることが、自然と良い環境になっていくと思っています。そうするには、資源ごみの回収日や活動している店に持っていきよう心がける。私たちのまわりは自然がたくさんありますが、雑草がはえるため、草刈が大変です。時間と手間がかかります。除草剤をまく時もあります。そうすると環境破壊です。なるべく使用しないようにはしますが、見た目もありませんのでやむを得ないと思つてます。
- ・先日、ごぶし通りを業者の方が草刈りしているのを見かけました。大変ありがたい事と思い感謝しております。しかし、まだまだ街路樹付近、街並みでの雑草で、景観が損なわれていると感じます。年に1度、クリーンアップ大作戦で、自治体できれいにされていると思つてますが、他の県内市に比べると残念な思いになります。市民一人一人が、各自分の敷地内だけでなく、隣接する市道、県道など公共の道端の雑草、ごみなども心がけてきれいにしたいだけだとあしがたいと思います。きれいな街並みで、観光客がまた来たいと思つていただけの心がけは、自分の家のまわりからはじめられると思います。大きい事はできませんが、まず、自分の家のまわりからきれいにしていける事を望んでおります。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野の旧市街地の一部地域における地下水がかなり以前から汚染されたままの状況と聞いたことがあります。市役所もある程度それについて把握されているのであればその汚染源の特定やその除去など対策をとっていただきたいです。ふだん飲用している地下水が何らかの形で汚染されているのならばその公表と対策を至急お願いします。
- ・大野はやはり「水」だと思います。山々からずつとおいしい地下水を飲める環境であつてほしいものです。市民一人一人のごみ処理や排水などを気を付けて生活するように、常に呼びかけていかななくてはならないと思います。

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・環境問題について大声を上げる人たちはどの様を考えて行動、活動しているのだろうか。原子力発電に反対する人は自宅でも電気を使わないのだろうか。風力や太陽光発電を進める人は発電用風車の騒音や振動問題、太陽光発電用の大量の電離による景観破壊の声に対してどの様に答えるのだろうか。人の生死にかかわる公害問題からより良い生活の場を求める環境問題に変わってから何が正解なのかわからなくなつてしまったのではないかと思つている。それほど現代の環境問題は多様化、複雑化しているのだ。原子力発電に危険な部分があることは確かだが、これを止めることで代替エネルギーとして火力発電所で燃やされた化石燃料により温室効果ガスが以前より大きく増えていると伝えられている。私たちは知らされる情報をうのみにせず、自ら調べることによって環境問題の何が正しいのかを把握しなければならぬのだ。行政に必要なのはそのための情報公開なのだと思つた。
- ・風力発電、太陽光発電の設備を小中学校に設置（野外に）。発電量を大きく表示し、常に変化がわかるようにする。児童、生徒及び大人が興味をもって生活できるようにする。情報の発信。学校でのとりくみをつながし、教育をすることで意識を変える。
- ・日常生活における温暖化対策として、エアコンの設定温度は冷房を1度高く、暖房を1度低くするといわれています。使わない電化製品は、主電源を切りコンセントからプラグを抜いておくことが大切で、私たち一人ひとりが省エネルギーに取り組むことが大事だと思います。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・公共交通機関を利用するため、本数を増やす。また、運賃を安く。
- ・急激に進む気候変動に不安恐怖を感じている。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・建設中の道の駅を核にして、観光客を呼び込み、新たな企画（例えば、市内周遊コース、六呂師高原を満喫する、市内名所めぐり、サイクリングコース、大野盆地を一望に眺める絶景、展望台の設置）にリンクできるとよい。人がこれば活気が出る。何か新しいものが、アイデアが生まれる。大野の良さをアピールしてほしい。道の駅へ高速から降りるアクセス、また高速に入るためのアクセス道路を利便性のあるようにしてほしい。道の駅で販売するいろいろなアイディアグッズ・商品開発に力を入れる。大野のおいしい水をブランド化し、限定販売する（年間何本までと決めておく）
- ・幼少期から関心を高められるよう働きかけを行う。
- ・環境をより良いもの・・・とはどういった環境のことをいうのでしょうか。昔よりクマ、サル等を見るようになったのは、人間の近くが良くなり、自然のものが出てくるようになった？それとも山奥が悪く出てくるようになった？生活をしていく中で“良い環境に”というのであれば未来都市の様にドームの中だけのことを考えていくしかないでしょう。身近だけを良いものにと考えては何も進まないでしょう。地下水の事・・・例えば大野は地下水の源はどこでしょうか。私は知りません。自分の住んでいる所の雨はどこかの源になるのでしょうか。そんなことを周知するとちょっと考えが変わるのではないのでしょうか。
- ・賞金付き（商品券）の写真コンクール（大野の自然、水、イトヨ、星空など）。広報おおので掲載するとともに大野の自然に誇りを持ってもらう。
- ・一人ひとりが環境保全の取り組みをしても、その結果が目に見えにくい。自分たちが地道に取り組んだ結果（成果）が具体的なもので確認できたり、認められるような機会が増えると、気持ち的にも上がるような気がする。毎日亀山へ散歩していることを日課にしている人がそのついでにごみを拾うことを1カ月続けているなど、地道な取り組みを紹介する機会を増やすなど。テーマを決めたり活動の時期を決めたり。
- ・地下水や湧水保全の取り組み方や環境保全の取り組み方に関する情報提供をお願いします。広報誌やポスター等で我々の目につく様にお願ひします。
- ・新しい施設等をつくることをせず、今あるものを再利用し、一時の関心を集めるためではなく長く続けられる活動をしていくことがよいのではと思う。小規模のイベント（バザーや飲食店など楽市のように誰でも参加しやすい形）を季節ごとに何か自然保全や何かが関連付けて定期的にを行うことが市民も参加しやすいのではないかと思います。

その他

- ・大雨など自然災害に向けての対策、取組
- ・とても住みよいまちだと思います。市職員の皆様が日頃よりご尽力くださっているからだと思います。心より感謝申し上げます。

- ・秋ごろのイベントを集約して、大野市をPR。また経費の節約に向けてのイベントを企画してほしい。
- ・それよりも空き家が多く人口が減少疎すぎている方が問題かと思う。また、市の借金が300億円くらいあるのもどうかと思う。いっそのこと福井市と合併してはどうか？

◆60～69 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・カラスが夜になると大野市街地に大声をあげて飛びかっている。停車中の車に止まっていて人がそばを通過しても逃げず恐い。電柱に止まり糞をして道路を汚染して見苦しい。このような街に観光に来る観光客は気の毒だと思う。不潔な感じがする（乾燥して風に舞い吸引すると喘息になる）。家の庭にまでやってきて地上に降りてサッシをたたき悪さをする。以前はこのようなことはなかった。3～4年前からひどくなったように思える。私は最近Uターンをして大野市に戻ってきたので大野市のカラスに対する取り組みは何も知りませんので何かされているのなら申し訳ないですがなんとか改善していただきたい。この間、勝山市に行ってきましたがこんなことは起きていなかった。カラスを山に追い返す取り組みを強く望みます。
- ・不法投棄を取り締まってほしい。道路のごみが多い、対策してほしい。マナー向上を願う。
- ・空き缶やごみの放置が気になるところがまだまだ多いと思う
- ・人気のない山道などに空き缶等のごみが捨てられている。みんなが少しでも環境に対する意識を高めることで少しずつ良くなればと願います。
- ・道路および周辺農地、排水路へのごみ投棄が特に多いように思います。市民への禁止呼びかけや道路サイドの草刈等を積極的に行ってほしい。空缶、ペットボトルは設定した回収機関へ持ち込めば、1ついくらかでかいとるようにすれば、投棄はなくなるのではと思います。
- ・屋外でゴミを燃やしている人がいる。
- ・可燃ごみに出さないで家の前で各家庭は何を燃やしているのか？
- ・家庭でのごみ焼却や野焼きを取り締まってほしい。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・河川の清掃などボランティアイベントをする。
- ・堤防の草刈など周辺の環境を良くする為、ボランティアなどでできないか
- ・名水百選に選ばれた町、でも市民の中には平気で川にごみを捨てている人、川の上で清掃したモップをはたいている人、草をむしりながら川（側溝）へ捨てている人を見かけます。町内で川清掃をするとゴロゴロ空缶が出てきます。子供たちの見本となるべき大人がしている事。大野は水が良い所って自信持って言える町作りが必要です。小さい子供の時から水を大切にすることが大切にしてほしい。
- ・大野の水、空気、自然はとて貴重で健康でいられるのはこの環境のおかげだと思っています。後世に残してあげたいと思います。新型コロナがあり、自粛生活になりましたが、幸いなことに田畑があり仕事も三密を避けながら働くことができました。私は町から田舎に嫁に行き農作業は何も知りませんでしたが、今回、田んぼや畑があつてよかったとつくづく感じました。水も空気もきれいだからおいしい米や野菜が採れます。人の基本は「食」です。安全なもの食べて山々の自然に囲まれて生きていけることは本当に幸せなことです。六呂師の星はとて近くてきれいで牧場には牛がいて鳥の音が聞こえて草花が次々と咲きほこります。大野を出た息子たちは、米、野菜、しょうゆを持っていきます。やっぱり大野産はおいしいんですね。

良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・こぶし通りの歩道脇の草を刈ってほしい。
- ・あちこちにある廃家を何とかして下さい。景観も悪いし何より危険です。この冬は積雪が少なく難を逃れましたが、いまにも潰れそうな建物が大野は多いです。
- ・フラワーロードや各地区の芝桜等、とても良いと思う。人口が減少しなければもっと良いのですが。
- ・大野市のシンボルである越前大野城真下の新堀川の汚れ、観光客の方に恥ずかしいです。新堀川をミニ河川公園の様に市外の方が越前大野城観光後の憩いの場にしたなら、また市の魅力になりますね。新堀川と国道は県内外の方が目にします。もっときちんと整備すべきだと思います。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野市の水を守ってほしい。
- ・地下水は大野の宝です。子孫に残すべき大切なものである事を市民の共通認識とすべきだと思います。
- ・名水百選等をもっとアピールしてほしい

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・紙・プラスチックのリサイクル→石油や木材の利用をおさえる。森林木材の伐採をおさえる。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・私は主婦なので、ごみの減量に取り組んでいる事例を詳しく教えていただけると、すぐに活用できるかと思っております。
- ・不要になった衣類、家具等のリサイクルの仕組みがもっとわかるように周知してほしい。
- ・全ての物が再利用できることを示し、市民にPRする。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・原子力にはどちらかといえば福島後、否定的な立場ですが、京都議定書はどこへ行ってしまったのでしょうか？

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・それぞれの家庭でできることをもう一度考える
- ・市民一人ひとりを尊重し、大切に思う社会を作れば、自然環境を自分のことのように考える社会を作れると思う。
- ・高校生、中学生、小学生、幼児、小さい時から生きていく上で何が大切なことか、しっかりと導いていくことが必要だと思います。勉強最優先の現今では、正しい心が育たないと思います。そんな子供達がおおきくなってこれからの日本がどんな国になっていくのか。今現在の日本を作ってきた私たちが受験競争の中で育てられ正しい心を育むゆとりの中で大人になり、今の世の中を作ってきたのです。この現実をしっかり見つめ、未来をどうするかを考えていかなければと思います。
- ・今の市大野市より昔の川がある五番や並木道の六間通りなど、昔の大野の町並みにしてほしい気持ちでいっぱいです。大野はどれだけ頑張っても田舎なのだから、この際田舎を売りにしていけばいいと思っています。例えば大野の美しい空気を缶詰にするとか、大野の星空を描いたハンカチーストールなど、持ち歩きしてもらえ物、お土産を包み紙に星空を印刷するとか、少しでも自然の大野を知ってもらうことをしたらいいと思います。大野の物産で素材を主に売り込むなどしたらいいと思います。あまりおしゃれにしないでいいと思う。
- ・環境問題は市大野市だけの取組ではその効果も限られてしまう。そのため、少なくとも隣の地域（勝山市・福井市・池田町など）と協力して活動すべきである。行政の区割りを超えて大野な目で長い目で取り組みましょう。もちろん市民の意識改革も必要だと思います。

◆70～79 歳

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・下水道の整備を早くしてほしい。
- ・ペットの飼い方。猫はかわいがりに主に放し飼いをしているが、畑等を歩き回り、また、土をほじくり返すので、飼い主は飼い方を考えてほしい。また、犬は散歩に連れて歩くのはいいが、シャベルや袋は持っているだけでふんは川や畑、他のほうへ投げ入れている。近くに他人がいるときだけ袋に入れていようだが、それを離れたところにいけば放り投げている姿をよく見かける。
- ・資源回収に取り組む中で空き缶、ごみのポイ捨てをする者がいることが信じられない。区長会等で再確認してほしい。

- ・最近ペットを飼っている人が多くなっているが、特に犬を散歩に連れていき、フンを道端にして飼い主が持ち帰るようになってきているが、ほとんど守られていない。小川を清掃する時、フンが小川の少ない水の中に沢山あるのは不潔で掃除しにくい。ペットマナーを守るようもっと強く指導願いたい。
- ・先にあげましたが近所に迷惑がかかるような工場は郊外へ出ていただきたい。自動車のエンジンのかけばなしをやめる。最近は大野も大分環境も良くなっていると思いますが、昔のように蛍のすめるようになるとまだまだ楽しいと思います。夜空を見、蛍を見、夢です。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・背割りの側溝の汚れ、土砂を何とかしてほしい。
- ・河川を汚さない。
- ・町内河川の水あかや藻がたまって困っています。石だたみの石がはがれやすい。
- ・自然保護は個人力では限界があると思う。山林、河川に於いては公の大なる努力をのぞみます。
- ・ドブをきれいにほしい。
- ・山林（里山含む）の手入れを行っていただきたい。ただ単に間伐するだけでは環境は良くならない。
- ・六呂師高原を友人と歩いたりしますが、歩けるコースが少ないので、もっと多いといいと思います。
- ・大野市の田園風景
- ・少子高齢化の時代、今、農業は人手不足に困惑している。しかし、国では担い手育成で農地集積して大型農業を促進している考え方は良いが、負担金は今更困難を極めるとの足の思いである。何とか、自分たちも農業を楽しみ稲作野菜作りができないものか思いを巡らす環境破壊にも繋がり思案するところである。今SDGsで持続可能な開発目標の平和構築や気候変動に対する災害対応も大切と考えるが、今現存する農業の改築も必要である。

生物の多様性の確保（生物の保存・生息環境の保全ほか）

- ・クマの食べる実の木を山に植える。
- ・本願清水に昔みたいにイトヨ（はりしん）がたくさんいるような環境になってほしいです。

良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・観光地をきれいに（特にトイレ）。道路に面した空き地の清掃。町中の制限速度をオール40km。亀山公園の一斉清掃と町の案内パネル。カラスのフン対策。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・地下水をいつまでも守り続けたいと思います。枯れないようにする為に私たちにできることを提案してほしいです。

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源、省エネルギーの推進ほか）

- ・ムダな電気は使わない。
- ・省エネに心がけている。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・レジ袋は店関係は一切出さない。ごみの分別によりリサイクルはどの様にするか勉強会ができるとよい。
- ・農家が使用済みのマルチを行政が回収してくださると、川に流れたり風で飛ばされたりを無くすることができるのではないかと思います。
- ・ごみを少なくしたいです。時々県外の人に場所を聞かれるので説明書があるといいと思います。
- ・過剰な包装やチラシなど無駄さを省くために心がける必要があると思われます。
- ・ごみの件、資源ごみになるものは、日々のごみ袋の中に入れてほしいです。市内スーパーみたいにポイントをためて集まる活動に力を入れてほしいと思います。（言うだけは楽ですね。すみません）
- ・焼却場の持込を幅広くする。1升ビン取らない。割って出すと取る。家電、農業資材等。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・エコカーには減免（税金免除）等行う。
- ・車の多い福井県はエコカーに対して購入補助金をもっと増やしてもらおうとハイブリッド車を使用する人も増えると思います。
- ・ボランティア活動で年配者の生きがいを持てるような活動ができるように何かかなと思っています。地球温暖化の件について一応テレビなどで聞いていますが、あまり詳しくわかっていません。現実的な問題として一般市民一人一人が知っていくことが大事だと思います。地球温暖化のわかりやすいチラシなど配布される等意識化できるように市として取り組んでいただきたい。
- ・年々夏の気温が上昇してきて限界です。市民一人ひとりが自覚をもたなければならぬ事、もっともって呼び掛けてください。
- ・地球温暖化のために、近くの（スーパーなど）買い物は自家用車を使わないで、徒歩か自転車を利用しようと思っています。
- ・自動車の運転を控えて自転車の利用をすすめた方がいいと思います。そのためには道路の整備が前提となります。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・市の環境問題、温暖化防止の対策をまず、市民一人ひとりの努力、実行にあると思っています。それには市役所より活動スローガンを作ってください。市民一人ひとりに実践できるように提案して下さると良いかと思っています。
- ・行政が取り組むことは前提だが、市民一人ひとりが考えていかなかったら、行政がどんなに願ってもダメだと思うので、一人一人が気づける様に広報紙などで都度掲載していく必要があると思う。

その他

- ・人口減少が年々増えているようです。大野市も10年度には2万5千人くらいになると聞いています。その為、空き家空き地が増え続けているように見えます。町内も高齢化が進んでおり、10年後は大変なことになると心配しています。市のほうでも環境部会などいろいろと対策をしているようですが、10年後を見つめて地道に結果を出してください。3年後には、中部縦貫道路が開通します。中京方面から大勢の人が大野へやってくると思います。その中から若い人を中心に転移希望者が多く出ることを願っています。「テレワーク」で仕事ができる時代です。
- ・環境についても、市のほかのことも、意見を聞いたり、議論するにしても、同じ人がいくつも役を持って同じ人の意見しか聞いていないように思う。もっと幅広く役を分けているんな人の意見を聞くといいと思う。大野市をよくするには広く意見を聞いたほうがいいと思う。市への関心が高まると思う。
- ・この問題について各方面へ各団体が交流、研修を行っていらっしゃるようですが、その結果をどのように取り組んだかということが伝わってきません。いいと思われる案が出た場合は少々無理があっても押し進めてみるのも一考かと思えます。若い女性市長とともに職員の皆様も頑張ってください。私たちはほとんど声を発することもありませんが、絶賛応援しております。大野の未来を信じて！
- ・この年齢になり地域の人様に迷惑の掛からないように生きるのに一生懸命です。
- ・町、村をもっと明るくしたい。おきなわの様にどんな時でも笑いを忘れないように明るい大野にしてほしい。
- ・昔からある古い旧道や山道をサイクリングするのが好きなので、よく行っています。その景色がずっとあるとよいと思うことがあります。しかし、街の中を自転車ではしていると、道路の状況が悪く、とても走りにくいと感じる事が多くあります。でこぼこがたがた。個人的な意見ですみません。
- ・外部のために環境を良いものにしようとしか思わない。市民がその気になっても市の協力がなくてその気を失ってくる。

◆ 80歳以上

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・ごみのポイ捨て相変わらず赤根川中流に住むものとしては文化大野、福井なんて程遠いですね。
- ・昔は車のエアコンの冷え具合が悪くなった時、ガスの少量充填であったが、現在はすべてエアコンガスを抜き新品ガスだけで満タンにし、古いガスは空気中に放出することを知り驚きました。ガソリンスタンドはそのほうが利益が上がるとのこと。大きな問題と感じました。
- ・市は焚火はしないことと言っているが私にはわかりません。燃やす人はほとんど燃やしているが市は見ても見ぬふりしか思いません。何が温暖化ですかね。
- ・田園の中に道の駅ができ毎日土ほりに悩まされている。少しは自分たちの身に置き換えて考えてほしい。

自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・川にごみを捨てない。～きれいな川に。
- ・地球温暖化や酸性雨などで土壌が酸性化しているので、私たちはアルカリ性に戻し、おいしい野菜、米作りに日々頑張っております。それがピロール農法です。少しでもピロール農法が浸透し、みなさんにおいしい米、野菜を食べてほしいです。

良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・道路や川にごみが多い。これ以上、山や田園を開発し、緑を少なくしないでほしい。便利を求めて道路にした結果、地球温暖化に拍車がかかっている。気温が高くなり悪循環です。使用頻度の少ない箇所（道路など）アスファルトを除き、植樹し公園にしてはどうでしょうか。
- ・私の地区は、保育所、中学校、高校生の主要通学路にあたり、地区の特性を活かし毎日主要路のごみ拾い、除草をし、心に残る地区づくりに努めている。大人になった時、古里はきれいだったと思いたし、I、Uターンにつながればと気持ちでいる。観光客誘致の先にやるべきだと思います。地区の特性を活かした町づくりが大切だと思います。地区民、他地区の協力者が多くなってきていることに感謝しています。

- ・こぶし通りにこぶしが枯れているので植え直してください。
- ・亀山も大切にしたいところです。係りの方が細かく整備してくださるのに感謝申し上げます。

地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野の地下水は何より自慢なので節水に心がけ生活する。

資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・なるべくエアコンを付けない等、電気を使わないように心がけている。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・エコバッグは数年前から。資源ごみの分別はしっかり行っている。これくらいしかできていませんが、ほかに取り組みがあればやりたい。
- ・ごみを減らす。包装やパッケージの過剰など。

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・温暖化防止については難しい。
- ・温暖化（地球）によって大野地区の積雪が少なくなることとグローバルの差に老齢の身としては判断に苦慮しています。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・市民一人ひとりの心がけが必要です。
- ・あった人への言葉かけ。人間としての思いやり。

その他

- ・若者の市外へ仕事に行くのを止めるため働ける場所を作り出し地元に着定するようお願いしたい。後継者の不在で空き家が増加している。
- ・もう少し大野という町を知ってもらいたいです。

◆年齢無回答

地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・大野市役所や七間通りに「緑のカーテン」を設置し、市外からの訪問者に大野市の取組をアピールする。「緑のカーテン」を設置することで“マチ”の景観を向上させることができる。市外にこの活動を発信することによってほかのマチの参考になる。
- ・小中学生の授業の一環として学校や公共の施設にグリーンカーテンを作る。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・SDGsが正しい指針である以上、早くやったもの勝ちにならないところがあります。マスコミが目指すような施策をどんどん進めてほしい。市民は後からついてきます。17の指針それぞれに大野の行動目標を定める。小中学校に特設科目「SDGs」を加え、内閣連へ派遣しSDGsを学ばせる。針葉樹を全て広葉樹に植え替える（花粉対策）。西谷、五箇、和泉を完全なインターネットフリー区にする。いっそ市役所を17の部署（指針）に再編する。SDGsに取り組む企業・市民への支援と次世代に対する教育への投資を辛抱強く続けていくことが最も大切ともいます。

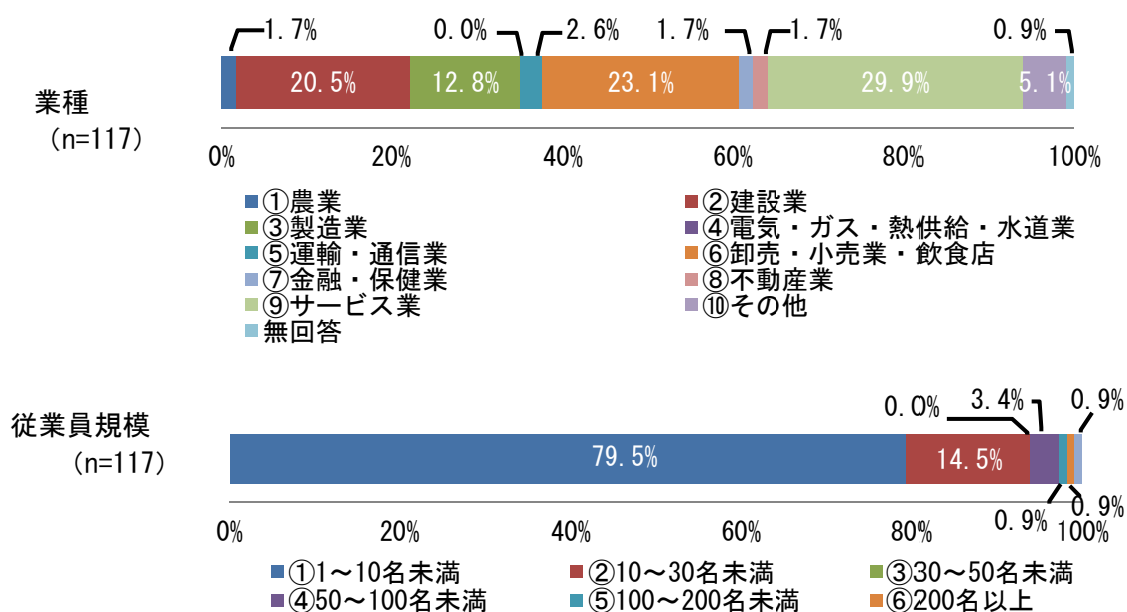
その他

- ・どんな活動をするにも予算が必要。無能な市議会議員を減らすことが大野市民にとって大切だと思う。市議会議員にはボランティアでもやるといふ心意気のある人がなり、定数を減らして環境保全のためにお金（税金）を使ってほしい。
- ・着々と進む道の駅越前大野あらしまの郷について一言。県下に誇る大きな規模の道の駅、将来において負の財産にならないように。近隣の市町民が気軽に足を運べる、立派な温泉施設を造ってはどうか。将来的にもにぎわいが取れると思いますか？

事業所アンケートの集計結果

問1 業種、 問2 従業員規模

- ◆業種は、「⑨サービス業」が29.9%と最も多く、次いで「⑥卸売・小売業・飲食店」23.1%、「②建設業」20.5%の順となっている。
- ◆従業員規模は、「①1名～10名未満」の事業所が79.5%と最も多く、回答の大半を占めている。

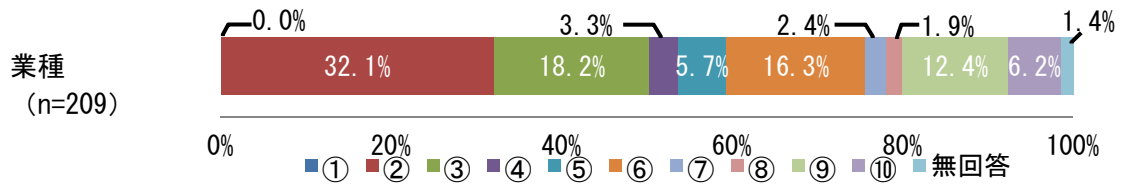


	合計		① 11 0 名 未 満	② 31 0 名 未 満	③ 53 0 名 未 満	④ 15 0 名 未 満	⑤ 21 0 名 未 満	⑥ 2 0 名 未 満	無 回 答
	割合	件数							
合計	1.7%	117	79.5%	14.5%	0.0%	3.4%	0.9%	0.9%	0.9%
① 農業	1.7%	2		2					
② 建設業	20.5%	24	19	5					
③ 製造業	12.8%	15	9	5		1			
④ 電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%								
⑤ 運輸・通信業	2.6%	3	2	1					
⑥ 卸売・小売業・飲食店	23.1%	27	21	3		1	1	1	
⑦ 金融・保健業	1.7%	2	2						
⑧ 不動産業	1.7%	2	2						
⑨ サービス業	29.9%	35	33	1					1
⑩ その他	5.1%	6	4			2			
無回答	0.9%	1	1						

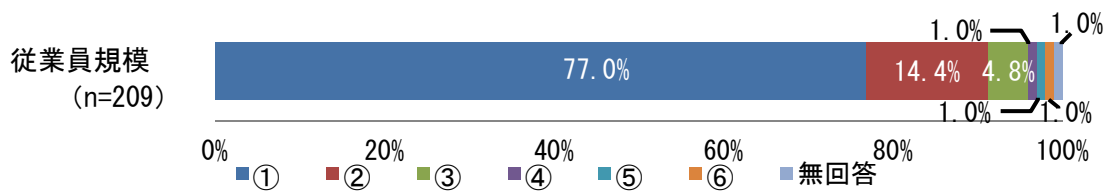
「⑩その他」の業種・・・病院、医療、福祉

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



	① 農業	② 建設業	③ 製造業	④ ・電気・ガス 水道供給業	⑤ 運輸・通信業	⑥ 業卸売・小売 業・飲食店	⑦ 金融・保健業	⑧ 不動産業	⑨ サービス業	⑩ その他	無回答	合計
件数	0	67	38	7	12	34	5	4	26	13	3	209
割合	0.0%	32.1%	18.2%	3.3%	5.7%	16.3%	2.4%	1.9%	12.4%	6.2%	1.4%	

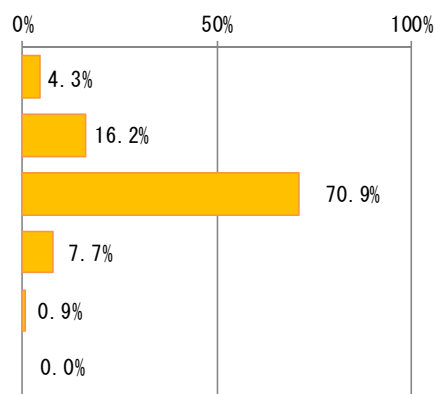


	① 11 05 名未満	② 31 00 名未満	③ 53 00 名未満	④ 15 00 名未満	⑤ 21 00 名未満	⑥ 20 00 名以上	無回答	合計
件数	161	30	10	2	2	2	2	209
割合	77.0%	14.4%	4.8%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	

問3 経済活動と環境保全の関係

- ◆ 「③経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする」が70.9%と最も多く、「④企業の社会的な立場を考え、環境保全に最善を尽くしている」と合わせると約8割となり、ほとんどの事業者が環境保全を優先していることが分かった。
- ◆ 前回調査と比較し、「④企業の社会的な立場を考え、環境保全に最善を尽くしている」の回答割合は減ってしまったが、「③経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする」を合わせた割合は、11.6ポイント増加しており、環境保全に対する意識が向上しているといえる。

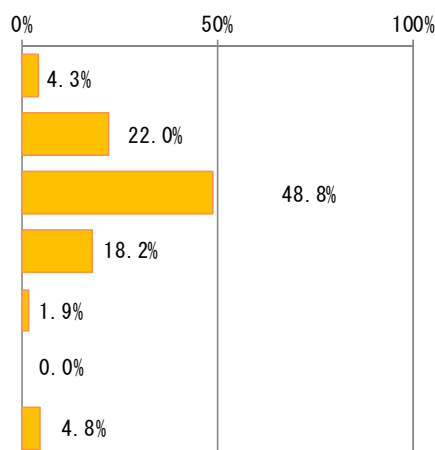
	件数	割合
① 事業所存続のために、経済活動を優先させる	5	4.3%
② 環境保全も大切だと思うが、どちらかというとならば経済活動を優先させる	19	16.2%
③ 経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする	83	70.9%
④ 企業の社会的な立場を考え、環境保全に最善を尽くしている	9	7.7%
⑤ 環境保全に関わる新たな技術開発などを今後の経営に活かしたい	1	0.9%
⑥ その他	0	0.0%
合計	117	



◆ 参考 前回の調査結果

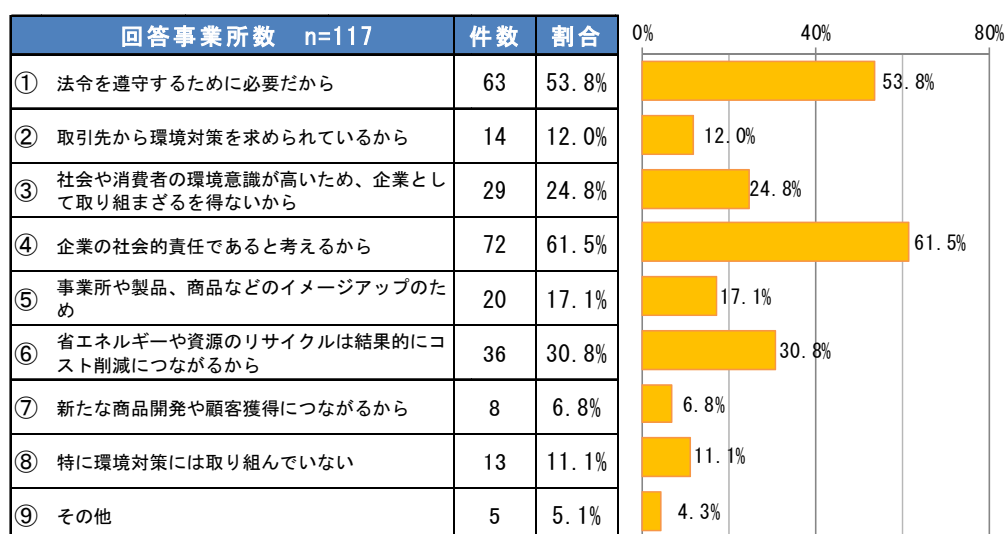
	件数	割合
① 事業所存続のために、経済活動を優先させる	9	4.3%
② 環境保全も大切だと思うが、どちらかというとならば経済活動を優先させる	46	22.0%
③ 経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする	102	48.8%
④ 企業の社会的な立場を考え、環境保全に最善を尽くしている	38	18.2%
⑤ 環境保全に関わる新たな技術開発などを今後の経営に活かしたい	4	1.9%
⑥ その他	0	0.0%
無回答	10	4.8%
合計	209	

(H20 年度実施)



問4 環境対策に取り組む理由

- ◆ 「④企業の社会的責任であると考えから」が 61.5%と最も多く、前回調査に比べて 11.7 ポイント上昇している。
- ◆ 前回調査と比較し、「省エネルギーや資源のリサイクルは結果的にコスト削減につながるから」は減少している一方で、取引先や社会・消費者等、他者との関係性を重視した理由が増加している。

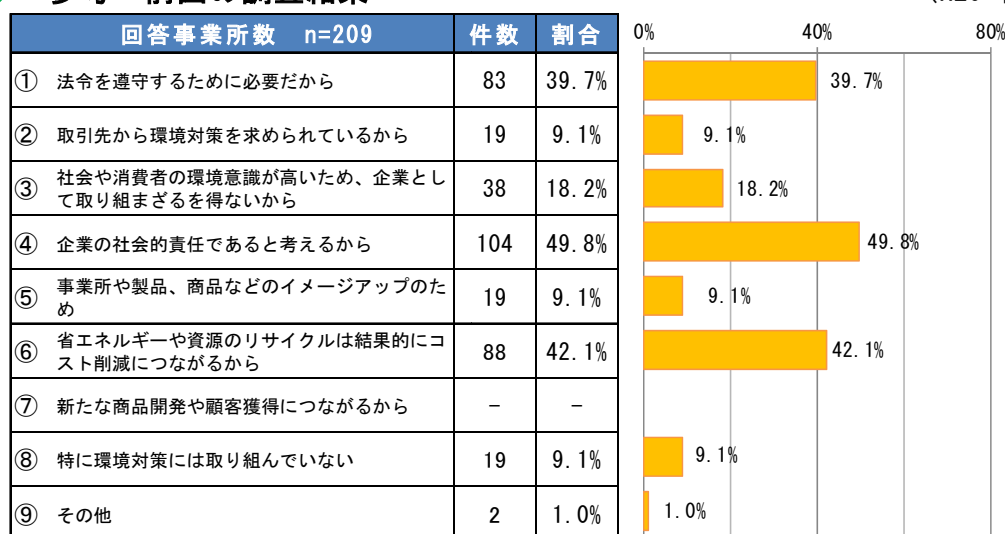


「⑨その他」の回答

- ・ これから生きる子供たちの未来のため。将来、未来に個人的に必要と感じるから
- ・ 施設利用者の生活を支えることが業務のため、環境対策が重要であるから。

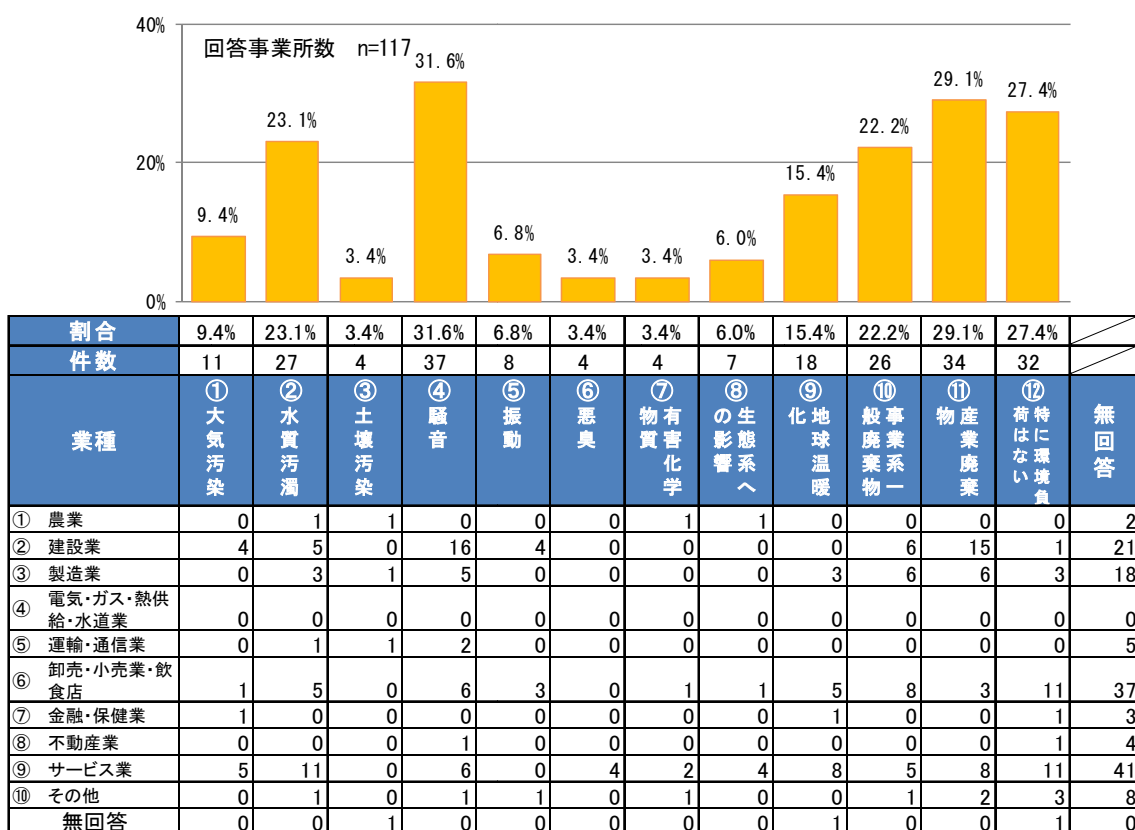
◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



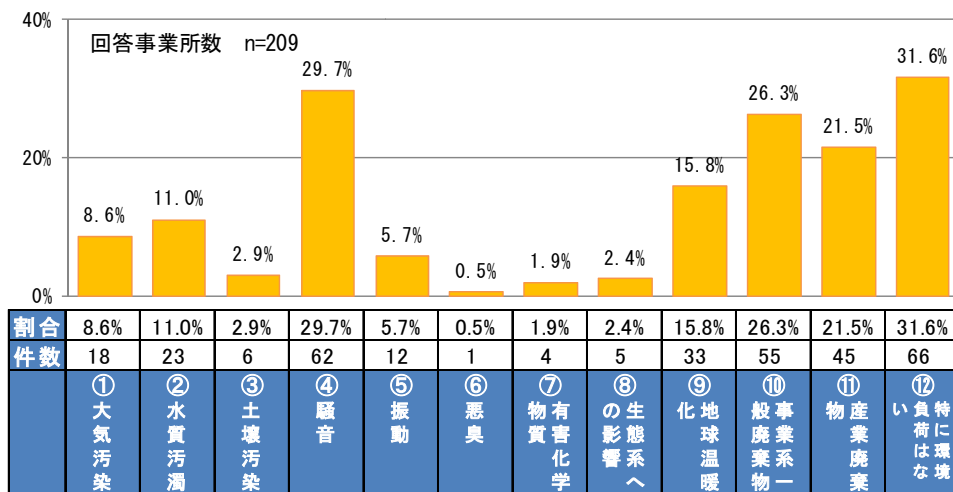
問5 企業活動による環境負荷

- ◆ 前回調査に引き続き、「④騒音」が 31.6%と最も多く、次いで「⑪産業廃棄物」「⑩事業系一般廃棄物」が続いている。
- ◆ 業種別にみると、「②建設業」において「④騒音」「⑪産業廃棄物」が上位に挙げられている。



◆ 参考 前回の調査結果

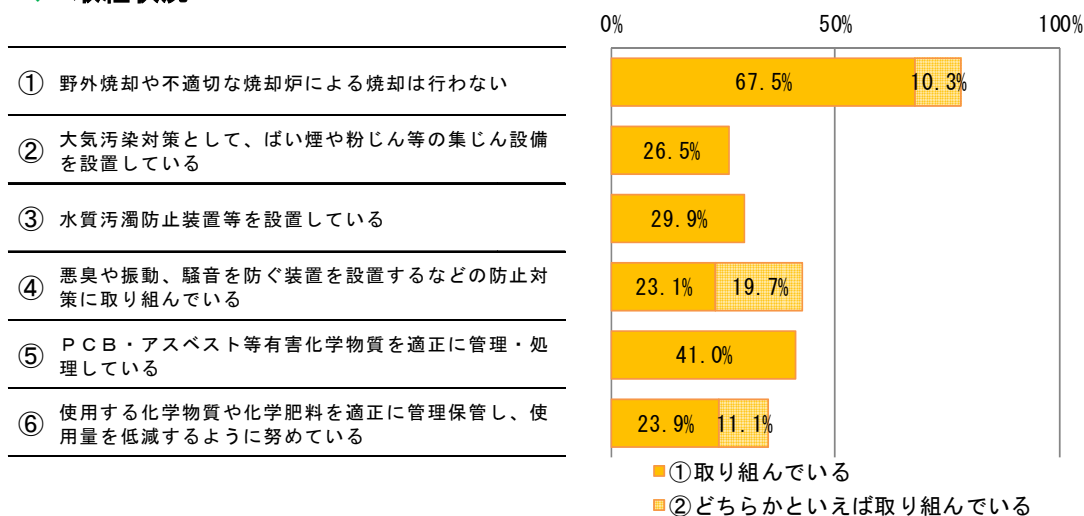
(H20 年度実施)



問6 行動指針に基づく取組状況 【公害防止対策】

- ◆ 「①野外焼却等は行わない」割合が約80%となっているのを除き、他の項目では約30~40%と取組割合が低い結果となった。しかし、取り組まない理由をみると、各項目において「⑦取り組む機会がない・該当しない」が多く、防止対策を講じる必要のない企業活動が多いため取組状況が低水準となっていると思われる。これらに加え無回答の事業所を分母から控除し再計算すると、取り組んでいる事業所の割合は、約55~95%にまで上昇した。
- ◆ 問5で「④騒音」「⑤振動」「⑥悪臭」の環境負荷がある回答した事業所（49件）のうち32件が「④悪臭や振動、騒音防止対策に取り組んでいる」と回答しており、約35%が、環境負荷が高いと自覚があるにもかかわらず対策を講じていない結果となった。同様に、水質汚濁対策についても、同じく約35%が対策を講じていない結果となった。

◆ 取組状況



◆ 取り組まない理由（上位3つ）

① 野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない		② 大気汚染対策として、ばい煙や粉じん等の集じん設備を設置している	
14件	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=7	61件
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=3	
	② 従業員の理解・協力が得られない	n=2	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=42	
	③ 費用がかかる	n=6	
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=5	

↑「取り組んでいない」又は「どちらかといえば取り組んでいない」と回答した件数

③ 水質汚濁防止装置等を設置している		
56 件	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=35
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=7
	③ 費用がかかる	n=5

④ 悪臭や振動、騒音を防ぐ装置を設置するなどの防止対策に取り組んでいる		
46 件	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=28
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=6
	③ 費用がかかる	n=5

⑤ PCB・アスベスト等有害化学物質を適正に管理・処理している		
51 件	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=39
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=6

⑥ 使用する化学物質や化学肥料を適正に管理保管し、使用量を低減するように努めている		
57 件	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=46
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=5

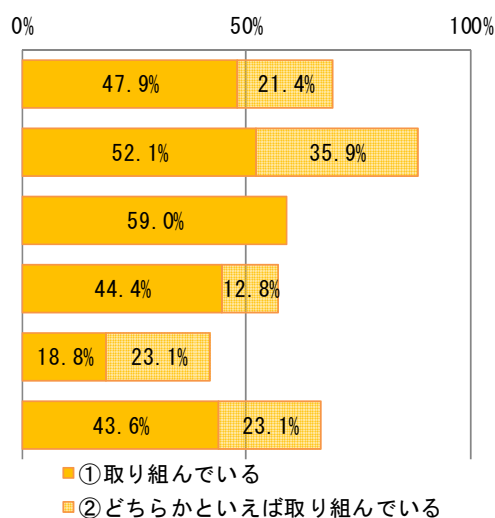
取組内容	集計	取組状況					取り組まない理由											
		① 取り組んでいる	② どちらかといえば取	③ どちらかといえ取	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 利便さ・快適さが損なわれる	② 従業員の理解・協力が得られない	③ 費用がかかる	④ 手間や時間がかかる	⑤ 利益につながらない	⑥ 必要だと感思わない・効果に疑問がある	⑦ 取り組む機会がない	⑧ 情報や知識が足りない	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	⑩ その他		
① 野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない	割合	67.5%	10.3%	2.6%	12.0%	7.7%												
	件数	79	12	3	14	9	2			1		7			3		1	
② 大気汚染対策として、ばい煙や粉じん等の集じん設備を設置している	割合	26.5%	0.0%	0.0%	58.1%	15.4%												
	件数	31	0	0	68	18			6	1		2	42	2	5		3	
③ 水質汚濁防止装置等を設置している	割合	29.9%	0.0%	0.0%	56.4%	13.7%												
	件数	35	0	0	66	16			5	1		1	35	7	4		3	
④ 悪臭や振動、騒音を防ぐ装置を設置するなどの防止対策に取り組んでいる	割合	23.1%	19.7%	5.1%	38.5%	13.7%												
	件数	27	23	6	45	16			5			1	28	3	6		3	
⑤ PCB・アスベスト等有害化学物質を適正に管理・処理している	割合	41.0%	0.0%	0.0%	45.3%	13.7%												
	件数	48	0	0	53	16			1				39	1	6		4	
⑥ 使用する化学物質や化学肥料を適正に管理保管し、使用量を低減するように努めている	割合	23.9%	11.1%	3.4%	46.2%	15.4%												
	件数	28	13	4	54	18			1				46	1	5		4	

問6 行動指針に基づく取組状況 【水・地下水・湧水・河川の保全】

- ◆約90%の事業所が、「②節水」に取り組んでいる。また、約70%の事業所において「⑥河川や用水等の清掃・美化活動に参加」しているとの回答があった。
- ◆「③下水道の接続、合併浄化槽の設置」「④使用水量の記録や排水する水路、汚水マスの点検」「⑤雨水の地下浸透」の取組状況は約40%~60%と、低水準となっている。

◆ 取組状況

① 融雪に地下水は使用しない
② 節水を心がけている
③ 下水道に接続している又は、合併処理浄化槽を設置している
④ 使用水量の記録や排水する水路や汚水マスの点検をしている
⑤ 敷地内緑化や雨水地下浸透設備の設置など、雨水の地下浸透に取り組んでいる
⑥ 河川や用水など地域の清掃活動や美化活動に参加している



◆ 取り組まない理由（上位3つ）

① 融雪に地下水は使用しない		
23件	① 利便さ・快適さが損なわれる	n=6
	④ 手間や時間がかかる	n=4
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=4
	③ 費用がかかる	n=3

② 節水を心がけている		
6件	⑤ 利益につながらない	n=2
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=2

34 件	③ 下水道に接続している又は、合併処理浄化槽を設置している	
	③ 費用がかかる	n=14
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=8
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=5

31 件	④ 使用水量の記録や排水する水路や汚水マスの点検をしている	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=11
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=10
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=4

49 件	⑤ 敷地内緑化や雨水地下浸透設備の設置など、雨水の地下浸透に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=18
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=13
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=8

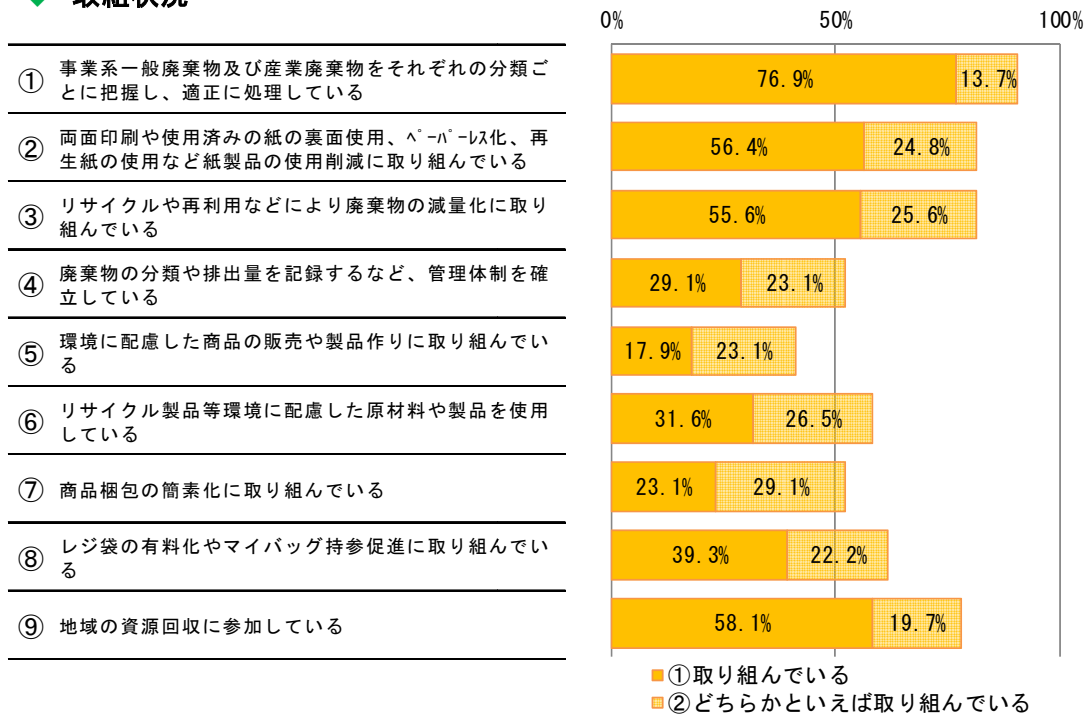
27 件	⑥ 河川や用水など地域の清掃活動や美化活動に参加している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=15
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=4
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=2

取組内容	集計	取組状況					取り組まない理由												
		① 取り組んでいる	② りどころかといえ取	③ りどころかといえ取	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 利便性が損なわれる	② 従業員の理解・協力が得られない	③ 費用がかかる	④ 手間や時間がかかる	⑤ 利益につながらない	⑥ 効果に疑問がある	⑦ 取り組み機会がない	⑧ 情報や知識が足りない	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	⑩ その他			
① 融雪に地下水は使用しない	割合	47.9%	21.4%	13.7%	11.1%	6.0%													
	件数	56	25	16	13	7	6		3	4	1	1	2	1	4	1			
② 節水を心がけている	割合	52.1%	35.9%	5.1%	2.6%	4.3%													
	件数	61	42	6	3	5	1				2		1	2					
③ 下水道に接続している又は、合併処理浄化槽を設置している	割合	59.0%	0.0%	0.0%	33.3%	7.7%													
	件数	69	0	0	39	9			14		1	1	8	1	5	4			
④ 使用水量の記録や排水する水路や汚水マスの点検をしている	割合	44.4%	12.8%	8.5%	24.8%	9.4%													
	件数	52	15	10	29	11			2			2	11	4	10	2			
⑤ 敷地内緑化や雨水地下浸透設備の設置など、雨水の地下浸透に取り組んでいる	割合	18.8%	23.1%	11.1%	38.5%	8.5%													
	件数	22	27	13	45	10			6		2		18	8	13	2			
⑥ 河川や用水など地域の清掃活動や美化活動に参加している	割合	43.6%	23.1%	6.8%	19.7%	6.8%													
	件数	51	27	8	23	8				1		1	15	2	4	4			

問6 行動指針に基づく取組状況 【ごみ減量・循環型社会構築】

- ◆ 「①事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理」「②紙製品の使用削減」「③リサイクル等による廃棄物の減少化」「⑨地域の資源回収参加」については、約80～90%の事業所において取り組んでいる。
- ◆ 「④廃棄物の分類や排出量を記録するなど、管理体制を確立している」は50%を超える程度となっており、あまり取り組まれていない。

◆ 取組状況



◆ 取り組まない理由（上位3つ）

取組項目	理由	件数 (n)
① 事業系一般廃棄物及び産業廃棄物をそれぞれの分類ごとに把握し、適正に処理している	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=2
② 両面印刷や使用済みの紙の裏面使用、ペーパーレス化、再生紙の使用など紙製品の使用削減に取り組んでいる	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=5
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=4

↑「取り組んでいない」又は「どちらかといえば取り組んでいない」と回答した件数

取組項目	理由	件数 (n)
③ リサイクルや再利用などにより廃棄物の減量化に取り組んでいる	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=8
	③ 費用がかかる	n=2
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=2
④ 廃棄物の分類や排出量を記録するなど、管理体制を確立している	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=15
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=10
	④ 手間や時間がかかる	n=5

48 件	⑤ 環境に配慮した商品の販売や製品作りに取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=33
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=5

34 件	⑥ リサイクル製品等環境に配慮した原材料や製品を使用している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=19
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=5

42 件	⑦ 商品梱包の簡素化に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=29
	⑥ 必要だと思わない・効果に疑問がある	n=3
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=3

34 件	⑧ レジ袋の有料化やマイバッグ持参促進に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=20
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=5
	⑥ 必要だと思わない・効果に疑問がある	n=3

17 件	⑨ 地域の資源回収に参加している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=10
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=3

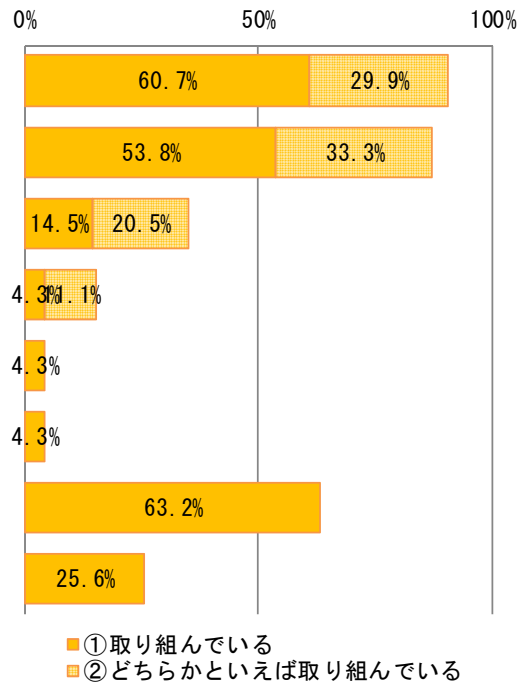
取組内容	集計	取組状況					取り組まない理由												
		① 取り組んでいる	② どちらかといえば取	③ どちらかといえ取	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 利便さ・快適さが損なわれる	② 従業員の理解・協力が得られない	③ 費用がかかる	④ 手間や時間がかかる	⑤ 利益につながらない	⑥ 必要だと思わない・効果に疑問がある	⑦ 取り組む機会がない	⑧ 情報や知識が足りない	⑨ 方法がわからない・特に気にかけていない	⑩ その他			
① 事業系一般廃棄物及び産業廃棄物をそれぞれの分類ごとに把握し、適正に処理している	割合	76.9%	13.7%	2.6%	1.7%	5.1%													
	件数	90	16	3	2	6				1			2						
② 両面印刷や使用済みの紙の裏面使用、ペーパーレス化、再生紙の使用など紙製品の使用削減に取り組んでいる	割合	56.4%	24.8%	4.3%	8.5%	6.0%													
	件数	66	29	5	10	7	1					1	5			4			1
③ リサイクルや再利用などにより廃棄物の減量化に取り組んでいる	割合	55.6%	25.6%	5.1%	8.5%	5.1%													
	件数	65	30	6	10	6			2	1			8			2			
④ 廃棄物の分類や排出量を記録するなど、管理体制を確立している	割合	29.1%	23.1%	10.3%	28.2%	9.4%													
	件数	34	27	12	33	11			1	5			4	15		10			2
⑤ 環境に配慮した商品の販売や製品作りに取り組んでいる	割合	17.9%	23.1%	10.3%	35.0%	13.7%													
	件数	21	27	12	41	16				2	1		2	33		2	5		3
⑥ リサイクル製品等環境に配慮した原材料や製品を使用している	割合	31.6%	26.5%	12.0%	22.2%	7.7%													
	件数	37	31	14	26	9			1	1	1		19	5		4			3
⑦ 商品梱包の簡素化に取り組んでいる	割合	23.1%	29.1%	7.7%	30.8%	9.4%													
	件数	27	34	9	36	11	1			2			3	29			3		4
⑧ レジ袋の有料化やマイバッグ持参促進に取り組んでいる	割合	39.3%	22.2%	6.8%	24.8%	6.8%													
	件数	46	26	8	29	8							3	20		2	5		4
⑨ 地域の資源回収に参加している	割合	58.1%	19.7%	1.7%	15.4%	5.1%													
	件数	68	23	2	18	6							10	3		2			2

問6 行動指針に基づく取組状況 【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】

- ◆ 「①節電」や「②エコドライブ」といった心がけ次第でできることは取り組んでいるが、太陽光発電設置や低公害車導入といった費用がかかる取組は非常に低い水準となっている。
- ◆ 「⑤太陽光発電等の導入」「余剰エネルギー利用」に取り組まない理由に、「③費用がかかる」のほか「⑧方法が分からない・情報や知識が足りない」という回答があり、情報発信、普及啓発の取組が求められていると思われる。

◆ 取組状況

冷暖房の適温設定や unnecessaryな照明の消灯など、節電を心がけている
アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している
自転車や公共交通機関を積極的に利用している
ノーマイカー運動（従業員のマイカー出退勤を控える運動）に取り組んでいる
太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している
廃熱などの余剰エネルギーを利用している
電化製品や機器は省資源・省エネルギー型のものを導入している
ハイブリッドカーなどの低公害車を導入している



◆ 取り組まない理由（上位3つ）

① 冷暖房の適温設定や unnecessaryな照明の消灯など、節電を心がけている	7件	
	① 利便さ・快適さが損なわれる	n=3
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=2

② アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している	6件	
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=4

↑「取り組んでいない」又は「どちらかといえば取り組んでいない」と回答した件数

53件	③ 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=21
	① 利便さ・快適さが損なわれる	n=9
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=9
	④ 手間や時間がかかる	n=6

72件	④ ノーマイカー運動（従業員のマイカー出退動を控える運動）に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=26
	① 利便さ・快適さが損なわれる	n=12
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=12
	② 従業員の理解・協力が得られない	n=5

90件	⑤ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している	
	③ 費用がかかる	n=33
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=22
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=7

88件	⑥ 廃熱などの余剰エネルギーを利用している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=35
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=16
	③ 費用がかかる	n=14

25件	⑦ 電化製品や機器は省資源・省エネルギー型のものを導入している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=7
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=9
	③ 費用がかかる	n=5

62件	⑧ ハイブリッドカーなどの低公害車を導入している	
	③ 費用がかかる	n=25
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=19
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=11

取組内容	集計	取組状況					取り組まない理由										
		① 取り組んでいる	② どちらかといえど取り組んでいる	③ どちらかといえど取り組んでいない	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 利便さ・快適さが損なわれる	② 従業員の理解・協力が得られない	③ 費用がかかる	④ 手間や時間がかかる	⑤ 利益につながらない	⑥ 効果に疑問がある	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	⑧ 情報や知識が足りない	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	⑩ その他	
① 冷暖房の適温設定や unnecessaryな照明の消灯など、節電を心がけている	割合	60.7%	29.9%	3.4%	2.6%	3.4%											
	件数	71	35	4	3	4	3					1	2			1	
② アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している	割合	53.8%	33.3%	2.6%	5.1%	5.1%											
	件数	63	39	3	6	6							2			4	
③ 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	割合	14.5%	20.5%	23.1%	34.2%	7.7%											
	件数	17	24	27	40	9	9	1		6		3	21			9	4
④ ノーマイカー運動（従業員のマイカー出退動を控える運動）に取り組んでいる	割合	4.3%	11.1%	13.7%	59.8%	11.1%											
	件数	5	13	16	70	13	12	5		3		3	26			12	11
⑤ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している	割合	4.3%	0.0%	0.9%	85.5%	9.4%											
	件数	5	0	1	100	11			33			6	22	7	16		6
⑥ 廃熱などの余剰エネルギーを利用している	割合	4.3%	0.0%	0.0%	85.5%	10.3%											
	件数	5	0	0	100	12			14		1	4	35	10	16		8
⑦ 電化製品や機器は省資源・省エネルギー型のものを導入している	割合	63.2%	0.0%	0.9%	29.1%	6.8%											
	件数	74	0	1	34	8			5	1			7	1	9		2
⑧ ハイブリッドカーなどの低公害車を導入している	割合	25.6%	0.0%	2.6%	64.1%	7.7%											
	件数	30	0	3	75	9		1	25				11		19		6

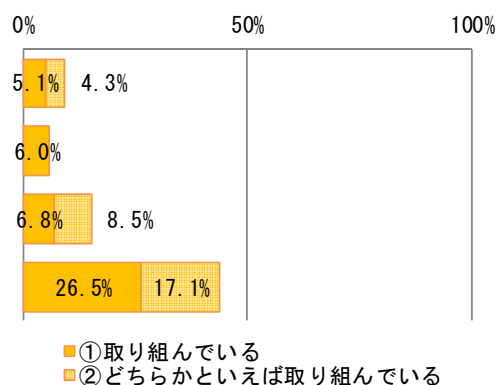
問6 行動指針に基づく取組状況 【その他の対策】

- ◆ 「①環境マネジメント等認証の取得」は、回答事業所の経営規模が小さいこともあって、ほとんどの事業所で取り組んでいない。
- ◆ SDGsに取り組まない理由の1/4は「⑧方法が分からない・情報や知識が足りない」と回答しており、より一層の情報発信、普及啓発活動を進めていく必要が感じられる。

◆ 取組状況

①	ISO14001やエコアクション21、KESなどの環境マネジメントシステム（※）等認証を取得（登録）している
②	SDGs（※）の推進に取り組んでいる
③	農用地や山林、野生生物の生息地等の保全に取り組んでいる
④	光害対策として、必要以上の照明設備は設置しない、カーテン等で光を漏らさないなどの取組を行っている

※環境マネジメントシステム：法令などの規制基準の順守や環境保全のための計画と実行手順等
 ※SDGs：国連が定めた持続可能な開発目標



◆ 取り組まない理由（上位3つ）

83件	① ISO14001やエコアクション21、KESなどの環境マネジメントシステム等認証を取得（登録）している	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=32
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=19
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=15

86件	② SDGsの推進に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=35
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=22
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=15

↑「取り組んでいない」又は「どちらかといえば取り組んでいない」と回答した件数

76件	③ 農用地や山林、野生生物の生息地等の保全に取り組んでいる	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=40
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=18
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=10

50件	④ 光害対策として、必要以上の照明設備は設置しない、カーテン等で光を漏らさないなどの取組を行っている	
	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	n=25
	⑨ 理由はない・特に気にかけていない	n=13
	⑧ 方法がわからない・情報や知識が足りない	n=4

取組内容	集計	取組状況					取組まない理由													
		① 取り組んでいる	② どちらかといえ取り組んでいる	③ どちらかといえ取り組んでいない	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 利便さ・快適さが損なわれる	② 従業員の理解・協力が得られない	③ 費用がかかる	④ 手間や時間がかかる	⑤ 利益につながらない	⑥ 必要だと思わない・効果に疑問がある	⑦ 取り組む機会がない・該当しない	⑧ 情報や知識が足りない	⑨ 方法がわからない・特に関心がない	⑩ その他				
① ISO14001やエコアクション21、KESなどの環境マネジメントシステム等認証を取得（登録）している	割合	5.1%	4.3%	3.4%	76.1%	11.1%														
	件数	6	5	4	89	13		1	3	6		2	32	19	15					5
② SDGsの推進に取り組んでいる	割合	6.0%	0.0%	4.3%	76.9%	12.8%														
	件数	7	0	5	90	15			3	4	1	1	35	22	15					5
③ 農用地や山林、野生生物の生息地等の保全に取り組んでいる	割合	6.8%	8.5%	5.1%	67.5%	12.0%														
	件数	8	10	6	79	14						2	40	10	18					6
④ 光害対策として、必要以上の照明設備は設置しない、カーテン等で光を漏らさないなどの取組を行っている	割合	26.5%	17.1%	6.0%	41.0%	9.4%														
	件数	31	20	7	48	11						3	25	4	13					5

問7 市に期待する施策

- ◆ 「①環境負荷を減らす設備導入に対する補助」が「総合（平均点）」「総合（件数）」「1番目に進める施策」において最も数値が高いことから、最も求められている施策であると考えられる。
- ◆ 「②取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供」は、「総合（平均点）」「総合（件数）」ともに高く、多くの事業所に求められており、かつ優先度の高い施策と思われる。
- ◆ 一方で、「⑦取組みを促すための制度や仕組みづくり」「⑩市民意識を高めるための環境教育・普及啓発」は「総合（件数）」が多いことから、多くの事業所から実施を求められているが、「総合（平均点）」がともに低いことから、優先順は低いと考えられる。

※総合（平均点）は、「1番目に進める施策（5点）」、「2番目に進める施策（3点）」、「3番目に進める施策（1点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

※総合（件数）は、「1番目に進める施策」、「2番目に進める施策」、「3番目に進める施策」それぞれに回答した件数の合計を集計しています。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ①環境負荷を減らす設備導入に対する助成 | ②取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供 |
| ③事業者の取組事例等の情報発信 | ④研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり |
| ⑤事業者や社員向けの研修会の開催 | ⑥監視体制や規制の強化 |
| ⑦取組を促すための制度や仕組み作り | ⑧自然資源を活用した都市間交流や働きかけ |
| ⑨地下水や地球環境などの調査研究 | ⑩市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施 |
| ⑩その他 | |

◆ ランキング

総合（平均点）		総合（件数）	
① 環境負荷を減らす設備導入に対する助成	3.90	① 環境負荷を減らす設備導入に対する助成	58
② 取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供	3.57	⑦ 取組を促すための制度や仕組みづくり	48
⑨ 地下水や地球環境などの調査研究	3.36	⑩ 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施	46

1番目に進める施策		2番目に進める施策		3番目に進める施策	
① 環境負荷を減らす設備導入に対する助成	34.2%	② 取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供	22.2%	⑩ 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施	20.5%
② 取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供	12.0%	⑦ 取組を促すための制度や仕組みづくり	21.4%	⑦ 取組を促すための制度や仕組みづくり	14.5%
⑩ 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施	9.4%	⑩ 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施	9.4%	③ 事業者の取組事例等の情報発信	12.0%

施策	総合 (平均点)		1 番 目		2 番 目		三 番 目	
	点数	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数
① 環境負荷を減らす設備導入に対する助成	3.90	58	34.2%	40	3.4%	4	12.0%	14
② 取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供	3.57	42	12.0%	14	22.2%	26	1.7%	2
③ 事業者の取組事例等の情報発信	2.48	31	5.1%	6	9.4%	11	12.0%	14
④ 研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり	2.83	12	2.6%	3	4.3%	5	3.4%	4
⑤ 事業者や社員向けの研修会の開催	3.17	12	3.4%	4	4.3%	5	2.6%	3
⑥ 監視体制や規制の強化	3.31	13	5.1%	6	2.6%	3	3.4%	4
⑦ 取組を促すための制度や仕組みづくり	2.54	48	5.1%	6	21.4%	25	14.5%	17
⑧ 自然資源を活用した都市間交流や働きかけ	3.00	20	6.0%	7	5.1%	6	6.0%	7
⑨ 地下水や地球環境などの調査研究	3.36	22	8.5%	10	5.1%	6	5.1%	6
⑩ 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施	2.43	46	9.4%	11	9.4%	11	20.5%	24
⑪ その他	3.00	2	0.9%	1			0.9%	1
無回答			7.7%	9	12.8%	15	17.9%	21
合 計				117		117		117

その他、自由回答

各事業所で取り組んでいる「ごみ減量」や「地球温暖化防止」の事例や、大野市の環境をより良いものとするため、日頃感じていることなどを自由に記入。

◆ 各事業所で取り組んでいる「ごみ減量」や「地球温暖化防止」などの事例

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）	
・私たちは会社（有）にはなっていないでもアルバイトもいないので一人の事業主は全部仕事しながらはなかなか会社などに行けないし・・・一般市民なので自分自身で燃料、電気料は気を付けています。得意先様の言うことは絶対に聞かなければならないので特に労働時間やごみ、車の点検などは昔と違い厳しくなり、作業で出てくるごみなどは撤収しています。	（運輸・通信業：1～9名）
・使用する重機（バックホウ等）はすべて排ガス規制（環境対策）型を導入・使用している。	（建設業：1～9名）
資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源、省エネルギーの推進ほか）	
・暖房は電気や灯油を使用せず薪ストーブにしている。費用は今のところ削減できている。環境にも良いと思っ	（卸売り・小売業・飲食店：1～9名）
・工場用の「暖房に廃油ストーブ（自家製）を使用している。燃料代が節約できている。	（サービス業：1～9名）
・今の照明はLEDに。電気代が3～4割減に	（卸売り・小売業・飲食店：1～9名）
・昔の反射ストーブをわざわざ購入しました。電気を使わなくても灯油だけで使用できる。地震や停電時災害時にお湯も沸かせることができ、暖をとれるため、重宝。電気代が削減？	（サービス業：1～9名）
・以前より8台あった機械を5台に少なくした所（200V使用）。基本料金が年間130,000円削減できました。	（製造業：1～9名）
・何かとこまめに節電、節水、節エネルギーをしています。	（製造業：10～29名）
廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）	
・リサイクルできるものはごみとして出さないようにしている。トレー1個でも回収箱へ持っていくこと。包装の簡単なものにする。買い物は必ず袋をもって行って、レジ袋はもらはない。	（卸売り・小売業・飲食店：1～9名）
・廃棄を減らすよう食べきれぬ量の提供をする。	（卸売り・小売業・飲食店：50～99名）
・造園での剪定作業は枝葉ごみが発生するが、チップ化して土化することでごみが減る。むしろリサイクルとしての堆肥にもなる。専門業者へ出すのではなく、これを自社で取り組んでいる。	（建設業：1～9名）
・なるべくペーパーレス化を促進している。プリンターのインクもリサイクルしている。	（サービス業：1～9名）
・スプレー缶は使用しない。広告の裏面をメモ長に使う。必要最小限の買い物をする。	（サービス業：1～9名）
・廃品回収等に積極的に参加	（卸売り・小売業・飲食店：1～9名）
・業務用を使用するシンナーを再生機により再利用している（使用量が1/3以下に減少）	（卸売り・小売業・飲食店：100～199名）
・織物関係の仕事で出てくる糸くず、紙管、ビニール袋等分別してリサイクル業者に回収してもらっている。	（製造業：1～9名）
地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）	
・営業等に使用する車をハイブリッド化して燃費を大幅に削減できた。	（卸売り・小売業・飲食店：1～9名）
・全ての暖房、冷房を電気にかけていると地球破壊につながるの、なるべく自然環境から取り入れられたらと思	（サービス業：1～9名）
います。	
・水銀灯などの問題、電気コストの低減のため、すべてLEDにすることで、年間の電気代を下げること。作業性の向	（サービス業：1～9名）
上、LEDの寿命が長いことでライト部品の削減につながっている。	
・ハイブリッド車、電気自動車への入替	（サービス業：10～29名）
・エアコンは極力さけて冬はストーブ等、夏は扇風機等でやっている。エアコンは設定温度にも気を付けている。	（製造業：1～9名）

◆ その他、大野市の環境をより良いものとするため、日頃感じていること

公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）	
・下水道等、全戸加入に力を入れてほしい。	
・	
いつもお世話になります。今時にこんなことを言っているには遅すぎるのですが、我が家の生活排水はそのまま背割排水溝に流れます。その小さな川は水量が少なくて暑くなると臭い。草など発生し観光客にもマイナスイメージです。別問題ではありますが、大野は名水の町とするなら、もっとその様になったらと思います。昔のような流れのある川を再現するとか、又、新堀川も梅花藻をもっと増やしてきれいな川にするとか・・・。長く住みたくなる大野になったらいいですね。希望的お願いを書きました。すみません！	
・水と空気。特に水質汚染は大事	
・合併浄化槽の法定点検等の事業所だけでなく個人宅など必要性の周知を積極的に行ってほしい。水質保全是最短ではないかと思	
います。水路工事をおこなうと家庭からの汚水などの流出を感じています。	
・水は無料なものといった認識からか下水が通っても接続しない。下水道は義務と市職員の方が上水道の話に回ってこられた時に言ってお	
られたが、その義務化による働きかけが無いように思う。当事業所のように下水に接続していると「つなぐものはバカだ」とか「儲かっている」とか言われて嫌な思いをしたことが幾度とある。	
・大野市内の完全下水道課を早く	
・	
カラスによるフンの町中の汚染がひどいと思われます。どうかしてほしいです。ごみ収集の日もごみを食い散らかします。	
・毎朝、会社前の道路等掃除していますが、皆がすることで大野の町の美化につながるのではないかと思います。	

良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・所有者に強くいて古い空き家は処理してくだ愛。町の風景がこわされる。いくら街に立派な施設ができて映えないです。
- ・空き家がかなり目立つ街中です。法の規制もあるでしょうが新しい建物を建てるのではなく古い建物を処分したり、再利用できるように美化に力を入れてほしい。市役所裏の建設作業跡地は不気味にも感じ、広い敷地だけに有効利用できそうである。

廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・生ごみを減らす
- ・大野市には山林がたくさんあり、また、岐阜県に抜ける道があるため不法投棄の温床の場所になっている。福井県には産業廃棄物処分場が公共、民間ともに少なくそういったことが原因の一つになっていると思う。そのような施設はみんなが必要と思っても自分の資格にはいないばかりです。きちんとしたルール、法律の下でそのような施設、場所を運営すれば環境は守れるはず。民間からそのような話があれば市として積極的に相談に乗ってほしいと思います。
- ・配布される紙の減量（特に必要と思われる資料の配布をやめる）
- ・再利用できない糸くず（レーヨン、アセテート等）の引き取る業者が市内外に少なく、処分に困っている。（とてもです）。処分してくれる産廃業者を教えてください。
- ・自分の環境をよくするため、ごみは販売店に持ってきて置いて行く。市のごみ回収にしても、規制が厳しくて出しにくい。回収については、もっと緩くして回収することを第一に考えてほしい。本来はこんな設問をする前に行政が「こうしたい」というストーリーを考えて、市民に協力を得るようにすればよい。あまり環境とか地球温暖化とかを深く考えていないのに意見を求められても。

総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・環境をより良いものとするためには、もちろん事業所の意識も必要だが、個人一人ひとりの意識改革が必要です。この度のコロナ騒ぎでマクドナルドなどのテイクアウトをいつもより頻繁に使ったが、その出てくるごみの量に唖然とした。エコ、サステイナブル以前の問題。日常生活においてプラスチックごみを出しすぎです。コロナは環境のことを真剣に考えず、おのれの無制限な欲望追及に「ちょっと待った」をかけたものかもしれません。市民一人一人が人間としての生き方を見直すタイミングなのかもしれません。
- ・SDGsは理解しにくいので何かスローガ的にするのはどうでしょう。(S)自然を(D)大事に(G)・・・みたいな感じで。環境基本計画策定にあたりなにか目をひく花火はないですかね。「星ふる街」全国1位みたいな・・・。環境に目を向けていただくチャンスになると思うので。ごみ有料化検討開始とかもあるかも。

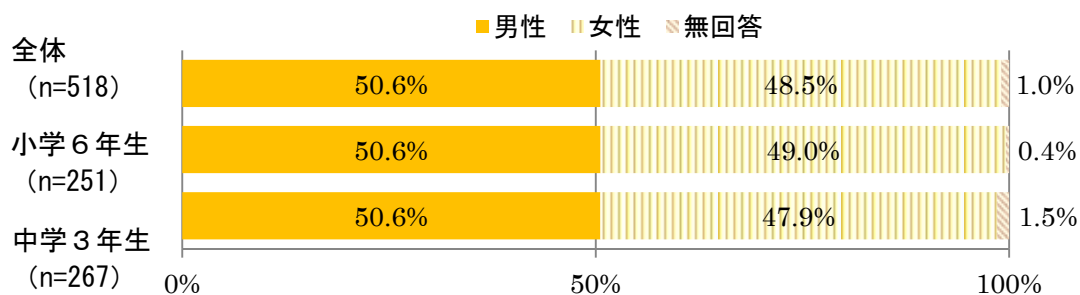
その他

- ・冬になると用水路には水が止まってしまい地下水を流さない困ります。七間のように道の中心に水を出していただくとよいのでは。家の前には硬い雪がドサツとおかれて腰と身体が痛みます。このようなことを解決していかないと若者が去っていくのだと考えております。市役所中心に皆様で考えていくとよいのではないのでしょうか。第一に若者離れを考えていきたいと思っています。
- ・昔は市の役員が体を動かして市民のために尽くしてくださいましたが、役所もなかなか今は動いてくれません。私たちもだんだん年を取っていくので若い役員さんは頑張っていたらと思います。
- ・他の市町村と比べるとちょっとさびしいです。産業は減っていき、若い人は出ていき、企業がないので私共も不安定です。特に今年はコロナウィルスのため、何もできなかった。商売にしても皆がニコニコと山でも川でも行って観光の場と広げ、企業に来てもらえると働く場所もできると思う。
- ・大野市のこれからの基本計画に少なからず協力できることは気にかけていないことでした。こういったアンケート調査等は大野の未来において多いにやっていただきたいです。全国平均化していく町作りにおいて、大野人の目立ちたがらない性格上、大野特有、独特の発信はかなり埋もれている気はします。大野市役所のプレーンの皆様、こういったアンケート調査等、仕掛けづくりを考えることが大事なことのような気がします。未来の大野市民が幸福でありますようによろしくお願いします。
- ・真冬はせつかくある川に水を流すことを考えてほしい。川があるのに水がないため使用できない。雪を入れられない。我が家の前の川は1月は真冬になるとよく水が止まってしまって流れない。
- ・市内は高齢者ばかりの家庭ばかりといってもよいくらいの状態になってきた感が致し、私のその中の一人が現在89歳で家内は現在入院中であつ廃業してもいいこの頃です。考えることはマイナスなことばかりで困ってしまいます。アンケートにこたえる協力的なことでもできない現在の状況をお許しください。我々の時代は終わり若い方々の明るい希望あふれる大野の実現を期待したい。
- ・排水溝は冬には、冬は玄関前の雪を入れるには大切なもので、完全にふたをするわけにはいかないため、夏の臭いにおい問題を解決することは困難である。解決には何といても下水システムの100%化しがなく、個々には多額の費用が足かせになりなかなか進まない。これに対する補助金等の支援がもっと拡充することを希望するものである。

小学生・中学生アンケートの 集計結果

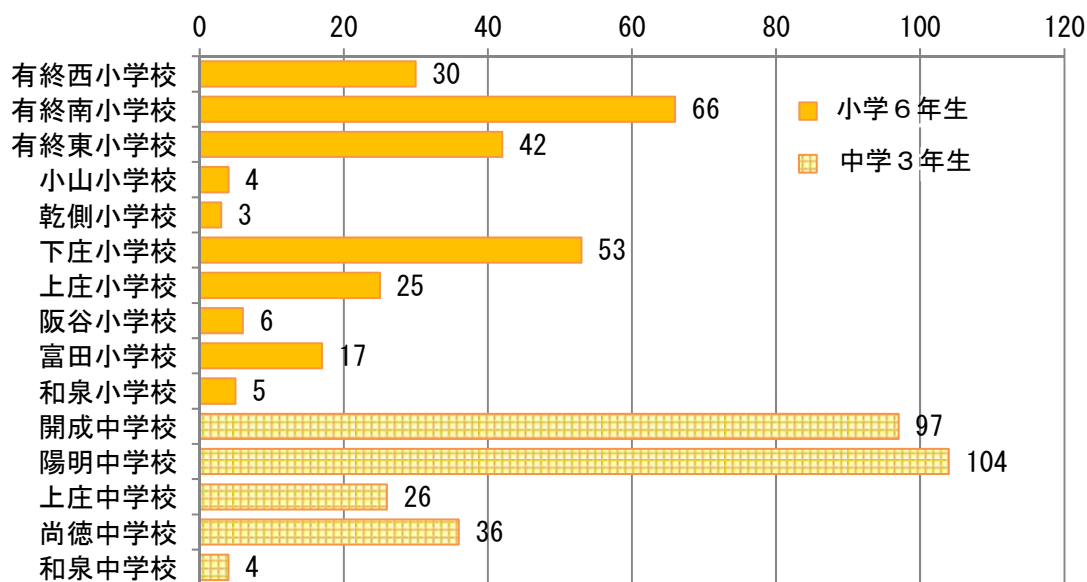
問1 性別、問2 学年

◆ 性別



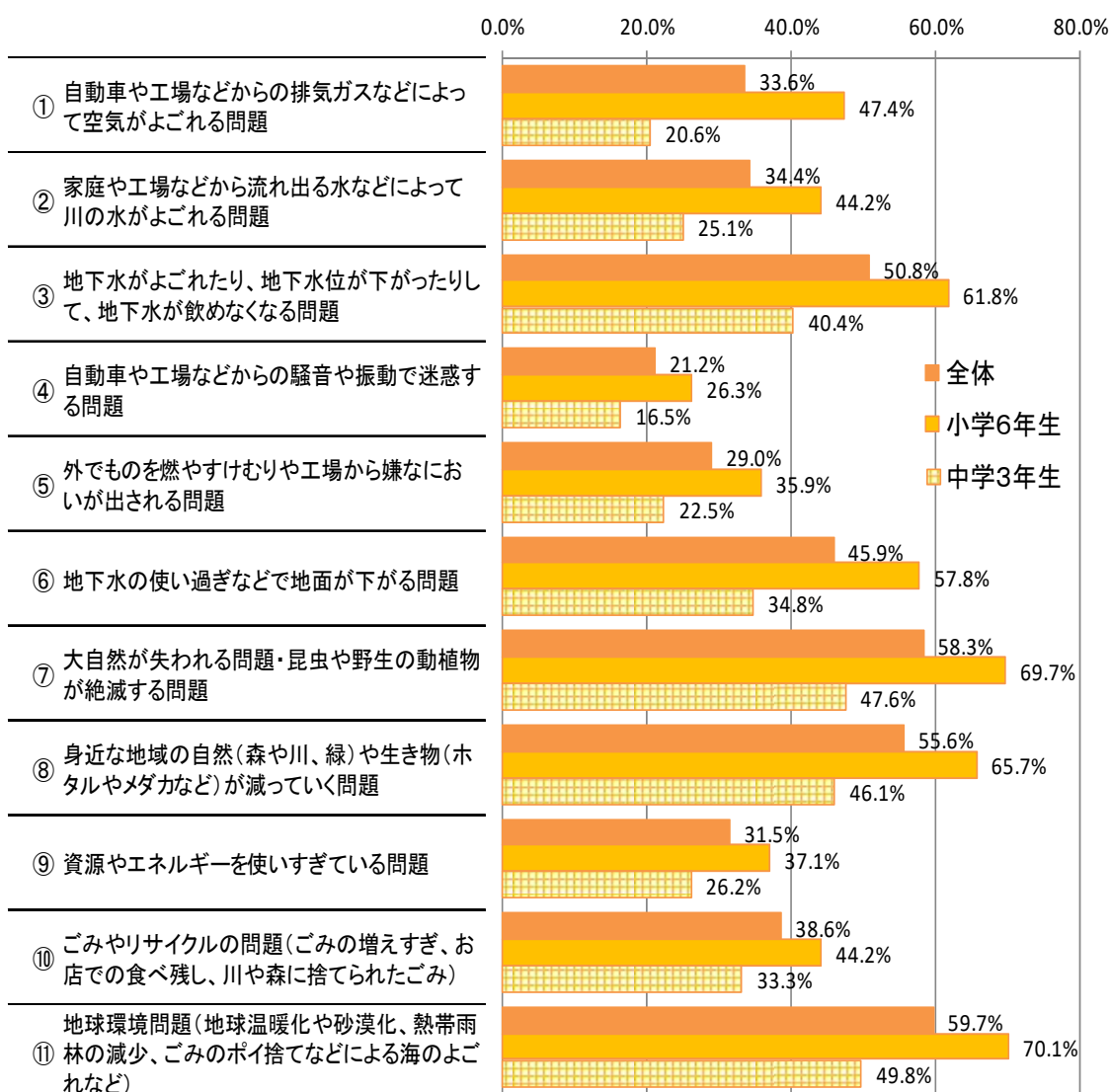
学校	男性	女性	無回答	合計
全体	262	251	5	518
小学6年生	127	123	1	251
中学3年生	135	128	4	267

◆ 学年



問3 環境問題（全般）に対する学習意欲

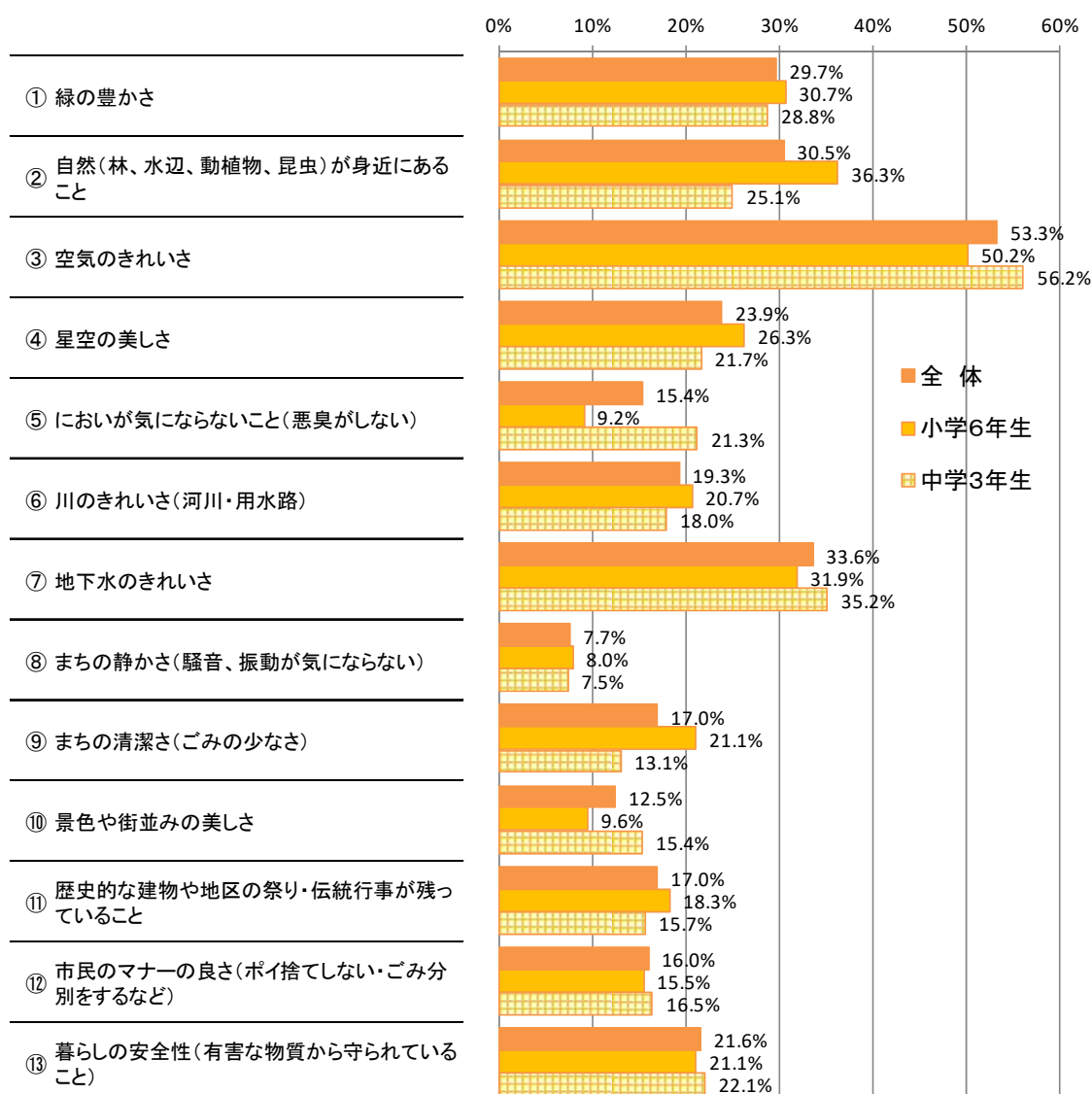
- ◆全体、小学6年生、中学3年生のいずれにおいても、「⑪地球環境問題」「⑦優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少」「⑧身近な自然や生き物の減少」の順に学習意欲が高い結果となった。
- ◆全ての項目において、小学6年生に比べ中学3年生の方が、学習意欲が低いという結果になった。
- ◆最も意欲が低いのは、「④自動車や工場などからの騒音・振動」となっている。



学校	集計	① 大気汚染	② 河川の水質汚濁	③ 下濁、地下水の水質汚濁、地下水位の低下	④ 自動車や工場などからの騒音・振動	⑤ 悪臭	⑥ 地盤沈下	⑦ 破壊、野生生物等の減少	⑧ 身近な自然や生き物の減少	⑨ 資源・エネルギーの枯渇	⑩ ごみ問題	⑪ 地球環境問題
全体	割合	33.6%	34.4%	50.8%	21.2%	29.0%	45.9%	58.3%	55.6%	31.5%	38.6%	59.7%
	回答数	174	178	263	110	150	238	302	288	163	200	309
小学6年生	割合	47.4%	44.2%	61.8%	26.3%	35.9%	57.8%	69.7%	65.7%	37.1%	44.2%	70.1%
	回答数	119	111	155	66	90	145	175	165	93	111	176
有終西小学校	割合	46.7%	33.3%	63.3%	20.0%	40.0%	70.0%	76.7%	63.3%	36.7%	40.0%	90.0%
	回答数	14	10	19	6	12	21	23	19	11	12	27
有終南小学校	割合	37.9%	43.9%	65.2%	31.8%	37.9%	68.2%	72.7%	71.2%	36.4%	47.0%	51.5%
	回答数	25	29	43	21	25	45	48	47	24	31	34
有終東小学校	割合	54.8%	50.0%	57.1%	26.2%	23.8%	50.0%	57.1%	64.3%	26.2%	35.7%	69.0%
	回答数	23	21	24	11	10	21	24	27	11	15	29
小山小学校	割合	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%
	回答数	1	3	3			1	4	4	2	2	4
乾側小学校	割合	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%
	回答数	2	2	1	2	1	3	2	1	2	2	2
下庄小学校	割合	56.6%	37.7%	73.6%	26.4%	34.0%	64.2%	69.8%	64.2%	41.5%	58.5%	79.2%
	回答数	30	20	39	14	18	34	37	34	22	31	42
上庄小学校	割合	52.0%	60.0%	52.0%	20.0%	40.0%	44.0%	60.0%	60.0%	36.0%	28.0%	64.0%
	回答数	13	15	13	5	10	11	15	15	9	7	16
阪谷小学校	割合	33.3%	16.7%	83.3%	33.3%	50.0%	33.3%	100.0%	66.7%	16.7%	16.7%	83.3%
	回答数	2	1	5	2	3	2	6	4	1	1	5
富田小学校	割合	41.2%	47.1%	41.2%	23.5%	52.9%	29.4%	76.5%	58.8%	47.1%	58.8%	82.4%
	回答数	7	8	7	4	9	5	13	10	8	10	14
和泉小学校	割合	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	60.0%	80.0%	60.0%	0.0%	60.0%
	回答数	2	2	1	1	2	2	3	4	3		3
中学3年生	割合	20.6%	25.1%	40.4%	16.5%	22.5%	34.8%	47.6%	46.1%	26.2%	33.3%	49.8%
	回答数	55	67	108	44	60	93	127	123	70	89	133
開成中学校	割合	20.6%	24.7%	48.5%	20.6%	23.7%	41.2%	56.7%	57.7%	33.0%	34.0%	46.4%
	回答数	20	24	47	20	23	40	55	56	32	33	45
陽明中学校	割合	25.0%	30.8%	44.2%	17.3%	26.9%	34.6%	43.3%	45.2%	24.0%	40.4%	53.8%
	回答数	26	32	46	18	28	36	45	47	25	42	56
上庄中学校	割合	7.7%	19.2%	30.8%	0.0%	15.4%	30.8%	34.6%	11.5%	11.5%	11.5%	30.8%
	回答数	2	5	8		4	8	9	3	3	3	8
尚徳中学校	割合	13.9%	13.9%	19.4%	16.7%	8.3%	22.2%	44.4%	41.7%	22.2%	27.8%	58.3%
	回答数	5	5	7	6	3	8	16	15	8	10	21
和泉中学校	割合	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	75.0%
	回答数	2	1			2	1	2	2	2	1	3

問4 居住地区の環境に対する重要度

- ◆大切にしたいと思う身近な環境として、全体、小学6年生、中学3年生のいずれにおいても「③空気のきれいさ」と回答する割合が最も高い結果となった。
- ◆重要度が低い結果となったのは、いずれの区分においても「⑧まちの静かさ（騒音・騒音）」となった。

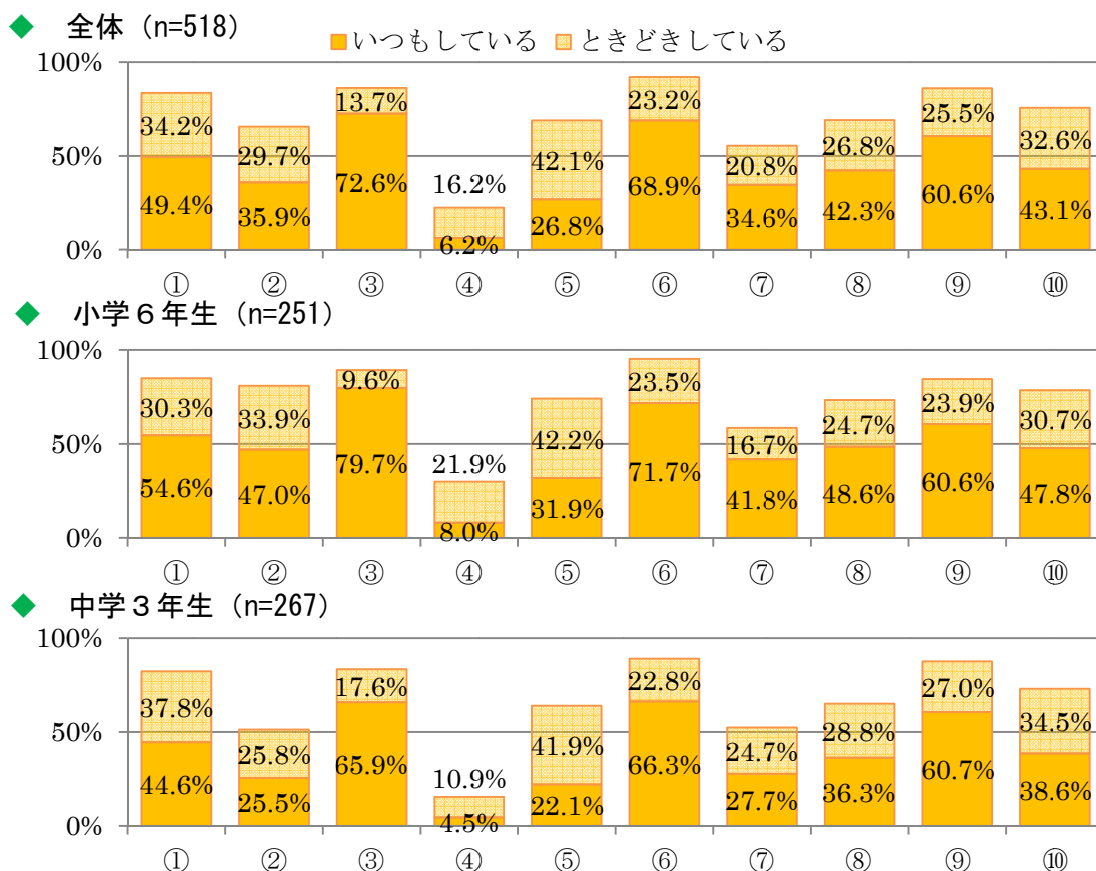


学 校	集 計	①緑の豊かさ	②自然が身近にあること	③空気のきれいさ	④星空の美しさ	⑤においが気にならないこと	⑥川のきれいさ	⑦地下水のきれいさ	⑧まちの静かさ	⑨まちの清潔さ	⑩景色や街並みの美しさ	⑪歴史的な建物や地区の祭り・伝統行事が残っていること	⑫市民のマナーの良さ	⑬暮らしの安全性
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全 体	割合	29.7%	30.5%	53.3%	23.9%	15.4%	19.3%	33.6%	7.7%	17.0%	12.5%	17.0%	16.0%	21.6%
	回答数	154	158	276	124	80	100	174	40	88	65	88	83	112
小学6年生	割合	30.7%	36.3%	50.2%	26.3%	9.2%	20.7%	31.9%	8.0%	21.1%	9.6%	18.3%	15.5%	21.1%
	回答数	77	91	126	66	23	52	80	20	53	24	46	39	53
有終西小学校	割合	16.7%	23.3%	50.0%	33.3%	6.7%	16.7%	33.3%	13.3%	23.3%	3.3%	26.7%	23.3%	20.0%
	回答数	5	7	15	10	2	5	10	4	7	1	8	7	6
有終南小学校	割合	24.2%	31.8%	51.5%	36.4%	13.6%	13.6%	36.4%	7.6%	18.2%	13.6%	24.2%	7.6%	21.2%
	回答数	16	21	34	24	9	9	24	5	12	9	16	5	14
有終東小学校	割合	26.2%	47.6%	40.5%	11.9%	11.9%	23.8%	28.6%	9.5%	26.2%	7.1%	7.1%	31.0%	28.6%
	回答数	11	20	17	5	5	10	12	4	11	3	3	13	12
小山小学校	割合	50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	回答数	2	2	3	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1
乾側小学校	割合	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%
	回答数	2	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1
下庄小学校	割合	35.8%	34.0%	58.5%	26.4%	5.7%	17.0%	34.0%	5.7%	24.5%	9.4%	18.9%	11.3%	18.9%
	回答数	19	18	31	14	3	9	18	3	13	5	10	6	10
上庄小学校	割合	44.0%	28.0%	52.0%	12.0%	4.0%	40.0%	44.0%	0.0%	20.0%	4.0%	24.0%	12.0%	16.0%
	回答数	11	7	13	3	1	10	11	0	5	1	6	3	4
阪谷小学校	割合	33.3%	100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
	回答数	2	6	2	3	0	2	1	0	0	0	1	0	1
富田小学校	割合	35.3%	41.2%	41.2%	11.8%	17.6%	29.4%	17.6%	23.5%	11.8%	23.5%	5.9%	23.5%	17.6%
	回答数	6	7	7	2	3	5	3	4	2	4	1	4	3
和泉小学校	割合	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	回答数	3	2	3	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1
中学3年生	割合	28.8%	25.1%	56.2%	21.7%	21.3%	18.0%	35.2%	7.5%	13.1%	15.4%	15.7%	16.5%	22.1%
	回答数	77	67	150	58	57	48	94	20	35	41	42	44	59
開成中学校	割合	24.7%	26.8%	54.6%	19.6%	19.6%	11.3%	39.2%	10.3%	14.4%	18.6%	17.5%	15.5%	27.8%
	回答数	24	26	53	19	19	11	38	10	14	18	17	15	27
陽明中学校	割合	30.8%	18.3%	59.6%	11.5%	23.1%	20.2%	39.4%	7.7%	15.4%	14.4%	16.3%	16.3%	21.2%
	回答数	32	19	62	12	24	21	41	8	16	15	17	17	22
上庄中学校	割合	19.2%	30.8%	61.5%	26.9%	23.1%	30.8%	38.5%	3.8%	7.7%	7.7%	15.4%	15.4%	19.2%
	回答数	5	8	16	7	6	8	10	1	2	2	4	4	5
尚徳中学校	割合	38.9%	36.1%	47.2%	50.0%	22.2%	22.2%	13.9%	2.8%	5.6%	16.7%	8.3%	16.7%	11.1%
	回答数	14	13	17	18	8	8	5	1	2	6	3	6	4
和泉中学校	割合	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%
	回答数	2	1	2	2	0	0	0	0	1	0	1	2	1

問5 取り組んでいる環境にやさしい行動

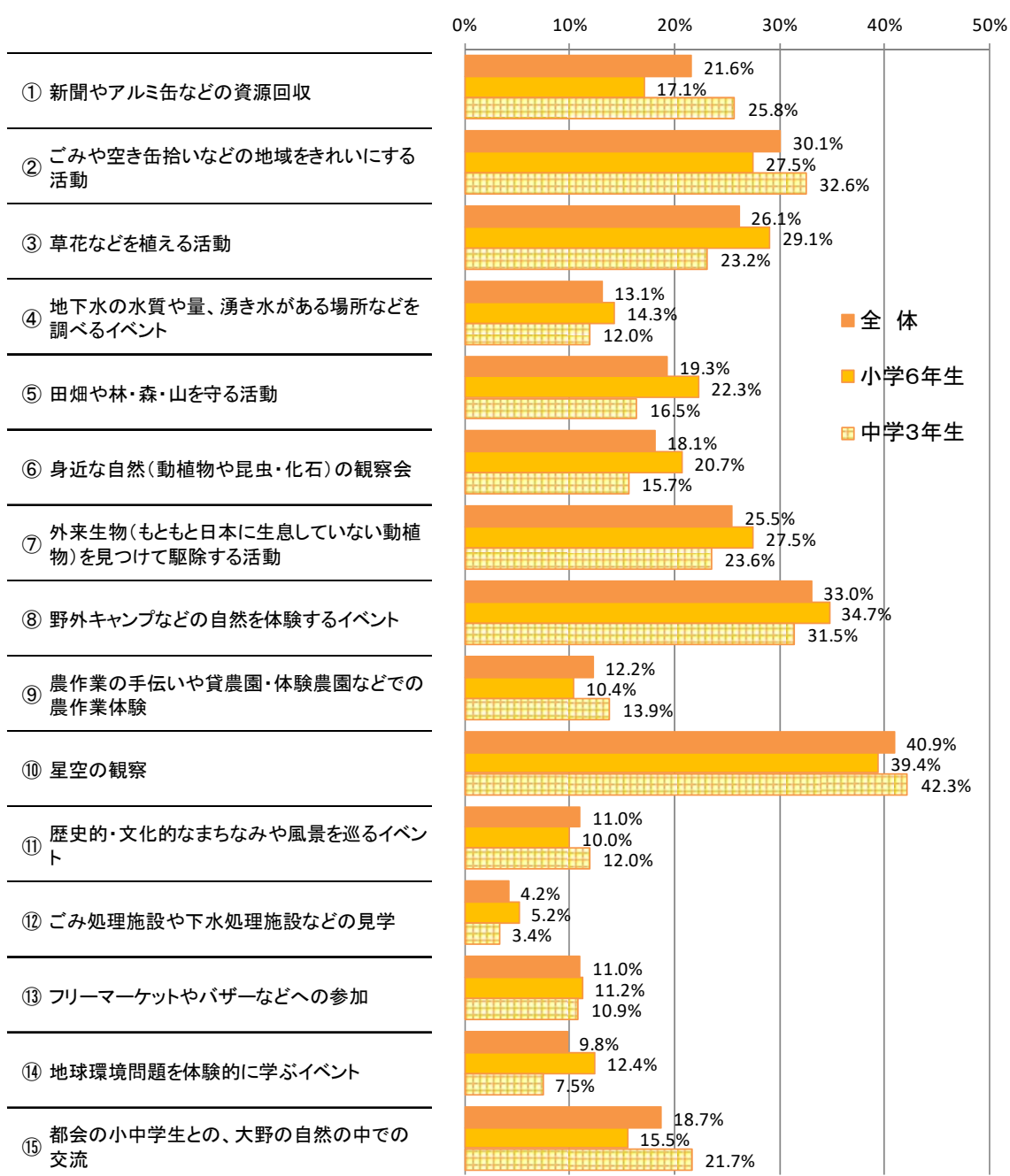
- ◆全体において、「いつもしている」「ときどきしている」を合わせた割合が70%を下回った項目は5つある。特に「④エコマーク付き商品等の優先購入」については、15~30%程度の低水準となっている。
- ◆「⑨消灯等による節電」以外は全て、小学6年生の方が中学3年生よりも取り組んでいる。

- ①蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、水のむだ使いをしないようにしている
- ②買い物では、マイバッグを持っていき、レジ袋を受け取らないようにしている
- ③空き缶やペットボトル、紙ごみなどは分別をして捨てる
- ④文房具などは、エコマークなどが付いている商品やリサイクル品など、環境にやさしい商品を選んで買っている
- ⑤川遊びやスキー、キャンプ、星空観察、自然観察などを通じて、大野の自然にふれあい、楽しんでいる
- ⑥食べ物は残さず食べる
- ⑦お菓子の空箱やメモ用紙などは分別し、燃やせるごみには出さない
- ⑧クーラーやエアコンの設定温度の下げすぎ（上げすぎ）はしない
- ⑨人のいない部屋の照明や見ていないテレビ等の家電はつけっぱなしにしない
- ⑩物は大切に修理して使う



問6 参加したい環境活動

- ◆全体、小学6年生、中学3年生のいずれにおいても、「⑩星空の観察」が最も参加したい環境活動という結果となった。
- ◆一方で、いずれの区分においても「⑫ごみ処理施設等の見学」が最も回答が少なかった。



学 校	集 計	① 新聞やアルミ缶などの資源回収	② ごみや空き缶拾いなどの地域をきれいにする活動	③ 草花などを植える活動	④ 地下水の水質や量、湧き水がある場所などを調べるイベント	⑤ 田畑や林・森・山を守る活動	⑥ 身近な自然（動植物や昆虫・化石）の観察会	⑦ 外来生物（もともと日本に生息していない動物）を見つけて駆除する活動	⑧ 野外キャンプなどの自然を体験するイベント	⑨ 農作業の手伝いや貸農園・体験農園などでの農作業体験	⑩ 星空の観察	⑪ 歴史的・文化的なまちなみや風景を巡るイベント	⑫ ごみ処理施設や下水処理施設などの見学	⑬ フリーマーケットやバザーなどへの参加	⑭ 地球環境問題を体験的に学ぶイベント	⑮ 都会の小中学生との、大野の自然の中で交流	無回答	合計
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全 体	割合	21.6%	30.1%	26.1%	13.1%	19.3%	18.1%	25.5%	33.0%	12.2%	40.9%	11.0%	4.2%	11.0%	9.8%	18.7%	5.2%	300%
	回答数	112	156	135	68	100	94	132	171	63	212	57	22	57	51	97	27	1,554
小学6年生	割合	17.1%	27.5%	29.1%	14.3%	22.3%	20.7%	27.5%	34.7%	10.4%	39.4%	10.0%	5.2%	11.2%	12.4%	15.5%	2.8%	300%
	回答数	43	69	73	36	56	52	69	87	26	99	25	13	28	31	39	7	753
有終西小学校	割合	10.0%	16.7%	20.0%	13.3%	26.7%	16.7%	26.7%	50.0%	16.7%	46.7%	16.7%	0.0%	10.0%	13.3%	16.7%	0.0%	300%
	回答数	3	5	6	4	8	5	8	15	5	14	5	0	3	4	5	0	90
有終南小学校	割合	6.1%	19.7%	25.8%	21.2%	16.7%	19.7%	42.4%	33.3%	3.0%	54.5%	16.7%	4.5%	13.6%	7.6%	15.2%	0.0%	300%
	回答数	4	13	17	14	11	13	28	22	2	36	11	3	9	5	10	0	198
有終東小学校	割合	28.6%	33.3%	42.9%	9.5%	28.6%	26.2%	7.1%	38.1%	14.3%	21.4%	4.8%	11.9%	7.1%	9.5%	16.7%	0.0%	300%
	回答数	12	14	18	4	12	11	3	16	6	9	2	5	3	4	7	0	126
小山小学校	割合	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	300%
	回答数	1	1	2	0	3	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	12
乾側小学校	割合	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	300%
	回答数	0	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	9
下庄小学校	割合	22.6%	37.7%	34.0%	13.2%	24.5%	17.0%	26.4%	22.6%	11.3%	37.7%	5.7%	3.8%	9.4%	13.2%	13.2%	7.5%	300%
	回答数	12	20	18	7	13	9	14	12	6	20	3	2	5	7	7	4	159
上庄小学校	割合	20.0%	44.0%	24.0%	20.0%	8.0%	20.0%	16.0%	36.0%	16.0%	32.0%	8.0%	8.0%	12.0%	8.0%	28.0%	0.0%	300%
	回答数	5	11	6	5	2	5	4	9	4	8	2	2	3	2	7	0	75
阪谷小学校	割合	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	66.7%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	300%
	回答数	1	0	1	1	2	3	4	2	0	1	1	0	1	1	0	0	18
富田小学校	割合	29.4%	5.9%	23.5%	5.9%	23.5%	23.5%	17.6%	41.2%	5.9%	41.2%	0.0%	5.9%	17.6%	23.5%	17.6%	17.6%	300%
	回答数	5	1	4	1	4	4	3	7	1	7	0	1	3	4	3	3	51
和泉小学校	割合	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	300%
	回答数	0	3	0	0	1	1	3	3	0	1	0	0	0	3	0	0	15
中学3年生	割合	25.8%	32.6%	23.2%	12.0%	16.5%	15.7%	23.6%	31.5%	13.9%	42.3%	12.0%	3.4%	10.9%	7.5%	21.7%	7.5%	300%
	回答数	69	87	62	32	44	42	63	84	37	113	32	9	29	20	58	20	801
開成中学校	割合	19.6%	32.0%	26.8%	14.4%	17.5%	15.5%	22.7%	29.9%	18.6%	46.4%	13.4%	3.1%	8.2%	9.3%	19.6%	3.1%	300%
	回答数	19	31	26	14	17	15	22	29	18	45	13	3	8	9	19	3	291
陽明中学校	割合	24.0%	34.6%	23.1%	11.5%	18.3%	14.4%	24.0%	32.7%	9.6%	33.7%	14.4%	4.8%	14.4%	6.7%	20.2%	13.5%	300%
	回答数	25	36	24	12	19	15	25	34	10	35	15	5	15	7	21	14	312
上庄中学校	割合	23.1%	15.4%	15.4%	11.5%	7.7%	15.4%	34.6%	42.3%	23.1%	50.0%	11.5%	3.8%	11.5%	3.8%	30.8%	0.0%	300%
	回答数	6	4	4	3	2	4	9	11	6	13	3	1	3	1	8	0	78
尚徳中学校	割合	47.2%	41.7%	13.9%	8.3%	16.7%	19.4%	16.7%	27.8%	8.3%	52.8%	2.8%	0.0%	8.3%	8.3%	19.4%	8.3%	300%
	回答数	17	15	5	3	6	7	6	10	3	19	1	0	3	3	7	3	108
和泉中学校	割合	50.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	300%
	回答数	2	1	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	12

問6 大野のお気に入りの場所や風景

- ◆小学6年生のお気に入りの場所や風景、自慢できる自然としては、「大野城」「イトヨの里」「御清水」の順で回答があった。
- ◆中学3年生では、「六呂師高原」「御清水」「大野城」の順となった。

ランキング（全体 n=664）			ランキング（小学6年 n=431）			ランキング（中学3年 n=233）		
1	大野城	n=77	1	大野城	n=60	1	六呂師高原	n=26
2	イトヨの里	n=62	2	イトヨの里	n=53	2	御清水	n=18
3	御清水	n=51	3	御清水	n=33	3	大野城	n=17
4	六呂師高原	n=45	4	六呂師高原	n=19	4	亀山	n=15
5	ふれあい公園	n=28	5	ふれあい公園	n=17	5	ふれあい公園	n=11
						5	大野城からのながめ	n=11

◆ 「大野城」を選んだ理由（主なもの）

- （美しさ） きれいで眺めていてとても気持ちいい/ライトアップがきれい/とてもきれいだから観光客や大野市に住んでいる人にも見に行してほしい/
- （自然環境） 自然が豊かで空気がきれいだから/木の中に光が差し込んだ時の、キラキラしたところが好きだから/木がいっぱいあるから。のほりやすい/景色がキレイで生き物がたくさんいるから
- （シンボル） 大野のシンボルだから/大野の宝物の1つだから/
- （天空の城） とても美しい天空の城といわれているから/天空の城として有名だから/
- （眺望） 大野城からの眺める景色がきれいだから/市全体が見えるから/登った時に上からみた大野の町並みがきれいだから/上から見る景色がきれい。夜景も！天空の城 good！/
- （歴史） 歴史があるから/大野の古くからの伝統や歴史を知ることができるから/歴史を感じる事ができるから/

◆ 「イトヨの里」を選んだ理由（主なもの）

- （学習・観察） イトヨを学べるから/イトヨを観察できるから/イトヨが見れて楽しい/沢山のイトヨを見れるから/イトヨやいろんな生き物が見れるから/保育園の時にほぼ毎日いたから/
- （イトヨ） イトヨがかわいいから/イトヨがいっぱいて楽しいから/絶滅危惧種だけ大野にいるから/
- （本願清水） イトヨがいるという事は水がキレイな証だから/おいしいから
- （その他） 自然を楽しめて遊べるスペースがある/イトヨを観察できるし、ザリガニ釣りもできるから/

◆ 「御清水」を選んだ理由（主なもの）

- （おいしい・きれい） きれいで冷たくておいしいから/きれいで美しい水が飲めるから/私たちが遊んでいるときにお茶がなくなると御清水に水を汲みに行って助かるから/水が冷たくておいしいから。涼めるから/水がきれいだし心がすっきりするところだから/
- （名水） 名水百選に選ばれているから/大野じまんだから/
- （その他） 観光客が飲んでくれる/冷たくて、のむと元気が出る/部活帰りに水あそびしたり、飲んだりすると気持ちいいから/

◆ 「六呂師高原」を選んだ理由（主なもの）

- （星空） 星空がとてもきれいだから/周りが暗くて星がよりきれいに見えるから/星を見に行くのが好きだから/星空を観察できるから/
- （自然・景色） 山らかのながめが最高だから/牛とか動物がいたり自然豊かだったり、自然を満喫できるから/動物いっぱい。草原めっちゃきもちい/動物などの自然を身近に感じられるから/
- （その他） スキーもできるし、アイスも作れる/ソフトクリームがおいしいから

分類	総数	大野城・亀山					
お気に入り		大野城	亀山	大野城からのながめ	亀山からのながめ	大野城の頂上	大野城へ向かう途中の道
全体	664	77	27	15	15	3	1
小学6年生	431	60	12	4	7	2	1
中学3年生	233	17	15	11	8	1	

分類	水								
お気に入り	イトヨの里	御清水	水	清水	中野清水	地下水	善景公園	天狗岩	湧水地
全体	62	51	23	6	6	2	2	1	1
小学6年生	53	33	17	4	5				1
中学3年生	9	18	6	2	1	2	2	1	

分類	自然									
お気に入り	六呂師高原	ふれあい公園	勝原	スキー場	山々	家・近所の自然	九頭竜	六呂師自然保護センター	越前大野	刈込池
全体	45	28	15	11	10	9	8	7	4	4
小学6年生	19	17	7	7	7	7	6	6	2	2
中学3年生	26	11	8	4	3	2	2	1	2	2

分類	自然										
お気に入り	宝慶寺	スターランドさかだに	四季	黒谷	森	自然	青少年自然の家	パークホテル	空	空気	
全体	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	
小学6年生	3	2	2	1	3	1	2	1	1	1	
中学3年生	1	1	1	2		2		1	1	1	

分類	自然										
お気に入り	白山神社	アジメドジョウ	麻生嶋の牛	キャンプ場	円山公園ミニ動物園	吉野公園	平家平付近	鳥の営巣地	野鳥レストラン	弥生公園	
全体	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
小学6年生	2		1		1	1	1	1			
中学3年生		1		1					1	1	

分類	自然					星空				
お気に入り	柳神社	蔵生のねこ島	中丁のがけの上	中島キャンプ場	動物	六呂師からの星空	星空・夜空	家・近所からのながめ	大矢戸天文台	プラネタリウム
全体	1	1	1	1	1	16	9	3	1	1
小学6年生		1		1	1	10	5	2	1	1
中学3年生	1		1			6	4	1		

分類	景色									
お気に入り	田んぼ	犬山からのながめ	高い所からの眺望	阪谷から見える景色	越前北線から見たながめ	九頭竜	不動堂のふな石	野村醤油の庭	夕焼け	
全体	10	4	3	3	2	1	1	1	1	
小学6年生	8	4	3	3	2	1	1	1	1	
中学3年生	2									

分類	川										
お気に入り	真名川	川	九頭竜川	赤根川	真名川グラウンド	真名姫湖	九頭竜湖	飯降の川	木瓜川	近所の川	
全体	16	7	6	3	2	2	2	1	1	1	
小学6年生	7	3	6		1	1	1	1	1	1	
中学3年生	9	4		3	1	1	1				

分類	川			山			ホテル		
お気に入り	小矢戸の川	清滝川	荒島岳	山々	飯降山	犬山	ホテル	下丁	川
全体	1	1	7	4	4	3	7	1	1
小学6年生		1	5	2	2		6		1
中学3年生	1		2	2	2	3	1	1	

分類	文化										
お気に入り	朝市	寺町通り	あっ宝んど	学校	七間通り	権座神社	神社	里いも畑	黒谷観音	真名川花火大会	
全体	7	6	4	4	3	3	3	3	2	2	
小学6年生	5	4	3	3	2	2	3	3	1	2	
中学3年生	2	2	1	1	1	1			1		

分類	文化										
お気に入り	道	六間通り	平成の湯	HOROSSA!	うらら館	ぎょうにん岩	巨人の壁 上黒谷のなだれ防止の壁	結楽座	菫蒲池の白山神社	大野市図書館	
全体	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
小学6年生	2			1	1		1	1		1	
中学3年生		1	1			1			1		

分類	文化					芝桜	
お気に入り	大野市歴史博物館	大野図書館の近くにあるステージの裏	道の駅九頭竜	平蔵	だんご	芝桜	右近次郎公園
全体	1	1	1	1	1	8	1
小学6年生	1		1	1	1	4	
中学3年生		1				4	1

市民アンケートと
小学生・中学生アンケートの
集計結果の比較

1. 環境問題（全般）に対する関心度

- ◆地球環境問題は、すべての学年・年齢で関心度が高かった。
- ◆小学6年生、中学3年生では、自然や生き物に対する関心が高い。年齢が高くなるにつれて、ごみ問題や地下水関係など生活に直結する項目に対する関心が高い。
- ◆騒音・振動問題は、全ての学年・年齢で関心度が低かった。

※市民向けアンケートと小中学生向けアンケートの差異

- ・市民向け ①～⑩の環境問題ごとに「1 関心ある」「2 少しある」「3 あまりない」「4 ない」のいずれかを選択。

関心度（％）＝各年齢・各問題の「1 関心ある」の回答数を各年齢の回答者数で割った値

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ①大気汚染 | ②河川の水質汚濁 |
| ③地下水の水質汚濁、地下水位の低下 | ④自動車や工場などからの騒音・振動 |
| ⑤悪臭、地盤沈下、土壤汚染 | ⑥優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少 |
| ⑦身近な自然や生き物の減少 | ⑧資源・エネルギーの枯渇 |
| ⑨ごみ問題 | ⑩地球環境問題 |

- ・小中学生向け ①～⑪の環境問題ごとに「知りたい・学びたい」かどうかを選択。

関心度（％）＝各学年・各問題の「知りたい・学びたい」の回答数を各学年の回答者数で割った値

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①大気汚染 | ②河川の水質汚濁 |
| ③地下水の水質汚濁、地下水位の低下 | ④自動車や工場などからの騒音・振動 |
| ⑤悪臭 | ⑥地盤沈下 |
| ⑦優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少 | ⑧身近な自然や生き物の減少 |
| ⑨資源・エネルギーの枯渇 | ⑩ごみ問題 |
| ⑪地球環境問題 | |

◆ 小学6年生（n=251）

関心の高い 上位3項目		関心の低い 下位3項目	
1	⑩ 地球環境問題	1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑦ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少	2	⑤ 悪臭
3	⑧ 身近な自然や生き物の減少	3	⑨ 資源・エネルギーの枯渇

◆ 中学3年生（n=267）

関心の高い 上位3項目		関心の低い 下位3項目	
1	⑩ 地球環境問題	1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑦ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少	2	① 大気汚染
3	⑧ 身近な自然や生き物の減少	3	⑤ 悪臭

◆ 16～19歳（n=51）

関心の高い 上位3項目		関心の低い 下位3項目	
1	⑩ 地球環境問題	1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑨ ごみ問題	2	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
3	① 大気汚染	3	⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染

◆ 20～29 歳 (n=45)

関心の高い 上位3項目	
1	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
2	② 河川の水質汚濁 ⑨ ごみ問題

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染
3	⑧ 資源・エネルギーの枯渇

◆ 30～39 歳 (n=60)

関心の高い 上位3項目	
1	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下 ⑩ 地球環境問題
2	② 河川の水質汚濁 ⑨ ごみ問題

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少
3	① 大気汚染 ⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染 ⑧ 資源・エネルギーの枯渇

◆ 40～49 歳 (n=73)

関心の高い 上位3項目	
1	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
2	① 大気汚染 ⑩ 地球環境問題

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染 ⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少

◆ 50～59 歳 (n=80)

関心の高い 上位3項目	
1	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
2	⑩ 地球環境問題
3	⑨ ごみ問題

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少
3	⑧ 資源・エネルギーの枯渇

◆ 60～69 歳 (n=98)

関心の高い 上位3項目	
1	⑨ ごみ問題
2	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
3	⑩ 地球環境問題

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少
3	⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染

◆ 70～79 歳 (n=100)

関心の高い 上位3項目	
1	⑨ ごみ問題
2	⑩ 地球環境問題
3	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下

関心の低い 下位3項目	
1	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
2	⑤ 悪臭、地盤沈下、土壤汚染 ⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少

◆ 80 歳以上 (n=57)

関心の高い 上位3項目	
1	③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下
2	⑩ 地球環境問題
3	⑨ ごみ問題

関心の低い 下位3項目	
1	⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少
2	④ 自動車や工場などからの騒音・振動
3	⑧ 資源・エネルギーの枯渇

学年	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
		大気汚染	河川の水質汚濁	地下水の水質汚濁、地下水位の低下	自動車や工場などからの騒音・振動	悪臭	地盤沈下	優れた自然環境の破少、野生生物等の減少	身近な自然や生き物の減少	資源・エネルギーの枯渇	ごみ問題	地球環境問題
全体 (n=518)	割合	33.6%	34.4%	50.8%	21.2%	29.0%	45.9%	58.3%	55.6%	31.5%	38.6%	59.7%
	回答数	174	178	263	110	150	238	302	288	163	200	309
小学6年生 (n=251)	割合	47.4%	44.2%	61.8%	26.3%	35.9%	57.8%	69.7%	65.7%	37.1%	44.2%	70.1%
	回答数	119	111	155	66	90	145	175	165	93	111	176
中学3年生 (n=267)	割合	20.6%	25.1%	40.4%	16.5%	22.5%	34.8%	47.6%	46.1%	26.2%	33.3%	49.8%
	回答数	55	67	108	44	60	93	127	123	70	89	133

年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		大気汚染	河川の水質汚濁	地下水の水質汚濁、地下水位の低下	自動車や工場などからの騒音・振動	悪臭、地盤沈下、土壌汚染	優れた自然環境の破少、野生生物等の減少	身近な自然や生き物の減少	資源・エネルギーの枯渇	ごみ問題	地球環境問題	
全体 (n=576)	割合	42.0%	45.0%	52.6%	13.2%	28.3%		27.6%	35.6%	32.1%	51.6%	52.4%
	回答数	242	259	303	76	163		159	205	185	297	302
16～19歳 (n=51)	割合	35.3%	25.5%	19.6%	11.8%	19.6%		25.5%	23.5%	31.4%	39.2%	47.1%
	回答数	18	13	10	6	10		13	12	16	20	24
20～29歳 (n=45)	割合	28.9%	40.0%	44.4%	13.3%	24.4%		35.6%	37.8%	26.7%	40.0%	37.8%
	回答数	13	18	20	6	11		16	17	12	18	17
30～39歳 (n=60)	割合	26.7%	38.3%	45.0%	10.0%	26.7%		21.7%	33.3%	26.7%	38.3%	45.0%
	回答数	16	23	27	6	16		13	20	16	23	27
40～49歳 (n=73)	割合	49.3%	46.6%	53.4%	13.7%	23.3%		23.3%	32.9%	30.1%	45.2%	49.3%
	回答数	36	34	39	10	17		17	24	22	33	36
50～59歳 (n=80)	割合	43.8%	48.8%	62.5%	15.0%	36.3%		31.3%	38.8%	35.0%	53.8%	56.3%
	回答数	35	39	50	12	29		25	31	28	43	45
60～69歳 (n=98)	割合	53.1%	56.1%	61.2%	11.2%	35.7%		34.7%	38.8%	45.9%	66.3%	59.2%
	回答数	52	55	60	11	35		34	38	45	65	58
70～79歳 (n=100)	割合	51.0%	50.0%	58.0%	12.0%	28.0%		28.0%	42.0%	31.0%	63.0%	61.0%
	回答数	51	50	58	12	28		28	42	31	63	61
80歳以上 (n=57)	割合	31.6%	42.1%	64.9%	19.3%	26.3%		15.8%	28.1%	21.1%	50.9%	52.6%
	回答数	18	24	37	11	15		9	16	12	29	30

2. 居住地区の環境に対する重要度

- ◆「空気のきれいさ」「地下水のきれいさ」は、全ての学年・年齢で重要度が高かった。特に「空気のきれいさ」は、小中学生において50%を超える結果となっている。
- ◆小中学生も含めた若い世代では、「緑の豊かさ」「身近な自然への親しみやすさ」に対する重要度が高い。
- ◆一方で、「市民のマナーの良さ」は、小中学生では15%程度であったのに対し、40代から70代において25%強が重要であると回答している。

※市民向けアンケートと小中学生向けアンケートの差異

- ・市民向け ①～⑬の環境項目の中で特に重要と思われるもの3つを選択。

重要度(%) = 各年齢・各項目の回答数を各年齢の回答者数で割った値

- ・小中学生向け ①～⑬の環境項目の中で特に大切にしたいと思うもの3つを選択。

重要度(%) = 各学年・各項目の回答数を各学年の回答者数で割った値

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| ① 緑の豊かさ | ② 身近な自然への親しみやすさ | ③ 空気のきれいさ |
| ④ 星空の美しさ | ⑤ においが気にならないこと | ⑥ 川のきれいさ |
| ⑦ 地下水のきれいさ | ⑧ まちの静かさ | ⑨ まちの清潔さ |
| ⑩ 景色や街並みの美しさ | ⑪ 歴史・文化との接しやすさ | ⑫ 市民のマナーの良さ |
| ⑬ 暮らしの安全性 | | |

◆ 小学6年生 (n=251)

重要度の高い 上位3項目		重要度の低い 下位3項目	
1	③ 空気のきれいさ	1	⑧ まちの静かさ
2	⑦ 地下水のきれいさ	2	⑤ においが気にならないこと
3	② 身近な自然への親しみやすさ	3	⑩ 景色や街並みの美しさ

◆ 中学3年生 (n=267)

重要度の高い 上位3項目		重要度の低い 下位3項目	
1	③ 空気のきれいさ	1	⑧ まちの静かさ
2	⑦ 地下水のきれいさ	2	⑨ まちの清潔さ
3	① 緑の豊かさ	3	⑩ 景色や街並みの美しさ

◆ 16～19歳 (n=51)

重要度の高い 上位3項目		重要度の低い 下位3項目	
1	③ 空気のきれいさ	1	⑪ 歴史・文化との接しやすさ
2	⑦ 地下水のきれいさ	2	⑬ 暮らしの安全性
3	① 緑の豊かさ	3	⑥ 川のきれいさ

◆ 20～29歳 (n=45)

重要度の高い 上位3項目		重要度の低い 下位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ	1	⑬ 暮らしの安全性
2	③ 空気のきれいさ	2	⑩ 景色や街並みの美しさ
3	② 身近な自然への親しみやすさ		⑪ 歴史・文化との接しやすさ

◆ 30～39 歳 (n=60)

重要度の高い 上位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ
2	③ 空気のきれいさ
3	① 緑の豊かさ

重要度の低い 下位3項目	
1	⑧ まちの静かさ ⑪ 歴史・文化との接しやすさ
2	⑩ 景色や街並みの美しさ

◆ 40～49 歳 (n=73)

重要度の高い 上位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ
2	③ 空気のきれいさ
3	⑫ 市民のマナーの良さ

重要度の低い 下位3項目	
1	⑪ 歴史・文化との接しやすさ
2	⑧ まちの静かさ ⑬ 暮らしの安全性

◆ 50～59 歳 (n=80)

重要度の高い 上位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ
2	③ 空気のきれいさ
3	⑥ 川のきれいさ

重要度の低い 下位3項目	
1	⑧ まちの静かさ
2	⑪ 歴史・文化との接しやすさ
3	④ 星空の美しさ ⑤ においが気にならないこと

◆ 60～69 歳 (n=98)

重要度の高い 上位3項目	
1	③ 空気のきれいさ
2	⑥ 川のきれいさ
3	⑦ 地下水のきれいさ

重要度の低い 下位3項目	
1	⑧ まちの静かさ
2	⑤ においが気にならないこと ④ 星空の美しさ
3	⑩ 景色や街並みの美しさ ⑪ 歴史・文化との接しやすさ

◆ 70～79 歳 (n=100)

重要度の高い 上位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ
2	③ 空気のきれいさ
3	⑥ 川のきれいさ

重要度の低い 下位3項目	
1	⑤ においが気にならないこと
2	⑧ まちの静かさ ⑪ 歴史・文化との接しやすさ

◆ 80 歳以上 (n=57)

重要度の高い 上位3項目	
1	⑦ 地下水のきれいさ
2	⑥ 川のきれいさ
3	③ 空気のきれいさ

重要度の低い 下位3項目	
1	④ 星空の美しさ
2	⑧ まちの静かさ
3	⑪ 歴史・文化との接しやすさ

学年	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
		緑の豊かさ	身近な自然への親しみやすさ	空気のきれいさ	星空のきれいさ	⑤ ないが 気が なら	川のきれいさ	地下水のきれいさ	まちの静かさ	まちの清潔さ	景色や街並みの美しさ	歴史・文化との接しやすさ	市民のマナーの良さ	暮らしの安全性
全体 (n=518)	割合	29.7%	30.5%	53.3%	23.9%	15.4%	19.3%	33.6%	7.7%	17.0%	12.5%	17.0%	16.0%	21.6%
	回答数	154	158	276	124	80	100	174	40	88	65	88	83	112
小学6年生 (n=251)	割合	30.7%	36.3%	50.2%	26.3%	9.2%	20.7%	31.9%	8.0%	21.1%	9.6%	18.3%	15.5%	21.1%
	回答数	77	91	126	66	23	52	80	20	53	24	46	39	53
中学3年生 (n=267)	割合	28.8%	25.1%	56.2%	21.7%	21.3%	18.0%	35.2%	7.5%	13.1%	15.4%	15.7%	16.5%	22.1%
	回答数	77	67	150	58	57	48	94	20	35	41	42	44	59

年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
全体 (n=576)	割合	21.7%	15.5%	35.1%	11.6%	10.2%	25.0%	38.4%	7.8%	14.6%	10.9%	7.8%	24.1%	14.6%
	回答数	125	89	202	67	59	144	221	45	84	63	45	139	84
16～19歳 (n=51)	割合	31.4%	15.7%	47.1%	15.7%	17.6%	13.7%	39.2%	17.6%	15.7%	15.7%	7.8%	17.6%	9.8%
	回答数	16	8	24	8	9	7	20	9	8	8	4	9	5
20～29歳 (n=45)	割合	17.8%	28.9%	31.1%	17.8%	13.3%	17.8%	44.4%	13.3%	15.6%	11.1%	11.1%	24.4%	6.7%
	回答数	8	13	14	8	6	8	20	6	7	5	5	11	3
30～39歳 (n=60)	割合	25.0%	13.3%	38.3%	11.7%	13.3%	11.7%	40.0%	3.3%	10.0%	5.0%	3.3%	23.3%	20.0%
	回答数	15	8	23	7	8	7	24	2	6	3	2	14	12
40～49歳 (n=73)	割合	20.5%	16.4%	32.9%	16.4%	12.3%	23.3%	41.1%	6.8%	19.2%	13.7%	4.1%	24.7%	6.8%
	回答数	15	12	24	12	9	17	30	5	14	10	3	18	5
50～59歳 (n=80)	割合	17.5%	13.8%	33.8%	10.0%	10.0%	27.5%	37.5%	7.5%	12.5%	13.8%	8.8%	25.0%	18.8%
	回答数	14	11	27	8	8	22	30	6	10	11	7	20	15
60～69歳 (n=98)	割合	23.5%	14.3%	36.7%	10.2%	5.1%	34.7%	33.7%	4.1%	20.4%	10.2%	10.2%	28.6%	17.3%
	回答数	23	14	36	10	5	34	33	4	20	10	10	28	17
70～79歳 (n=100)	割合	19.0%	18.0%	36.0%	11.0%	7.0%	28.0%	42.0%	9.0%	11.0%	10.0%	9.0%	25.0%	14.0%
	回答数	19	18	36	11	7	28	42	9	11	10	9	25	14
80歳以上 (n=57)	割合	24.6%	7.0%	29.8%	1.8%	8.8%	31.6%	33.3%	3.5%	12.3%	8.8%	5.3%	22.8%	14.0%
	回答数	14	4	17	1	5	18	19	2	7	5	3	13	8

資料（調査票）

1. 調査票「市民アンケート」

環境に関する市民アンケート調査票

◆あなたご自身のことについてお聞きます。

問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 男 2 女

問2 あなたはおいくつですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 20歳未満 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～79歳 8 80歳以上

問3 あなたがお住まいになっている地区はどちらですか。あてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大野地区 2 下庄地区 3 乾棚地区 4 小山地区 5 上庄地区 6 富田地区
7 阪谷地区 8 五箇地区 9 和泉地区

◆あなたの環境問題に対する意識についてお聞きます。

問4 あなたは、どのような環境問題に関心がありますか。すべての項目について、「関心度」欄の該当する数字に○を、「重要度」欄にそれぞれ項目のうち、特に重要と思われるもの3つに○をつけてください。

	関心度		①～⑩の中で特に重要と思われるものを3つ選び「○」を付けてください
	ある	少しある あまりない	
① 大気汚染(硫黄酸化物、PM2.5など)	1	2 3 4	
② 河川の水質汚濁	1	2 3 4	
③ 地下水の水質汚濁、地下水位の低下	1	2 3 4	
④ 自動車や工事などからの騒音・振動	1	2 3 4	
⑤ 悪臭、地盤沈下、土壌汚染	1	2 3 4	
⑥ 優れた自然環境の破壊、野生生物や希少な動植物、昆虫の減少	1	2 3 4	
⑦ 身近な地域における自然や生き物(蜜やメダカなど)の減少	1	2 3 4	
⑧ 資源・エネルギーの枯渇	1	2 3 4	
⑨ ごみ問題(ごみの増加、不法投棄、食品ロス、海浜ごみ、不適正処理など)	1	2 3 4	
⑩ 地球温暖化問題(地球温暖化、酸性雨など)	1	2 3 4	
⑪ その他	1	2 3 4	

問5 あなたが、地球規模の環境問題にどの程度の関心を持っているかお聞きます。すべての項目について、該当する数字に○をつけてください。

	関心度			
	ある	少しある	あまりない	ない
① 地球温暖化が進んでいること	1	2 3 4		
② フロンなどによってオゾン層が破壊されていること	1	2 3 4		
③ 大気汚染などによって酸性雨の問題が起きていること	1	2 3 4		
④ 伐採などによって森林(特に熱帯林)が減少していること	1	2 3 4		
⑤ 砂漠化が急激に進んでいること	1	2 3 4		
⑥ 野生生物が絶滅または減少していること	1	2 3 4		
⑦ 有害物質などによって海洋が汚染されていること	1	2 3 4		
⑧ 有害な廃棄物が国境を越えて移動していること	1	2 3 4		
⑨ 開発途上国の環境問題が深刻になっていること	1	2 3 4		

問6 あなたのお住まいの周辺環境についてお聞きます。

すべての項目について、「満足度」欄の該当する数字に○を、「重要度」欄にそれぞれ項目のうち、特に重要と思われるもの3つに○をつけてください。

	満足度				①～⑩の中で特に重要と思われるものを3つ選び「○」を付けてください
	満足	ほぼ満足	やや不満足	不満足	
① 緑の豊かさ	1	2 3 4			
② 身近な自然(里山、水辺、動植物)への親しみやすさ	1	2 3 4			
③ 空気のきれいさ	1	2 3 4			
④ 星空の美しさ	1	2 3 4			
⑤ においが気にならないこと(悪臭がしない)	1	2 3 4			
⑥ 川のきれいさ(河川・用水路)	1	2 3 4			
⑦ 地下水のきれいさ	1	2 3 4			
⑧ まらの静かさ(騒音、振動が気にならない)	1	2 3 4			
⑨ まらの清潔さ(ごみの少なさ)	1	2 3 4			
⑩ 景色や街並みの美しさ	1	2 3 4			
⑪ 歴史・文化との接しやすさ(歴史的な建築物等に接する機会、地区の祭り・伝統行事などにふれあう機会)	1	2 3 4			
⑫ 市民のマナーの良さ(ホウチンなど)	1	2 3 4			
⑬ 暮らしの安全性(災害リスクや環境ホルモンなど)	1	2 3 4			

◆あなたの日常生活における取り組みについてお聞きします。
 問7 あなたは普段の生活の中で、環境にやさしい行動にどれくらい取り組んでいますか。
 すべての項目について、「取り組み状況」欄の該当する数字に○をつけてください。
 また、「3」どちらかといえば取り組んでいない」「4」取り組んでいないのいずれかに○をつけ
 た場合は、「理由欄」に、その理由を選んで番号を記入してください。

【取り組んでいない、どちらかといえば取り組んでいない理由】

- 1 生活の便利さ・快適さがなくなるから
- 2 費用がかかるから
- 3 手間や時間がかかるから
- 4 必要だと感がないから、効果に疑問があるから
- 5 取り組む機会がないから、該当しないから
- 6 取り組み方がわからないから
- 7 理由はないが特に気にかけていないから
- 8 その他

【水・地下水・湧水・河川の保全】

	取り組み状況				理由 3 4 を選んだ
	取り組んでいない	どちらかといえば	取り組んでいない	取り組んでいない	
① 蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、節水を中心がけている	1	2	3	4	⇒
② 洗濯機やトイレなどは節水型のもを使用している	1	2	3	4	⇒
③ 風呂には、地下水を使用しない	1	2	3	4	⇒
④ 水切りネットを使用したり拭き取るなどし、こみや調味料、油などを排水口に直接流さない	1	2	3	4	⇒
⑤ 下水道に接続している、又は、合併処理浄化槽を設置している	1	2	3	4	⇒
⑥ 家庭からの排水が流れ込む水路や汚水マスを点検している	1	2	3	4	⇒
⑦ 用水や水路の清掃活動に参加している	1	2	3	4	⇒
⑧ 湧水地や河川環境に適合するイベントや保全活動に参加している	1	2	3	4	⇒

【ごみ減量・循環型社会構築】

① ごみ缶正しく分別し、牛乳パックやペットボトルなどはスーパーなどのリサイクルに回している	1	2	3	4	⇒
② マイバッグ等を持ち出し、レジ袋を要取らないようにしている	1	2	3	4	⇒
③ 詰め替え商品やリサイクル製品、繰り返し使用できる製品を購入して購入している	1	2	3	4	⇒
④ エコマークなど環境に配慮した製品を選んでいる	1	2	3	4	⇒
⑤ 家庭では食品の買いすぎや作りすぎをしない、外食では食べ残さないこと、食品ロス(※)の発生を抑制している	1	2	3	4	⇒
⑥ お菓子の空箱やチラシ、メモ用紙などの端がみは分別して、燃やせるごみには出さないようにしている	1	2	3	4	⇒
⑦ 不用になつたものは安売りに譲渡せず、知人、友人などに譲るようになっている	1	2	3	4	⇒
⑧ 資源回収活動などに積極的に参加している	1	2	3	4	⇒

※食品ロス：本来食べられるのに捨てられしてしまう食品

【取り組んでいない、どちらかといえば取り組んでいない理由】

- 1 生活の便利さ・快適さがなくなるから
- 2 費用がかかるから
- 3 手間や時間がかかるから
- 4 必要だと感がないから、効果に疑問があるから
- 5 取り組む機会がないから、該当しないから
- 6 取り組み方がわからないから
- 7 理由はないが特に気にかけていないから
- 8 その他

すべての項目について、「取り組み状況」欄の該当する数字に○をつけてください。
 また、「3」どちらかといえば取り組んでいない」「4」取り組んでいないのいずれかに○をつけた場合は、「理由欄」に、その理由を選んで番号を記入してください。

【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】

① 冷暖房の温度設定や不要な照明の消灯などにより、節電を中心がけている	1	2	3	4	⇒
② 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	1	2	3	4	⇒
③ ハイブリッドカーや電気自動車などのエコドライブを実践している	1	2	3	4	⇒
④ ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している	1	2	3	4	⇒
⑤ 家電等を購入する際には、省エネ型などの環境性能の良い商品を選ぶ	1	2	3	4	⇒
⑥ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している	1	2	3	4	⇒
⑦ 住宅設備に、高断熱化設備(二重サッシなど)や省エネ設備(エコキュートなど)を設置している	1	2	3	4	⇒

【自然のふれあい・自然保護(その他)】

① 川釣りや自然の中でのレクリエーションなど、大野の自然ふれあい、楽しんで	1	2	3	4	⇒
② 川や山を訪れた際は、不要な採取や餌付け、生き物のすみかを乱らす行為はしないように注意している	1	2	3	4	⇒
③ 晴れた日は、よく草を刈り上げる	1	2	3	4	⇒
④ 農地や所有林の保全に心がけている	1	2	3	4	⇒
⑤ 環境に関する取り組みの積極的に行っている	1	2	3	4	⇒
⑥ 家庭での野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない	1	2	3	4	⇒
⑦ 青をしがっている	1	2	3	4	⇒
⑧ 文化財や伝統芸能を守る活動に参加している	1	2	3	4	⇒
⑨ その他	1	2	3	4	⇒

◆これからの大野市の環境についてお聞きします。

問8 あなたが、市に取り組んでほしいと思う、大野市の環境を守るための施策についてお聞きします。次の各項目の中から、1番目に進める施策、2番目に進める施策、3番目に進める施策の順に、あてはまる番号を1つずつお書き下さい。

- | | |
|--|---------------|
| 1 家庭における環境にやさしい設備導入に対する助成
広報誌やパンフレットなどによる、環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供 | 1番目に
進める施策 |
| 2 研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり | 2番目に
進める施策 |
| 3 企業や市民の活動に対する支援 | 3番目に
進める施策 |
| 4 イベントや集客・研修会の開催 | |
| 5 監視体制や規制の強化 | |
| 6 企業や市民の取組を促すための制度や仕組みづくり | |
| 7 自然資源を活用した都市間交流や働きかけ | |
| 8 地下水や地球環境などの調査研究 | |
| 9 その他 | |

問9 あなたが、大野市の誇りや象徴として、特に将来に残していきたいと思う環境や場所、風景などをお聞きます。次の各項目の中から、特に残じたいと思われるものを3つに○をつけてください。

1 御清水をはじめとする湧水地・名水(地下水)	1～10の中で特に残じたいと思われるものを3つ選び「○」を付けてください
2 日本百名山荒島岳や山々の連なり	
3 刈込池	
4 丸頭滝の風景	
5 小戸	
6 大呂師高原	
7 日本一の夜空	
8 田園風景	
9 歴史的風情の残る町並みや町並み	
10 その他	

◆市の政策やその他のことについてお聞きします。

問10 あなたは、大野市の「ラブドキヤッチャー」(絆の故郷 越前おおの)をご存じですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 「絆の故郷」に込められた意味も含めて知っている | |
| 2 キヤッチャーは知っているが、意味は知らない | |
| 3 なんとなく聞いたことがある | |
| 4 聞いたこともなく、知らない | |
| 5 その他 | |

問11 あなたは、国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」をご存知ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 「SDGs」の内容も含めて知っている | |
| 2 「SDGs」は知っているが、意味は知らない | |
| 3 なんとなく聞いたことがある | |
| 4 聞いたこともなく、知らない | |
| 5 その他 | |

大野市の環境をより良いものとするため、あなたが日頃感じていることや、地球温暖化防止のためのアイデアなど、ご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 調査票「事業所アンケート」

環境に関する事業所アンケート調査票

◆事業所の概要についてお聞かせします。

- 問1 貴事業所の業種を教えてください。次の各項目の中からあてはまる番号に○をつけてください。
- 1 農業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 運輸・通信業
 - 6 卸売・小売業・飲食店 7 金融・保険業 8 不動産業 9 サービス業
 - 10 その他(事業内容は?)

- 問2 貴事業所の従業員規模(パート、アルバイト等を含む)を教えてください。次の各項目の中からあてはまる番号に○をつけてください。
- 1 1～10名未満 2 10～30名未満 3 30～50名未満 4 50～100名未満
 - 5 100～200名未満 6 200名以上

◆事業所における環境保全に対する考え方についてお聞かせします。

- 問3 貴事業所は、経済活動と環境保全の関係について、どのようにお考えですか。次の各項目の中から、もっともあてはまる番号を1つお書き下さい。
- 1 事業所存続のために、経済活動を優先させる
 - 2 環境保全も大切だと思うが、どちらかというど経済活動を優先させる
 - 3 経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする
 - 4 企業の社会的な立場を考え、環境保全に貢献を尽くしている
 - 5 環境保全に関わる新たな技術開発などを今後の経営に活かしたい
 - 6 その他()

問4 貴事業所が、環境対策に取り組まれている理由は何ですか。次の各項目の中から、主なものを3つ選んで、番号を記入してください。(3つ以内)

- 1 法令遵守するために必要だから
- 2 取引先から環境対策を求められているから
- 3 社会や消費者の環境意識が高いため、企業として取り組まざるを得ないから
- 4 企業の社会的責任であるから
- 5 事業所や製品、商品などのイメージアップのため
- 6 省エネルギーや資源のサイクルは結果的にコスト削減につながるから
- 7 新たな商品開発や顧客獲得につながるから
- 8 特に環境対策には取り組んでいない
- 9 その他()

記入欄

問5 貴事業所の企業活動が周囲に与えている環境負荷があるとしたら何でしょうか。最も影響があると思われるものを選んで番号をお書き下さい。(3つ以内)

- 1 大気汚染 2 水質汚濁 3 土壌汚染
- 4 騒音 5 振動 6 悪臭
- 7 有害化学物質 8 生態系への影響 9 地球温暖化
- 10 事業系一般廃棄物 11 産業廃棄物 12 特に環境負荷はない

◆事業所における取り組みについてお聞かせします。

- 問6 貴事業所が事業活動の中で実践している環境への配慮や行動についてお聞かせします。すべての項目について、「取り組み状況」欄の該当する数字に○をつけてください。また、「3」どちらかといえば取り組んでいない」「4」取り組んでいないのいずれかに○をつけた場合は、「理由欄」に、その理由を選んで番号を記入してください。

【取り組みでない、どちらかといえば取り組んでいない理由】

- 1 1 利便さ・快適さが損なわれる
- 2 従業員の理解・協力が得られない
- 3 費用がかかると
- 4 手間や時間がかかる
- 5 利益につながるから
- 6 必要だと感われない・効果に疑問がある
- 7 取り組む機会がない・担当しない
- 8 方法がわからない・情報や知識が足りない
- 9 理由はない(特に気にかけていない)
- 10 その他

【公害防止対策】

① 野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない	1	2	3	4	⇒
② 大気汚染対策として、ばい塵や粉じん等の集じん設備を設置している	1	2	3	4	⇒
③ 水質汚濁防止装置等を設置している	1	2	3	4	⇒
④ 悪臭や振動、騒音を防ぎ装置を設置するなどの防止対策に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑤ PCB・アスベスト等有害化学物質を適正に管理・処理している	1	2	3	4	⇒
⑥ 使用する化学物質や化学肥料を適正に管理・処理し、使用量を低減するように努めている	1	2	3	4	⇒

【水・地・大・空気・河川の保全】

① 融雪に地下水は使用しない	1	2	3	4	⇒
② 節水を心がけている	1	2	3	4	⇒
③ 下水道に接続している又は、合併処理浄化槽を設置している	1	2	3	4	⇒
④ 使用水量の記録や排水する水路や汚水ズスの点検をしている	1	2	3	4	⇒
⑤ 排水の緑化や雨水地下浸透設備の設置など、雨水の地下浸透に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑥ 河川や用水など地域の清掃活動や美化活動に参加している	1	2	3	4	⇒

2

- 【取り組んでいない・どちらかといえば取り組んでいない理由】
- 1 利便さ・快適さが得られない
 - 2 従業員の理解・協力が得られない
 - 3 費用が分かる
 - 4 手間や時間がかかる
 - 5 利益につながらない
 - 6 必要と思わない・効果に疑問がある
 - 7 取り組みの機会がない・該当しない
 - 8 方法がわからない・情報や知識が足りない
 - 9 理由はない・特に気にかけていない
 - 10 その他

すべての項目について、「取り組み状況」欄の該当する数字に○をつけてください。
 また、「3」どちらかといえば取り組んでいない、「4」取り組んでいないのいずれかに○をつけた場合は、「理由欄」に、その理由を詳しく記入してください。

【ごみ減量・循環型社会構築】

事業系一般廃棄物及び産業廃棄物をそれぞれの分類ごとに把握し、適正に処理している	1	2	3	4	理由
① 洗面台周りや使用済み紙の箱の裏面使用、ペーパーレス化、再生紙の使用	1	2	3	4	⇒
② 用紙や紙製品の再利用・削減に取組んでいる	1	2	3	4	⇒
③ リサイクルや再利用などにより廃棄物の減量化に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
④ 廃棄物の分類や排出量を記録するなど、管理体制を確立している	1	2	3	4	⇒
⑤ 環状に配された商品の販売や製品作りに取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑥ リサイクル製品等環境に配慮した原材料や製品を使用している	1	2	3	4	⇒
⑦ 商品梱包の簡素化に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑧ レジ袋の有料化やマイバッグ持参促進に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑨ 地域の資源回収に参加している	1	2	3	4	⇒

【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】

① 冷暖房の適温設定や不要な照明の消灯など、節電を心がけている	1	2	3	4	⇒
② エアコンや冷蔵庫など、省エネ機器を導入している	1	2	3	4	⇒
③ 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	1	2	3	4	⇒
④ ノーモーター通勤（従業員のマイカー出通勤を控える通勤）に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
⑤ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している	1	2	3	4	⇒
⑥ 屋敷などの太陽エネルギーを利用している	1	2	3	4	⇒
⑦ 電化製品や機器は省資源・省エネルギー型のもを導入している	1	2	3	4	⇒
⑧ ハイブリットカーなどの低公害車を導入している	1	2	3	4	⇒

- 【取り組んでいない・どちらかといえば取り組んでいない理由】
- 1 利便さ・快適さが得られない
 - 2 従業員の理解・協力が得られない
 - 3 費用が分かる
 - 4 手間や時間がかかる
 - 5 利益につながらない
 - 6 必要と思わない・効果に疑問がある
 - 7 取り組みの機会がない・該当しない
 - 8 方法がわからない・情報や知識が足りない
 - 9 理由はない・特に気にかけていない
 - 10 その他

すべての項目について、「取り組み状況」欄の該当する数字に○をつけてください。
 また、「3」どちらかといえば取り組んでいない、「4」取り組んでいないのいずれかに○をつけた場合は、「理由欄」に、その理由を詳しく記入してください。

【その他の対策】

① ISO14001やエコアクション21、KESなどの環境マネジメントシステム(※)等認証を取得(登録)している	1	2	3	4	⇒
② SDGs(※)の推進に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
③ 農用地や山林、野生生物の生息地等の保全に取り組んでいる	1	2	3	4	⇒
④ 光害対策として、必要以上の照明設備は設置しない、カーテン等で光を遮らさないなどの取組を行っている	1	2	3	4	⇒
⑤ その他	1	2	3	4	⇒

※環境マネジメントシステム：法令などの規制基準の順守や環境保全のための計画と実行手順等
 ※SDGs：国連が定めた持続可能な開発目標

問7 貴事業者が環境に配慮した取り組みを実施しているうえで、市に取り組みしてほしい施策について、下記の各項目の中から、1番目に進める施策、2番目に進める施策、3番目に進める施策の順に、あてはまる番号を1つずつお書き下さい。

- | | | |
|----------------------------|-----------|---|
| 1 環境教育を減らす設備導入に対する助成 | 1番目に進める施策 | □ |
| 2 取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供 | 2番目に進める施策 | □ |
| 3 事業者の取組事例等の情報発信 | 3番目に進める施策 | □ |
| 4 研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり | | |
| 5 事業者や社員向けの研修会の開催 | | |
| 6 監視体制や規制の強化 | | |
| 7 取組を促すための制度や仕組みづくり | | |
| 8 自然資源を活用した都市間交流や働きかけ | | |
| 9 地下水や地味層などの調査研究 | | |
| 10 市民意識を高めるための環境教育・普及啓発の実施 | | |
| 11 その他 | | |

問8 貴事業所で現在、取り組まれている、ごみ減量や地球温暖化防止の事例等があれば具体的に御書
きください。

例) 駅前広場前を歩道していたが、夜間（ストロー等使用）による歩道歩行などで、燃料費が年間〇〇〇円削減できた。

問9 大野市の環境をより良いものとするため、貴事業所が自願していることなどをご自由にお書きな
さい。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

3. 調査票 小学生・中学生アンケート

環境に関する小学生・中学生アンケート調査票

問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。
1 男 2 女

問2 あなたの学年を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。
1 小学6年生 2 中学3年生

問3 あなたが、どんな環境問題のことを知りたいと思っているかお聞きします。

次の環境問題のうち、「知りたい」「学んでみたい」と思うすべての項目に○をつけてください。
※知っている人は、もった知れないもつと学びたいと思う項目に○をつけてください。

項目	知りたい 学びたい
① 自動車や工場などからの排気ガスなどによって空気がよごれる問題	
② 家庭や工場などから流れ出る水などによって川の水がよごれる問題	
③ 地下水がよごれたり、地下水位が下がったりして、地下水が飲めなくなる問題	
④ 自動車や工場などからの騒音や振動で迷惑する問題	
⑤ 外でものを燃やすけむりや工場から塵埃が飛び出される問題	
⑥ 地下水の速い動きなどで地面が下がる問題	
⑦ 大自然が変われる問題・昆虫や野生の動植物が絶滅する問題	
⑧ 身近な地域の自然(森や川、緑)や生き物(ホタルやメダカなど)が減っている問題	
⑨ 資源やエネルギーを使いすぎている問題	
⑩ こみやリサイクルの問題(ごみの増えすぎ、お店での食べ残し、川や森に捨てられ たごみ)	
⑪ 地球温暖化問題(地球温暖化や砂漠化、熱帯雨林的減少、ごみのホチ捨てなどによ る海面上昇など)	

問4 あなたの身近な環境についてお聞きします。
次の項目の中から、家の周りの環境で特に大切にしたいと思うものを
3つ選んで番号を書いてください。

1 緑の豊かさ	
2 自然(木、水辺、動植物、昆虫)が身近にあること	
3 空気のきれいさ	
4 星空の美しさ	
5 においが気にならないこと(悪臭がしない)	
6 川のきれいさ(河川・用水路)	
7 地下水のきれいさ	
8 まらの静かさ(騒音・振動が気にならない)	
9 まらの清潔さ(ごみのかさ)	
10 景色や街並みの美しさ	
11 歴史的な建物や地区の祭り・伝統行事が残っていること	
12 市民のマナーの良さ(ホチ捨てしない、ごみ分別をするなど)	
13 暮らしの安全性(有害な物質から守られていること)	

大切にしたいもの
(3つ)

記入欄

□ □ □

問5 あなたが学校や家でやっている環境にやさしい行動についてお
聞きします。
次の項目それぞれについて、ふだんどれくらい取り組んでいるま
すか。あてはまる番号に○をつけてください。

項目	1	2	3	4	5
① 蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、水のむだ使いをしないようにし ている					
② 重い物では、マイバッグを持っていき、レジ袋を受け取らないようにし ている					
③ 空き缶やペットボトル、紙ごみなどは分別をして捨てる					
④ 文房具などは、エコマークなどが付いている商品やリサイクル品など、 種類にやさしい商品を選んで買っている					
⑤ 川遊びやスキー、キャンプ、星空観察、自然観察などを通じて、大野 の自然にふれあい、楽しんでいる					
⑥ 食べ物は残さず食べる					
⑦ お菓子の空き箱やメモ用紙などは分別し、燃やせるごみには出さない					
⑧ クーラーやエアコンの設定温度の下げすぎ(上げすぎ)はしない					
⑨ 人のいない部屋の照明や見えないテレビ等の家電はつけっぱなし にしない					
⑩ 物は大切に修理して使う					

問6 大野市やあなたの家の周りなどの環境を守るために、あなたができると、参加したいと思うことを3つ選んで番号を書いてください。

参加したいこと
(3つ)

1 新聞やアクリルミシなどの資源回収	記入欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 ごみや空き缶拾いなどの地域をきれいにする活動	
3 草花などを植える活動	
4 地下水の水質や量、湧き水がある場所などを調べるとするイベント	
5 田畑や林・森・山を守る活動	
6 身近な自然(動植物や昆虫・化石)の観察会	
7 外来生物(もと日本に生息していない動植物)を見つけて駆除する活動	
8 野外キャンプなどの自然を体験するイベント	
9 農作業の手伝いや賞農園・体験農園などでの農作業体験	
10 星空の観察	
11 歴史的・文化的なまちなみや風景を巡るイベント	
12 ごみ処理施設や下水処理施設などの見学	
13 プリ-エ-ケ-ットやバ-サ-などへの参加	
14 地球環境問題を体験的に学ぶイベント	
15 都会の小中学生との、大野の自然の中での交流	

問7 大野市の環境に関するところで、あなたにとってお気に入りの場所や風景、自慢できる自然などはありますか。

ある場合は、「1 ある」に○をつけて、お気に入りの場所などを3つまで書いてください。また、なぜそう思うか理由も書いてください。
ない場合は、「2 ない」に○をつけてください。

1 ある

※場所などがわかるよう、できるだけ詳しく書いてください。

①	⇒理由
②	⇒理由
③	⇒理由

(例)御藻水⇒赤んくおおいから OO川⇒夏に泳ぐことができて美しいから
小川の里⇒イベントを観察できるから △△からのながめ⇒ながめがいいから など

2 ない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。